

日本SOD研究会

SOD J.S.R.O

Japan Super Oxide Dismutase Research Organization

vol.4

[スペシャル企画]

丹羽靱負(耕三)博士 特別講演

ついに世界が認めた!
がん患者6年間3000人の治療実績

[ペット特集]

ペットの健康とSOD

ジェナー動物クリニック 長瀬雅之院長講演会

身近な病気とSOD

[予防特集]

免疫がアップする生活術

乳がん 前立腺がん
SOD体験者レポート
SOD愛飲者の声

巻頭特集

本当は怖い血管の病気

心筋梗塞、狭心症、脳梗塞、くも膜下出血…
命に関わる病気を防ぐには

日本SOD研究会

SOD

Japan Super Oxide Dismutase Research Organization

J.S.R.O 日本SOD研究会
Japan Super oxide dismutase Research Organization
<http://www.sod-jpn.org>

SODとは？

Super Oxide Dismutase

この冊子は、丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるようにと願いを込めて作りました。

20年もの歳月をかけ、開発した丹羽耕三医学博士は、「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った『自然の摂理』は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの。私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

たのが丹羽SOD様作用食品です。

Dだけでは追いつかなくなっています。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

最近、健康のカギを握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや生活習慣病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

SODとは、スーパー・オキシド・ディスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

SOD vol.4

Contents

目次

3	SODとは？
4	【巻頭特集】 本当は怖い血管の病気 心筋梗塞、狭心症、脳梗塞、くも膜下出血…命に関わる病気を防ぐには？
8	【スペシャル企画】 丹羽靱負(耕三)博士 特別講演 ついに世界が認めた！がん患者6年間3000人の治療実績
19	丹羽耕三先生 スペシャルインタビュー 乳がん 前立腺がん
24	身近な病気とSOD 白内障 胃潰瘍・胃がん シミ・シワ 認知症 歯周病 骨粗しょう症 更年期障害 ED
32	【ペット特集】 ペットの健康とSOD ジェナー動物クリニック 長瀬雅之院長講演会
40	大澤俊彦(愛知学院大学教授)著「黒ゴマの魅力」書籍紹介
42	乳酸菌発酵黒ゴマ食品 愛飲者インタビュー
50	免疫がアップする生活術 食事・入浴・睡眠・運動 免疫アップレシピ
54	愛飲者特別レポート 丹羽療法で奇跡の生還
58	SOD 体験者レポート
78	SOD 愛飲者の声
87	健康コラム

2015年 春発行
発行 日本SOD研究会
住所 〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-15-2 B棟2802
URL <http://www.sod-jpn.org>

本誌記事の無断転載を禁じます。

 株式会社 丹羽メディカル研究所
<http://www.niwa-medical.com>

本当は怖い血管の病気

心筋梗塞、狭心症、脳梗塞、くも膜下出血…命に関わる病気を防ぐには？

血管の健康というのは、一見、目に見えないものです。しかし、血管は心臓や脳だけでなく、体中の臓器や筋肉などあらゆる部分に血液を配給し、その老廃物を回収する働き者ですが、この血管の健康や病気、血管年齢のことを私たちは意外に意識していません。

血管年齢が心臓や脳の病気と深く関わっているといえます。今回の特集は、そんな血管の衰え・硬化が原因の病気、血管を元気にする方法について紹介します。



血管の老化は 心臓、脳の病気に直結

日本人の死因の1位はがんですが、2位に心疾患（心筋梗塞、心不全など）、3位に肺炎、4位に脳血管疾患（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）が入ります（P4グラフ参照）。2位の心臓と4位の脳の疾患を合わせると、1位のがんと同じくらい亡くなる率が高くなっています。実は、これら

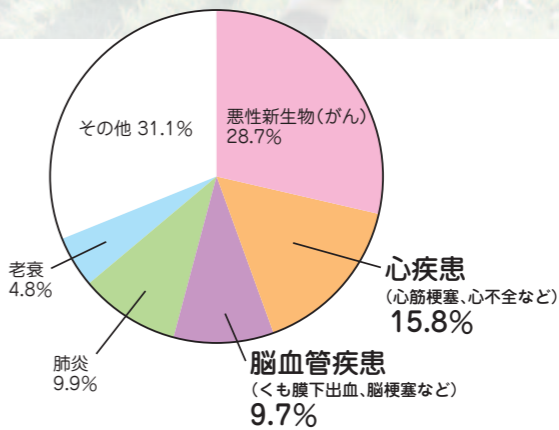
の疾患は血管と密接なつながりがあります。それは、どちらも血液に大きく依存しているからです。脳は血液が数分止まるだけで大きなダメージが加わり、心臓も2、30分止まると部分的に壊死するそうです。これらの臓器は血液を大量に消費するため、その供給が断たれると取り返しがつかない事態になってしまいます。

血液検査はあっても血管検査という言葉はあまり聞きません。血液検査は

非常に身近で、検査といえば一番血液を検査します。そこには体内のさまざまな情報が詰まっています。例えば、血糖値が高めだと糖尿病になる危険性があります。悪玉コレステロールや中性脂肪が高いと高血圧や狭心症、脳梗塞になる危険性があります。これらのことは健康を気にする人ならよくご存じのことです。

しかし、血液検査が基準値内だから自分は大丈夫と思っても、血管は

平成24年度の日本人の死因(%)



厚生労働省H24年度統計より

加齢とともに確実に老化しています。

歳をとればとるほど、動脈の血管壁にコレステロールやカルシウムが沈着。おのずと血管壁は厚く硬くなり、血管は狭くなり、詰まりやすくなります。これが動脈硬化です。そうなる臓器にも酸素と栄養がちゃんと届かなくなり、さまざまな臓器疾患が起こるといわれています。

その中でも最も危険なのが、死因の2位と4位にあたる、心臓と脳の疾患

なのです。

脳は一番 活性酸素の被害が

脳の血管は心臓の太くて弾力に富む血管とは違い、細く枝分かれしたしなやかな血管です。だから血管壁が弱くなると破れやすくなります。破れると脳出血、詰まって血流が止まると脳梗塞になります。

また、脳は酸素の消費量が多い臓器で、体内で消費される酸素の約20%を消費するそうです。さらに脳神経の細胞膜は不飽和脂肪酸を多く含んでいるため、酸化によって活性酸素の一種である過酸化脂質がでやすくなっています。

丹羽耕三医学博士（土佐清水病院院長）は言います。

「脳細胞は他の細胞に比べ、活性酸素にさらされやすいんです。活性酸素というのは、体内に侵入した細菌やウイルスを撃退するために、体にとって必要な物質です。殺菌・消毒としての役割があります。しかし、増え過ぎると体に悪影響を与えてしまいます。人間の細胞の外側の細胞膜は、不飽和脂肪酸という脂でつくられています。不飽

和脂肪酸は活性酸素と結び付くことで酸化して過酸化脂質となり、この過酸化脂質が細胞を老化させるのです。鉄が酸化してさびるのと同じように、体内でも活性酸素の影響で酸化が生じ、体がさびてしまうのです」

「このことは、体の中で一番老化しやすいのは脳といえるのかもしれない。丹羽先生はさらに言います。

「血管の病気のことを『脳・心』といいます。脳、心臓、血管の3つはすべて連動しているんです。脳にくる病気が心臓にもきます。逆に心臓の動きが悪くて弁に血液のカス（血栓）が溜まると、それが脳に流れて詰まりを引き起こします。これが心原性脳塞栓症（脳梗塞の一種）です。そうすると、手足の麻痺、半身不随、言語障害などの疾患を引き起こします」

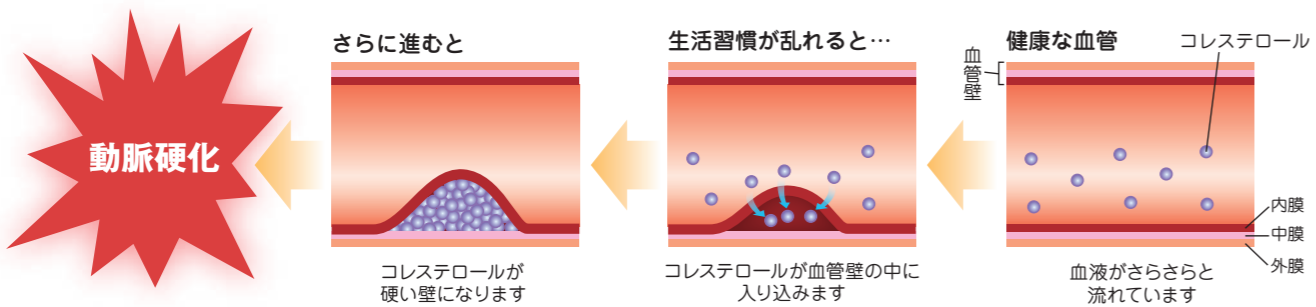
原因はやはり、老化からくる血管の弾力性の低下だと言います。

「血管が硬くなって弾力性がないと、詰まりやすくなるんです。原因はそれだけではありません。がんや難病などのほとんどの病気に関連している、運動不足、寝不足、ストレス、タバコなどの生活習慣が血管にも悪影響を与えているんです」

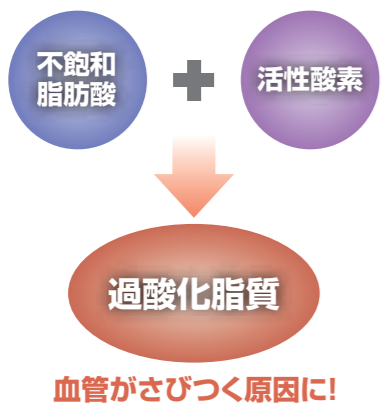
心筋梗塞、狭心症なども 血管の詰まり・弾力低下から

脳と密接な関係があるといわれる心臓の疾患も。欧米に比べ日本では心疾患の患者さんは比較的少なかったのですが、食生活の変化などにより、近年、増え続けています。特に多いのが、動脈硬化が原因となる虚血性心疾患。狭心症や心筋梗塞などもこの疾患に分類されます。総患者数は全国で100万人ともいわれています。

ほかにも、脈の乱れを起こす病気。不整脈、心房細動、心室細動、房室ブロックや、生まれつき心臓に問題がある先天性心臓病、心房中隔欠損、肺動脈狭窄、心臓弁膜症などがあります。



加齢、運動不足、寝不足、ストレス、タバコ…などで活性酸素が増えると…



心臓というのは、生きるために必要不可欠な血液を体内に送り出す、一番重要な臓器です。絶えず働き続けている心臓の筋肉の細胞も、当然、酸素や栄養が必要になります。この心筋に酸素と栄養を送るのが心臓を冠のように取り巻いている、冠動脈と言われる動脈です。

心臓の仕事はハードですから、冠動脈はとても太く、しかも弾力に富んでいます。だから多少血管壁がもろくなっても破れたりはいけません。しかし、動脈硬化により冠動脈が狭くなると血液の流れが悪くなったり、止まったりすることがあります。これが虚血です。虚血によって起こる心臓の病気を虚血性心疾患といいます。虚血になると細胞が酸欠になり、心臓に一時的な痛みが襲います。これが狭心症と呼ばれる症状だとか。

そして狭くなった箇所が完全に詰まって酸欠状態が続くと、その先の組織は呼吸ができずに死んでしまいます。壊死してしまいます。これを心筋梗塞といい、猛烈な心臓の痛みを伴うといえます。ほかに丹羽先生は言います。

「当然ながら、心臓は血液の循環を司る臓器ですから血管と密接なつながりをはなおさらSOD様作用食品をちゃんと飲んだほうが良いです。そして血液の循環を非常に良くしてくれます。加えて血管の弾力性も取り戻してくれます。」

よく効きすぎて、まれに心臓の疾患でSOD様作用食品を飲まないほうが良い場合もあります。それは、先天的な心臓弁膜症の人。弁膜症は、血液が心臓の中に入っても出ず弁がうまく作用していないから、なかなか血液が心臓から出ていきません。だから先天的な心臓弁膜症の人はSOD様作用食品をたくさんは飲まないほうが良いです。ただ、一日に2包くらいなら飲んだほうが良いです。免疫力がつくから。

目安としては、脳梗塞、脳血栓などの人は、血液の流れが良くなるから、1日に8、9包くらい飲んだほうが良いですね。とにかく、SOD様作用食品を飲んでいけば間違いなく血管に弾力がよみがえります」

血管の老化には、自覚症状がないといえます。だからなおさら怖いことが分かります。まずは生活習慣から変えていかないといけないのですが、50歳を境に、血管年齢を病院で調べてもらうのも良いかもしれません。

があります。人の体は、血管が硬く詰まって流れが悪くなると、自己防衛的に血圧を上げて血液を流そうと無理をするんです。これが高血圧です。そして、心臓は血圧を上げるために無理をする。狭心症や心筋梗塞のもとです。また、脳は、血管が圧力に負けて破れてしまう。そうなる脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）です」

高齢者は寒暖差に要注意

血液の老化からくる疾患は、心臓、脳だけにとどまらず、人間の体すべてに関わってきているのです。

血管の病気、知れば知るほど怖いことが分かります。では、そうならないために日常で気を付けることは何でしょうか。丹羽先生に聞いてみました。「冬場は注意が必要ですね。昔は寒暖差でポックリ逝ってしまってお年寄りが多かったものです。昔の家の造りは、北側の一番寒いところにトイレがあった。だから田舎のお年寄りはトイレで倒れる確率がすごく高かったんです。老化で血管がもろくなっているところへきて急に寒いところに出ると、血管がキュッと収縮しようとする。しかし

し、弾力性がないから急に収縮しようとする破れてしまう。脳卒中、心筋梗塞でバタッと倒れてしまいます。今は家は気密性もしっかりしているし、水洗トイレでそんなに寒くない。だからずいぶん少なくなりましたね。でも、気を付けないといけないのは、風呂場です。脱衣所に暖房が入っている家はまだ少ないですよ。これも良くない。寒いところで裸になる。そして急に熱いお湯につかる。血管がキュッとなってその場で溺死してしまうことが多いんです。ですから、お年寄りがいらっしゃるお家では、脱衣所に小さな暖房器具を置いてください。とにかく、70歳を過ぎたら、急に寒いところに出ないことです。出るときは必ずマフラーや帽子を身に着ける。そして長時間寒いところを歩くのも避けることですよ」

血管年齢の老化防止には活性酸素を除去するSOD

では、血管を元気にする方法にはどのようなものがあるのでしょうか。これまで動脈硬化が一度起こってしまつと、血管はもとの状態には戻らないと言われていました。しかし最近で

は、血管には「修復機能」があることが分かってきたのです。

食事では肉料理を控え、血管の健康に役立つDHA・EPAが豊富なイワシ、アジ、サンマ、マグロ、カツオなどの魚を多くとることも効果的。そして、睡眠がとても良いそうです。睡眠中に血管を修復してくれるホルモンが分泌されるといいます。そしてやはりSOD。

「活性酸素は血管の老化、動脈硬化、生活習慣病、がんなど、あらゆる病気に関わっています。私の開発したSOD様作用食品はそんな活性酸素を強力に除去してくれるものです。体内で本来SODはつくられているのですが、加齢とともに減少していきます。それを私のSOD様作用食品は、人間の体内で効果を発揮するように特別に研究開発した独自の焙煎・発酵・油剤化技術などによってつくられたものです。」

人間、40歳を過ぎると活性酸素を落とす力が落ちてきます。70代になると、20代の1/5くらいになってしまふんです。だから年をとると活性酸素が関係する病気にかかりやすくなる。最近では若い人も環境汚染で活性酸素がすごく増えているから、自分のSODの力だけでは足りなくなっている。お年寄

心臓疾患の兆候

- 不整脈がある
- 動悸がする
- 胸に圧迫感がある
- 息切れがする、呼吸困難になる
- 顔や足がむくむ
- 唇・爪が紫色になる

脳血管疾患の兆候

- 片方の手足が痺れる、力が入らない
- 顔面の半分が麻痺する
- 突然、経験したことのない激しい頭痛に襲われる
- ふらついてまっすぐ歩けない
- 物が二重に見える
- 視野が狭くなる
- ろれつが回らない、とっさに言葉が出てこない

以上のような症状にあてはまった場合、病院で受診・相談をしましょう

血管のアンチエイジング5カ条

バランスの良い食事	ビタミン・カルシウムなどの栄養素バランスの良い食事。プラスしてDHA・EPA、オメガ3脂肪酸（シソ油、アマニ油など）の多い食品。脂身の多い肉など動物性脂質、糖類、塩分のとり過ぎに気を付けます。
適度な運動	有酸素運動は血流を良くして血管を広げます。特にウォーキングはお勧めです。1日1万歩を目標に。
禁煙・減酒	タバコ、過度な飲酒は活性酸素を増やす原因です。タバコはすっぱりやめ、飲酒は適量を守りましょう。
十分な睡眠	睡眠不足になると活性酸素が増えます。1日7時間以上の睡眠が理想的です。
SOD様作用食品	食事、運動、禁煙・減酒、睡眠を整えた上で、加齢によって減るSODを補うため、SOD様作用食品をとりましょう。



ついに世界が認めた！ がん患者 6年間3000人の 治療実績

丹羽先生の肝臓がんに関する丹羽療法論文が
国際医学雑誌「Integrative Cancer Therapies」に掲載されました。
その掲載に先駆けて、2012年3月に東京国際フォーラムで
記念講演会が行われました。
丹羽先生の特別講演会の模様を、国際的医学雑誌に掲載された
がんの話を中心にお伝えします。



丹羽鞆負(耕三)

高知県土佐清水病院院長
丹羽免疫研究所名誉所長

活性酸素とSODの研究を臨床医として世界的にも最も早く(1970年代)から手掛け、この分野の世界的権威。SODなどの研究論文を「Blood」などをはじめとする著名な英文国際医学雑誌につづけて発表。国際医学誌(Biochemical Pharmacology)の投稿論文の審査員でもある。
また、世界に先駆け、遠赤外線の効果の水、動物、人体などの全体の変化だけでなく、人体の細胞レベルでの生理、生化学的変化の研究を行ない、国内外の医学専門誌で発表している。2012年には丹羽療法が認められ、国際的ながん専門誌に論文が掲載された。

す。がんというのは人間の体の中に、人間の正常な細胞と、それよりも何十倍も強いお化けみたいな細胞が共存しているんです。がんは効く薬を使うとがんは小さくなります。それで終わらなり良いんです。

ところが、がんは小さくなくても、患者さんも弱っているんです。髪の毛が抜けて吐き気でゲージ言い出すわけです。そこで患者さんは「先生、抗がん剤をやめてください。苦しい」と言います。ところが先生は、レントゲン写真を見せて「ほら、がんが小さくなっている。良くなっているでしょ」と言っ。それを見て患者さん、「そうですか。ありがとございしました。ゲージ」と帰っていくわけです。

がんは正常な細胞を比べたら、絶対がんのほうが強い。がんがある程度小さくになると、人間は死ぬ寸前までいく

幼い息子の死が教えてくれたこと

最愛の息子が 小学2年生で白血病に

ここからは、苦しんで死ぬという話をします。僕は大学を卒業して23年、抗がん剤治療をやってきた。他人

わけです。これ以上やったら、肝臓、腎臓、血小板がいかれて死んでしまう。だから医者はず中ずでやめる。しかし抗がん剤をやめて3カ月もしたらがんはまた大きくなる。それでまた抗がん剤をやる。人間はまた弱るんです。でもマーカー(がんの大きさを表す数値)は小さくなる。

「先生やめてください」
「何を言っんですか。この写真見てもらん。がんが小さくなっていますよ」「そうですか。ゲージ」と患者さんはなる。この繰り返しの中で人間のほうが弱って、がんより先に死んでいくのです。

結局ね、特殊ながんを除いて95%のがんはほうが人間より強いんだ。がんを殺そうと思ったら、人間も苦しんで死ぬのは当たり前なんです。

様を苦しめて殺していたんです。今から約30年前に、私の一番かわいかった小学2年生の息子・剛士が白血病になりました。うちの病院にいたら甘えが出て注射もさせてもらえないから、高知医大病院に預けたんです。高知医大

がんやアトピー、リウマチ… さまざまな病気の原因になる活性酸素

環境汚染時代だからこそ SODは必要

私の開発した「SOD」(SOD様作用食品)「は守備範囲がものすごく広い。活性酸素が関係している病気のほとんどに効果的。リウマチの患者さんにたまに効かないことがある。でも、代わりに便秘が治ったとか、膠原病の痛みが治ったとか、何かに効くんです。がんは特殊な薬を使わないといかないけど、難病に私のSODは良いです。」

人間、20代、30代のときは体内の活性酸素を抑制するSOD酵素をものすごく持っています。しかし、40歳を過ぎると活性酸素を落とす力が落ちてきます。70代になると、20代の1/5くらいになってしまっんです。だから歳をとると活性酸素が関係する病気にかかりやすくなる。最近では若い人も環境汚染で活性酸素がすごく増えているから、自分のSOD力だけでは足りなくなっている。若い人もSODを飲んだほうが良くなっています。なおさらお年寄りにはSODをちゃんと飲んで、こ

の先生は、丹羽先生の子もだから殺したらいかんと思っ。抗がん剤をどんどんやってくれたんです。大人と違って子どもは細胞が次々と生まれ変わるから、抗がん剤の副作用に対して強い。はじめの半年ぐらいは髪の毛が抜けるけど、元気でした。

ところが半年過ぎたらやはりダメ。抗がん剤の副作用で飯が食べられなくなってきたんです。大人でもムカついて食べられないのに、子どもはもっと食べれない。大人は食べないと元気になれないからと、無理して食べようと努力する。しかし子どもは1日水水とジュースしか飲まない。1カ月、2カ月経つと、あばら骨が見えてくる、足の骨と皮がくっつく、まるで骸骨。亡くなる2カ月前には血小板という、出血を止める大事な細胞が、抗がん剤でほとんどダメになったんです。体中全部が青ジミになって、お尻も太ももみんな紫の斑点。口は血の塊、肛門の出口は血の塊、胃と腸と食道は抗がん剤の副作用で血だらけ、穴だらけでした。

抗がん剤に苦しむ息子を 目の前になすすべなし

亡くなる1カ月前、わしも腹をく

の環境汚染の時代に病気にならないように頑張りましょ。

がん患者の直接死因は 抗がん剤の副作用

私は53年前に京大を出ました。当時、大学では、がんには抗がん剤、これしか教えてくれなかった。その頃からばかなことやるなとは思っていません。でも、これしかないんだから私も使っていました。私は京大病院で初めの2年はアトピー性皮膚炎の研究をしていて、その後、膠原病など難病を専門に研究や臨床、論文発表などいろんなことをやってきました。がんの研究を中心にやるようになったのは30年前からです。それでも大学病院にいれば、がん専門ではなくても、何百人とがん患者を診察しました。進行がん、末期がん、たくさん診ましたが、みんな亡くなられました。あとでカルテを出してみたら、みんな抗がん剤を使って、その副作用で亡くなっています。がん患者さんの中で、直接がんで死んだ人は一人もいなかった。当たり前で

くって、毎晩病室に泊まってあげた。子どもは「お父ちゃんはお医者さん。お家では頭痛いから薬くれた。しんどいから注射してくれた。お父ちゃん、治してくれる」と知っているから、夜の11時、12時に、「お父ちゃん苦しい。助けてくれ」と叫びます。なんぼ助けてくれ、助けてくれと言われても、なすすべがない。10時間効いていた痛み止めが5時間、4時間と効かなくなる。

がんの患者さんはね、途中から抗がん剤の副作用で、ご飯が食べられなくなっ。亡くなる1週間くらい前はどんな患者さんも、苦しむんです。みんなモルヒネ、麻薬のような注射を打たれる。モルヒネはあんまり使うと胃腸にきて、胃腸が動かなくなり、腸閉塞を起こしてしまうんです。だから、モルヒネはある一定以上使ったらいけななんだ。今でもモルヒネの注射は一度打ったら、4時間は空けないといけな。なの息子の剛士は1時間すると、バタバタバタバタ。狭い部屋の中で「父ちゃん苦しい、助けてくれ」とやるから、こっちもじっとしていられずに「よっしゃ、待っておれ、待っておれよ」と言いながらベッドの周りを走っているんです。天下の丹羽先生ができたのはそれだけ。そのまま何も

できず剛士は死んでいった。

息子がなくなる直前 生き地獄を見る

翌年の1月24日、息子の亡くなる4日前、私はこの世の生き地獄を見た。たとえ、お医者さんが何万人集まっても、この生き地獄はいかん。自分の一番かわいい子どもにこんなむごたらしい生き地獄をさせてはいかん。最後はまるで高速道路でダンブカーにひき殺された猫のようでした。

皆さん、放っておいてこうなったんではないんですよ。天下の大病院に1年3カ月入院して、現代医療で最高と言われる抗がん剤をやってきた結果なんです。私は毎晩「神様、私は医者だからこの子がダメだということはおく分かっていきます。でも、神様どうか命を、奇跡を与えて助けてください」と祈りながらやってきた1年3カ月の闘病生活の結末が、高速道路でダンブカーにひき殺された猫だ。私はこれを見たときに「あー、これが今までの抗がん剤なんだ。他人様はみんなこれで死んでいったんだ。自分の子どもの生き地獄を見て初めて目が覚めた。これは人間のやることじゃない」と。私は剛士が亡くなって初めて目が覚

の2種類あります。

命を取らないのは、リウマチ、シエーグレン（症候群）、橋本氏病（甲状腺機能低下症）などです。命を取って治らない膠原病はSLE（全身性エリテマトーデス）、皮膚筋炎、血管炎、MCTD（混合性結合組織病）などです。みんな、ステロイド・免疫抑制剤を使いますが、これらは抑える力は抜群です。

ただ、治らない病気にずっと使っていると、副作用が出てきます。そうすると処方量を減らします。減らすと膠原病の症状は悪化します。また薬を増やす、また副作用が起こる、また減らす。この繰り返しで結局は10年後、15年後に糖尿病、緑内障、白内障、胃潰瘍などを発症し、骨と筋肉がボロボロになります。

今、この薬をリウマチ患者さんがいっぱい飲んでいきます。膠原病患者さんが10人來たら、そのうち7人は命を取らないリウマチです。私はそれにステロイドを処方するなと言いたいんです。

でもお医者さんは「いいですか、放っておいたら、手が動かなくなりますよ」と脅かすんです。そんなこと言われたら皆さん薬を飲みますよね。いすれほかの病気になりますよ、骨と筋

めました。私は抗がん剤など効かないことは初めから分かっていた。しかし、大学ではこれしか教えてくれない、教科書にも書かれていない。抗がん剤治療が正しいと思って、何百人ものがん患者さんを苦しめて殺したんです。神様は、私から抗がん剤やめさせるためには、他人様を苦しめてもダ

副作用がなくてがんに効く 薬の開発を決意

漢方、健康食品は副作用がないが効果は疑問

抗がん剤ではどうにもならない。とはいっても、皆さんもやったと思うけど、がんに効く、副作用がないといって、プロポリス、クロレラ、フコイダンなどの健康食品が高い値段でたくさんありますが、そのほとんどは息子のような末期がんや、私が診ている、何百人、何千人もの進行がんの患者さんには、役に立ちません。といって、私は、もう抗がん剤に戻るのはいやでした。

今ある健康食品、漢方は末期がんにはほとんど効きません。もう少し良いものはないか、ないならどうやったら肉がボロボロになりますよ、なんてことを言ってくれるお医者さんはほとんどいません。命を取るSLEは放っておいたら昔は3カ月、半年、1年で亡くなりました。それにはステロイドを飲ませます。5年、10年先に副作用が出て、今、亡くなるよりは良いから。

ところが今度は、命を取らないリウマチにステロイドを処方していて、ステロイドは怖いからと、次に出てきたのが免疫抑制剤です。オオカミが怖いからといって避けたら、ライオンが出てきたようなものです。ステロイドがオオカミなら、免疫抑制剤はライオンです。オオカミよりもっと怖い。ステロイドは骨・血管・筋肉を壊します

病気を治すどころか命を奪う いじりもある西洋薬の本当の怖さ 抗がん剤の効果のほどは？

これは（※表1）、国際的ながん学会のデータです。

抗がん剤を使うと、がんは小さくなる。ただ、副作用が出てきてやめる。またがんは大きくなる。抗がん剤に縮小効果はあるんです。ただ、どれだけ生

メ。自分の一番かわいい子どもに、しかも、この世の最高の生き地獄を見せないと、私は抗がん剤をやめないだろうと思われたんです。そのときの生き地獄のことは、私の著書「白血病の息子が教えてくれた医者的心」（草思社刊）という本に書かれています。よろしければ読んでみてください。

つくれるだろうか。その間30年。私は私財のほとんどを投入し、大学の有名な研究所・研究設備を作り、この30年間で20億円以上のお金を使って、副作用のない生薬の開発に一生を賭けたんです。そうして22、23年前からちよこちよこと、効く薬が生まれ、この5、6年前からかなり良い薬ができるようになってきたのです。

大病院、がんセンターで余命3カ月と言われて苦しんできた患者さん。10人來ると、やはり3人は抗がん剤で免疫力が極端に落ちていて助かりません。しかし、3人くらいは何年か延命することができます。さらに4人は亡くなりませんが、抗がん剤の副作用で苦しまずに、半年、1年、2年、3年生

が、免疫抑制剤は10人に1人、発がんするんですよ。それと、3年、4年すると多くの患者さんは、肺線維症という、肺が固くなって息ができなくなる病気になるんです。

ただ、私もね、副作用のない生薬をつくっていますが、がん以外に、膠原病の患者さん、20人來たら、ステロイド・免疫抑制剤をやめてほとんど良くなります。だけど、20人中1人、40人中1人、私がやってもどうしてもダメな人がいる。肺が固くなって危なくなる。そうしたら命が大事です。免疫抑制剤・ステロイドをやります。命と引き換えには使います。関係ない疾患にはやめると言っています。

きます。

このような治療法を開発し、今では250人のお医者さんが門下に入って、丹羽療法を行ってくださっている。

私は西洋医学をやってきましたから、そこいらの漢方のお医者さんと違いますよ。CTも撮る、血液検査もする、科学的根拠のもとに診断治療をしている。5%は化学物質も使っています。例えば、痛み止め、解熱剤、抗生物質は使いますが、使っている薬の95%は副作用のない漢方的な薬を、非常に効くように使っています。その方法を会得して、今は札幌から沖縄まで、1万人から2万人のがん、膠原病患者を抱えて、日々治療をやっています。

ステロイドがオオカミなら 免疫抑制剤はライオンの怖さ

これから今の西洋医療に関する大事なことを言います。抗がん剤に関してはもう言うまでもありません。末期のがんに使うのは、苦しめて殺すだけの治療です。それと、膠原病もステロイドを服用させます。さらに免疫抑制剤を服用している人がいます。しかし、これらはみんな対症療法なんです。膠原病には命を取るものと取らないもの

表 1

抗がん剤の空しさの欧文論文

N. Engl. J. Med. 349: 7, 2003	乳がん抗がん剤の使用量を増やしても効果不変
N. Engl. J. Med. 342: 1069, 2000	乳がん抗がん剤の量を増やすことで縮小効果は上がるが、体のダメージが強く、生存期間は不変、短縮
Cancer Control 10: 42, 2003	抗がん剤の使用量を上げると死亡
Lancet 352: 930, 1998	乳がん抗がん剤で10~30%に再発予防効果。しかし、50歳を過ぎた人への効果はない。
J. Clin. Oncol. 15: 2403, 1997	脾がんのジェムザール治療は無治療群と比較し、1~3ヶ月の延命
Eur. J. Surg. 168: 597, 2002	胃がん手術後の抗がん剤治療に、再発防止効果がない。延命効果は3~6ヶ月。
Br. Med. J. 311: 899, 1995	肺がん抗がん剤治療での延命効果は2~3ヶ月
N. Engl. J. Med. 332: 1256, 1995	肝臓がんTAE治療群と無治療群の比較で、TAEによる延命効果なし。
Lancet 352: 1413, 1998	大腸がんの再発がん患者への抗がん剤CPT11の縮小効果は30~40%、しかし延命効果はわずか2~3ヶ月
Archives of Surgery 132: 338, 1997	これら2つの論文は、十分な効果が期待できないがんに対して、
J. Clin. Oncol. 16: 2295, 1998	広く抗がん剤治療が行なわれている現状に警鐘を鳴らしている。
N. Engl. J. Med. 346: 126, 2002	カーニ博士による、もう抗がん剤から撤退するべきだという論文

「わずか数か月の延命」という論文がいつぱい出ているんです。私には白血病患者で亡くなった剛士の他に息子がいます。医者をやっています。13年間、千葉のがんセンターにおりましたが、数年前、私の治療方法に感銘し、土佐清水病院に来まして、今、入院患者のほとんどを診察してくれています。この息子はしょっちゅう海外の学会に行っています。

帰ってきて言うには、「お父ちゃん、すごいね。今、欧米ではファーストチョイスで抗がん剤はやっていませんよ。どうせ死ぬんだったら、どうせ2、3カ月の延命だったら、苦しんで死ぬな。おいしいものを食べて余生を送れと、お父ちゃんと同じことを言い出した。ただね、患者さんの家族が抗がん剤やってくれと言ったら、やるけれども、ファーストチョイスではやりませんよ。がんだから抗がん剤、健康保険が効くから抗がん剤、しかも、延命効果がある」となかつたことやるのは、今や先進国では日本のお医者さんだけですよ」と。

抗がん剤が効くがん、効かないがん

抗がん剤にも、症状、ステージ、が

がん患者とその家族にどう向き合おうのか

私も、こつこつと毎日、なんとか患者さんを助けようと頑張っているんです。お恥ずかしい次第で、神様にもっとも力をお与えくださいとお祈りを毎日しながら治療をやっているわけです。がんになった患者さんとそのご家族は、なんとわれようと、やっぱり助かってほしいんです。どれだけお医者さんがダメだと言っても、頭で分かっても心では分らないんです。先生、何とかして下さい、という心しかないんです。

私は丹羽療法を確立する前、今から30年前までは抗がん剤治療をしていました。目の前で何百人という患者さんが亡くなりました。亡くなる時はだいたい分かります。僕は患者さんには余命は言いません。だって、皆さん、今、余命1カ月と言われたらどうします？ 生きていきますか？ 僕は絶対に無理です。僕はそんなことを言われたら、遺言を書いてからモルヒネを打って首をつって自殺します。生きていたってしょうがない。自分の運命を知ることほど残酷なことはない。ただね、ご家族には言っておかないといけない。例えば胃がんの末期の男性が入

んの種類によっては効くのがあります。まず最初(※表2の①)は、手術で延命するがん。乳がん、子宮がん、直腸がん、甲状腺がん、精嚢がん、前立腺がん。これらには特徴があります。体の中央から離れているんです。この6つのがんは早めに手術をしたら、10人中7、8人は抗がん剤もいりません。僕の生薬も飲まなくて良いんです。無罪放免。ただ、10人中2、3人は手術したとき、手遅れで、がんが肺やなんかに転移していると、④の肺がんなんかと一緒に。それ以外の転移してないがんは早期に取れば助かります。そういう乳がん、子宮がん、直腸がん、甲状腺がん、精嚢がん、前立腺

がんで助かった患者さんがいるから、私のがんも治るんじゃないかと思っただけで抗がん剤をやります。治るものと治らないものがあることを知っておいてほしいんです。

抗がん剤が効くのならその治療に反対はしない

次(②)に全身性のがんで、抗がん剤、放射線治療、骨髄移植で治療、長期延命するがんがあります。うちの息子も今なら助かっています。白血病、悪性リンパ腫、小児の固形がん、限局

院している。その奥さんを前に、これまで頑張って治療してきたけど、もうどうしてもダメです。胃の入り口ががんで詰まっているから、何を食べても吐きますよ、と。それから胃の後ろの腰の骨にがんが転移していて、腰の骨の中には坐骨神経と言って太い神経が走っている。これが腰痛、足痛の一番の原因になる神経。ここへがんが転移して、痛み止めはもう何も効きません。あと3週間です、あきらめてくださいと言っ。

そう言つと、10人中5人はあきらめます。しかしあとの5人はダメ。なんぼ言つても、頭で分かっても心がついていかない。やっぱり助かってほしいんです。狭い待合室に何十人と患者さんが私の診察を待っている。何時間も待っているんです。そんな中、印籠を渡して数時間後に、順番も待たずに私の診察室にズカズカと入って来て、診察中の私の腕を引っ張って「先生！うちの父ちゃん、もう何も食べていない。おかゆ一口でも食べる方法はないですか？ 痛い痛いと言っかけてかわいそうだ。何とか痛み止めをしてももらえないか」と言っで連れて行くこととす。待つてくれと。3時間前に胃の出口はすべて詰まったと言っただろ。何を食べても全部、吐くだけだというの

性の食道・喉頭・咽頭がん。これらは早めに抗がん剤、放射線治療をやれば、10年、20年生きます。

私はこの②のがんは抗がん剤を使用することを反対しません。生きるのだから。ただ、10人中2、3人は効かない。ダメだったらうちに来なさい。どうせ抗がん剤治療で苦しんで死ぬだけなんだから。私の治療は②のがんなら10人中8人は抗がん剤を使わずに長期延命することが出来ます。だから、始めから苦しむのがいやだったらうちに来なさい。始めから苦しむけど、保険がきくから我慢するとううのだったら抗がん剤治療をしなさい。

僕は漢方だけの民間療法とは違います。医者ですから、治るのなら抗がん剤も使います。ただ、④、⑤のがんは、抗がん剤治療をしても短期しか延命しないがんです。延命効果のないがん。それから、どんな抗がん剤治療でも早期に死に至るがん。脾臓がん、胆のうがん、胆管がんは世界で5年生きている人はほとんどいないんです。脾臓がんは発症してからだいたい半年で死にます。胆のうがん、胆管がんは10カ月から一年半。ほとんどみんな死にます。寿命はまっとうでできません。どっちみち苦しんで死ぬのなら、もう抗がん剤はやめておけと。

に、なんと物分かりの悪い人だろう。こんな人につかまっていたら、診察もできない。だから私は病院中を逃げ回っていた。

幼い息子を失って実感する患者とその家族の苦しみ

私は、この歳になっても国際医学学会に発表する論文を英文で作って発表しているんです。医者になつてから毎晩、寝るのは午前3時、4時です。夜の10時、11時まで患者さんを診て、メシを食べて、それから勉強するんです。日曜・祝日も、盆暮れもない。移動中の飛行機の中でも論文を書いたりしている。だから、こんな物分かりの悪い家族につかまっていたら寝るのが朝になつてしまふ。寝不足でこつちが死んでしまふ。そう思っで逃げ回っていたんです。

そしたら自分の子どもががんになった。亡くなる2カ月前。血液のがん細胞が90%。僕は医者だから分かる。もう絶体絶命。メシは食わない。あばら骨が見えてガイコツみたいになつて細り、抗がん剤でポロポロになつた体でベッドの上でのた打ち回っている。「お父ちゃん苦しい、痛い、助けてくれー！」と叫んでいる。もう親にとっ

表2

①手術だけで治癒するがん	乳がん、子宮がん、直腸がん、甲状腺がん、精嚢がん、前立腺がん*、リンパ節転移もない肺がんと胃がん
②抗がん剤、放射線療法、骨髄移植で治癒、長期延命のがん(主に血液のがん)	小児の急性リンパ性白血病(ALL)、小児の急性骨髄性白血病(AML)、初期の悪性リンパ腫、慢性骨髄性白血病(CML)、慢性リンパ性白血病(CLL)、絨毛腫瘍、小児の固形がん(肉腫)、精嚢がん、肺の小細胞がんで限局性のもの、限局性の舌・食道・喉頭・咽頭がん
③抗がん剤である程度延命効果があるがん	乳がん、卵巣がん、胃がん、大腸がんの術後再発・再発・転移した子宮がん、甲状腺がん
④抗がん剤をしても短期間しか延命しないがん(延命効果のないがん)	肺がん(限局性の小細胞がんを除く)、限局性でない舌・食道・喉頭・咽頭がん、腎臓がん、尿管がん、肝臓がん、盲腸がん、十二指腸がん、副腎がん、悪性脳腫瘍、成人T細胞白血病(ATL)、多発性骨髄腫
⑤どんな抗がん剤治療でも早期に死に到るがん	脾臓がん、胆のうがん、胆管がん。悪性線維性組織球腫(MFH)、成人の(消化管以外の)肉腫、(数は少ないが)胸膜中皮腫、卵巣がん

*手術せずホルモン剤で治療する場合が多い

ては身を引き裂かれる思いです。生きる、死ぬというこではないんです。この一瞬、血液の1cc、筋肉の1g、何とかしてやりたい。だからおかゆを一さじ手にして、いやがる子どもの口元を持って行って、脅したり、すかしたりしながら何とか口に入れてもらおうと必死にやっているわけです。30分、40分やっているわけです。そんな光景を主治医の先生、師長さんが見ているんです。

「まあ丹羽先生、国際学会の招待講演までして、一流雑誌に医学論文をいっぱい発表して、医学の粋を極めたあの丹羽先生が、子どもさんの血液のがん細胞が90%を超しているのに、おかゆのさじを持ってなだめすかしながらオロオロしている。なんでこんな愚かなことしているんだろ」とばかにした顔をして私の方を見ていました。そんなことくらい私だって分かっている。120%分かっている。死ぬことも分かっている。それでも肉親にとつたら、かけがえのない命です。神に何とかこの子を助けてくださいと祈りますよ。頭では死ぬことが分かっていますが、心では最後まで分らないんです。これが患者さんの家族の心なんです。

私は、主治医の先生や師長さんにはかにした顔で見つめられた時、ああ、

今まで私が診てきた患者さんの家族もみんなこうだった、みんな何とかしてくれとがみついていた。今まで何で死ぬことが分からないんだと逃げ回って、患者さんの家族に申し訳ない。

患者を助けたい一心で 毎日診察を続ける

以来、私は毎日毎日、神様にどうか剛士のように苦しんで亡くなっていくがん患者さんが一人でもなくなりませんように、と祈っています。私のように心に悲しみを残して生きる家族が一組でもなくなりませんようにと祈っています。心ならずして亡くなられる患者さんもおられるけど、私の診察の心は助けたい一心でやっております。それは信じてついて来ていただきたい。患者さんのご家族にはほとんど感謝されません。文句を言う人はほとんどいないです。だいたい理解してくれます。「先生、この病院に来て2ヵ月でご飯も食べられて、抗がん剤で苦しむことなく逝けてあげるとすごかったです」と言われます。

ここで何が言いたいかと言いますと、また剛士の入院のことに戻りますが、息子は、一年以上病院に入院していたんです。そうすると「お父ちゃん、家に帰りたい。家でも点滴はできる。妹と遊びたい、弟と遊びたい」と胸にすがって泣きじゃくるんです。私も情に負けてよっぽど連れて帰ろうかと思つた。ただ、家に帰ったら終わり。ただ死ぬのを待つだけ。でも、今は、抗がん剤が剛士の正常な細胞をむしばんでいるけれど、ひよっとして奇跡が起こって抗がん剤ががん細胞のほうに向かってくれないかな。皆さんは素人だからそう思います。私は玄人です。何十年と医者をやってきて、絶対にそんなことは起こらないんです。なにやっぱり私も祈るんです。絶対に起こりえない奇跡を祈って大病院に入れて、結局、息子は苦しんで死んだんです。ああ、これだけ苦しんで死ぬんだつたら、早く家に連れて帰って、兄弟と遊ばせてやったら良かった。後になって気付いたこのおろかさ。プロの私がそんなんですから、素人の皆さんがやるのは当たり前なんです。

抗がん剤「70%の確率で効く」 の本当の意味

私は西洋医学のお医者さんに言いたい。死にかかった患者さん、もう何をやってもダメな患者さんには、西洋薬はやらない。やったら死んでしまうから。

効くかどうかという採用条件は、(固形がんの場合) 新しい抗がん剤を使って4週間以内にがん細胞が1/2以下にならないと効いたことにならないんです。ところが私の薬、そんな4週間以内に半分なんて、そこまでには小さくならないですよ。副作用がないから、そこまではいかないですよ。私の生薬や治療法はこれに抵触するわけです。4週間以内に20%くらいしか小さくはならないんです。だけど、抗がん剤でがんが4週間以内に半分になっても、正常な細胞もそれ以上にダメージを受けていて、5週間目にその患者さんが亡くなっても、認可されるんですよ。そんなばかなことありますか。

肝臓がんに対する効果に 絞って論文をまとめる

2年前、あるアメリカの大学教授が、あまり抗がん剤の悪口は言わずに、私のデータだけをうまく使って、縮小効果で書いた方が良いとアドバイスしてくれたんです。それで

スピスに行きなさい。ホスピスに行つて麻薬(モルヒネ)を打って、栄養剤の点滴をして苦しまずに天国に行きなさい、と。私は2年、3年、治療しますよ。入院させたり、生薬などいろいろな治療をしますよ。でも、どうしてもダメな患者さんがいます。そのとき、私は家族に言います。

「奥さん、一生懸命にやってきたけど、もうあかん。昔は私がダメと言うと大病院に行つて、半年、1年生きた人はいますよ。でも、最近の私の薬はとにかくむちゃくちゃよく効くんですよ。私がダメだと言つてがんセンターや大病院に行つて、半年、1年生きたら、私は土下座して医者をやめます。それくらい、絶対にダメなんです。だから奥さん、ホスピスに行きなさい」

すると10人中5人は納得して、私はホスピスの紹介状を書きます。あとの半分は大病院やがんセンターに行つてしまいます。やっぱり一縷の望みを持つてしまうのです。

これはその通りなんです。どうしてかというところ、奥さんは必ず病院の先生に聞きます。「先生、この病院で新しい抗がん剤をやつて、うちのお父ちゃん助かりますか?」と。そうすると病院の先生は何と言つと思えますか?

どれだけ生きてかという延命効果で論文を出したんです。そうしたら非常に良心的な審査員が一人いて、あなたの治療は肝臓がんが一番効いているから、肝臓がんが勝負しろと。こんなところで勝負するには一番効いたもので勝負しろと。悪性リンパ腫は世界で1年以内にみんな死んでいるのです。僕の治療はだいたいその2倍から3倍生きています。でも、2倍から3倍ではいかんと。肝臓がんのデータでいけど。肝臓がんの患者さん101人。それも生半可な肝臓がんではなく、手術もできない、レーザーもできない、外科的にもう手の施しようのない肝臓がんを101人。世界で生きているのがだいたい1年以内なんです。ほとんどの治療ではなんと7ヵ月生きています。6倍以上生きていますということ。そこを論文にしたら、これはすばらしいと。そこで国際的ながん学会の雑誌に掲載が決まりました。これから大変忙しくなります。さっきも言いましたように外国では12、3年前から抗がん剤をやつても苦しんで死ぬ、という考えからもう抗がん剤治療はファーストチョイスではない。かといって、取って代るものがない。

肝臓がんで6倍の延命効果 世界が認めた丹羽療法

抗がん剤の認可基準は 腫瘍の縮小効果だけ

ほかの先生たちは、丹羽療法にはがん学会で認められたサーティファイケーション(証明)がないと、ボロクソに言うわけです。たいていの末期がん、進行がんは抗がん剤でメーカーが小さくなるのが死ぬんです。僕の治療ではがんのメーカーは大きくなります。しかし、延命して苦まずに死ぬ。ところが、ほかのお医者さんはこのメーカーの数値だけを見て、効いていない、効いていないと言つわけだ。それで悔しくて悔しくてね。そこで何とかして日本のがん学会ではダメだから海外のがん学会の雑誌に論文を出して認めてもらおうとやってきたんです。

この30年、いっぱい書きました。だけど、論文の中で抗がん剤はダメだと書くんです。すると抗がん剤を開発しているお医者さんが審査員をしているから全部落とされる。日本中、世界中、製薬会社が新しい抗がん剤を開発している。それががん

「やってみなければ分からない」

「70%の確率です」と言う。家族は本当に助かってほしいんですよ。祈るような気持ちなんです。そんな家族に、こんなことを言つたら千人が千人、全部抗がん剤をやりますよ。そしてほとんどは苦しんで死んでしまふんだ! これだけ年間で死んでいくがん患者がのた打ち回って死んでいるか。日本のお医者さん、これだけは言つてはいけない。日本のお医者さんは分かっているくせに「やってみなければ分からない」と言つんです。「70%の確率です」はこの場合、「がん細胞の縮小効果は70%」なんです。延命効果ではないんです。70%の確率で治ります、ではないんですよ!なのに日本のお医者さん、みんな抗がん剤をやる。初期にやるのは構わん。しかし、最後に苦しまれて殺すなど。

子どもが亡くなって30年、40年という治療をやっているでしょ。本当に効いているんです。抗がん剤であと半年と言われている人が10ヵ月、1年、生きるんですよ。結局死にますが、うちで治療した人は苦しんでない。そのことでほかのお医者さんはボロクソに言います。「丹羽の治療は結局にも効いてない。ほらみる、死んだじゃないか」と。

これから世界の流れは僕の薬になると思います。この論文には、SODをはじめ、私が開発した、HTTとかWBMとか冬虫夏草もサンドバも全部、どんな症状にどう効くか、私の治療の内容全部が載ります。

世界中で漢方や健康食品、何百万とあります。抗がん剤のように副作用がないのは良いのですが、まあ、僕の生薬のような切れ味はない。それでいろいろな人が国際的ながん学会の雑誌に投稿するけど、一人も通らない。私のように抗がん剤をまったく使わずに天然の生薬だけでバッチリこれだけ効いたという論文は、日本はもちろん、世界でもおそろしく初めてなんです。

これで日本のお医者さんも、丹羽のがんの治療は何も効いていないとか、がん学会で認められていないとは言えなくなると思います。今回、この機会に皆さんに発表できたことは非常に良いタイミングだったと思います。

SOD様作用食品とは どんなもの？

活性酸素除去に欠かせない

「SOD酵素」

抗酸化剤としてのSOD酵素

もともと、体内の免疫作用として有用な活性酸素です。過剰でなければ、人体に及ぼす悪影響は少ないのです。このことは逆に、すぐに私たちの体には過剰な活性酸素の発生に対する機能も用意されているということでもあります。

例えば、強い紫外線による刺激は有害な活性酸素を発生させる一因です

が、常に日差しにさらされている植物はSOD酵素を体内に多く用意しています。

私たちの体内においても有害な活性酸素や過酸化脂質が発生すると、これらに対抗してSOD酵素が上昇します。これをSODの誘導能といいます。

問題はSOD誘導能

ところで、がんや老化が過剰な活性酸素により引き起こされることは、す

でに通説ですが、がんにかかる人、かからない人、いつまでも若々しい人等、個人差はどのようにして生じるのでしょうか？

丹羽耕三博士の研究によれば、一つには遺伝子の関係でSOD酵素の個人差が生じること、もう一つには40歳を過ぎる頃からSOD誘導能が低下することがつきとめられています。したがって、過剰な活性酸素による発症や老化に対しては、低下したSOD誘導能に代わってSOD酵素を補うことが、有効な対策となるのです。

SOD酵素と同じように、活性酸素を除去するのに有効な物質として、ビタミンCやEなどが挙げられます。SOD酵素は大きな分子量（高分子抗酸化剤）ですが、ビタミンCやEは小さな分子量（低分子抗酸化剤）です。低

分子抗酸化剤であるビタミン類は体内で作られることなく、食物による摂取が必要になります。

ビタミン錠剤の限界

それでは、ビタミン剤を経口摂取すれば活性酸素は除去できるのでしょうか？本来、体内に用意された物質ではありませんから、大量に摂取すると排出されてしまったり、工業的に合成されたビタミン類では、体内に取り込まれても活性が低いので、過剰に発生した活性酸素に対して、細胞の奥にまで潜りこんでの有用な働きは期待できないのです。

私たちが常食している野菜の中には含まれる抗酸化剤も、畑で採れたての新鮮なうちは活性も高いのですが、貯蔵

天然素材で副作用知らず！

化学的に証明されたSOD様作用食品

SOD酵素と同じ働きの食品の開発に成功

SOD酵素の製剤化が困難な理由は、高分子抗酸化剤のため、注射液にしても体内の必要な部位に到達できないこと、経口薬にしても腸管からの吸収が困難なことが挙げられます。また、工業的な合成では、前述のビタミン類と同じように活性の問題から、体内での有効な働きを期待することはできません。唯一、20年余り前に、仏パリ物理化学研究所の生化学者ミッケルソン氏と丹羽博士が共同で、リポゾームSODの製剤化に成功しました。

丹羽博士はこの経験をもとに、まったく別のアプローチでSOD酵素と同じ働きをするSOD様作用食品を開発しました。丹羽博士の開発したSOD様作用食品は、ビタミンC・E・B、カロチンなどの抗酸化物質が豊富な杜仲茶・胚芽・大豆・ぬか・ハトムギ・柚子果汁・ゴマなど、天然の素材を原料としています。

SOD様作用食品の加工法は、原料の特質を損なわない加工法ですから、多くのビタミン製剤が、分離抽出を経て化学合成品として製造されるのとは、まったく異なっています。吸収を良くし、細胞の浸透膜を透過して目標に到達するよう、ビタミンの結合力を弱め低分子化することに、心を砕き考案されたものです。SOD様作用食品は次の3つのプロ

流通で時を経過するうちに活性は低くなります。また、大量に食べなければならぬので、完全に補う量まで達することは困難に近いといえます。そこで世界の有力製薬メーカーがこぞってSOD酵素の製剤化を目指しましたが、莫大な研究費を投じたにも関わらず、いまだ目立った成果を上げていません。

そこで、不足したSOD酵素を補填するためには、植物が有するビタミンの摂取以外に方法がない。

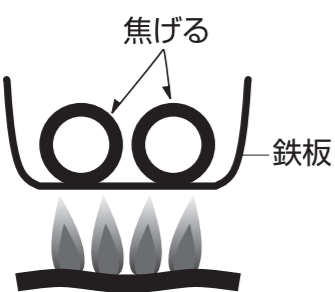
人間が本来有する、生理的なSOD酵素の産生能力が、加齢で減少したり個人差があれば、病気になる

SOD様作用食品の研究・開発の過程

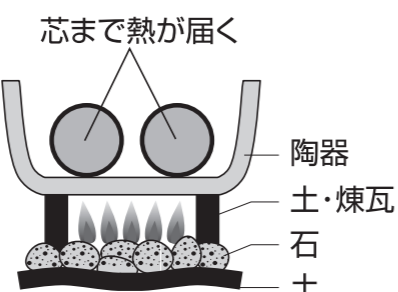
しかし、この植物のビタミンは分子間の結合力が強く、現代人の胃液の力では容易には分解できない。

丹羽博士は植物のビタミンが吸収されやすい低分子化を研究し、開発に成功した(SOD様作用食品)。

〈一般の焙煎〉



〈遠赤外線焙煎〉



セスを経て、完成していきます。①遠赤外線焙煎▼「焼き芋」を焼くと同様の方法です。摂氏98度を長時間維持することで焦げることなく、遠赤外線で中心部まで加熱します。こうして堅い重合から開放されて、フリーな活性型の抗酸化物質に生まれ変わります。

丹羽耕三先生 スペシャルインタビュー

女性のがん・男性のがん

乳がん 前立腺がん



乳がんは主に女性、前立腺がんは男性が発症するがんです。しかし、男性でもまれに乳がんを発症することがあります。いずれのがんも患者数が増加しており、日本国内では、女性と男性が発症するがんの上位となっています。その原因やメカニズム、治療法などについて丹羽耕三先生にお話を伺いました。

「乳がんというのは奥が深い病気で、とても一言では語れない。だから今回はまずそのさわりだけお話ししましょう。通常、がんは手術をして腫瘍がすべて取り切れて、その後5年間、再発しなかったら無罪放免。しかし、乳がんは10年、20年、30年たっても無罪放

乳がんは無罪放免はない

——最近、どうも乳がんにかかられる女性が増えてきているような気がするのですが、乳がんはどのような病気なのでしょう？

乳がんというと、一昔前は乳房を完全に切除しなければならぬ、女性にとつて深刻な病気でした。今は温存療法や切除後の再建手術など、さまざまな治療方法の選択ができるようになりました。また、自己チェックに始まりマンモグラフィ、X線などの検査で早期発見・早期治療もできるようになりました。しかし、これら医療の発展の裏に、乳がんを発症する女性が増えていることを見逃してはなりません。その数は50年前の倍に増加し、いまや日本人女性が発症するがんの上位を占めています。食生活の欧米化とともに急増し続け、昔はホルモンのバランスが崩れる40歳以降に発症することが多かったのが、近年、若い世代にも広がりを見せています。

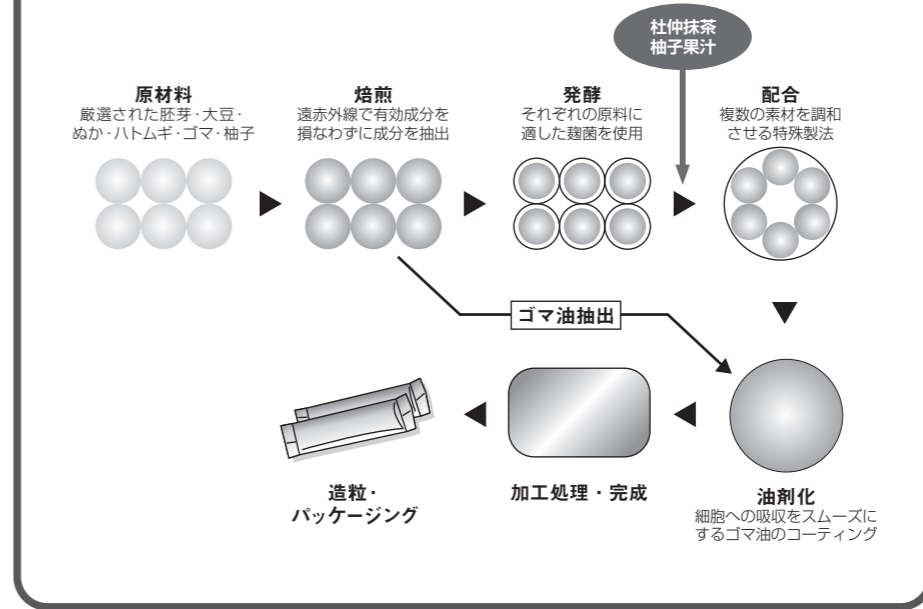
乳がん

免はない。30歳のときに手術で取り切ったがんが70歳になってから再発したりするものなのです」

——かかるのはやはり女性ですよ。

「99%女性。ただ男性もなりますよ。うちにも3人くらい男性患者さんがいる。一般的に女性しか女性ホルモンが出ないと思われている方が多いみたいですが、男性も、女性ホルモンをつくっています。ただ、その量のバランスが女性とは違つて（うつこと）」

SOD様作用食品



②「つじ発酵」お酒やお味噌」と同様に「つじ」を用います。これは加熱でも重合が解けなかった部分について、つじという生体の分解酵素を利用して、重合を完全に解く方法です。

③焙煎ゴマ油で油剤化▼ゴマ油で包み組織に到達させます。界面活性性の応用で、例えば油汚れを落とすのと同じ油のヤシ油が有効なように、細胞膜の油親和性に着目した手法です。

SOD研究会からのお知らせ

いつもSOD研究会報をご覧いただきありがとうございます。最近、特に当研究会へお問い合わせいただくことが多い内容についてお知らせ致します。「丹羽耕三博士のSOD様食品は金の笠のシールが貼られていれば、どこも同じものなのではないでしょうか？」というような、ご質問をよくいただきます。その回答としましては、金の笠（管理番号付）シールは丹羽免疫研究所で分析・検定し、エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で開発当初から、厳しい品質管理のもとに伝統的な製法で造られる製品だけに貼付される信頼の証（マーク）でした。しかし、ここ数年前より丹羽先生の考えで別の工場で製造されたSOD様食品にも金の笠のシールが貼られ、販売されているものもあります。一般消費者が土佐清水市の工場で製造されたか、そうでないかを見比べる一つの目安が、まず金の笠シールの特徴にあります。

エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で製造されている製品シールの特徴



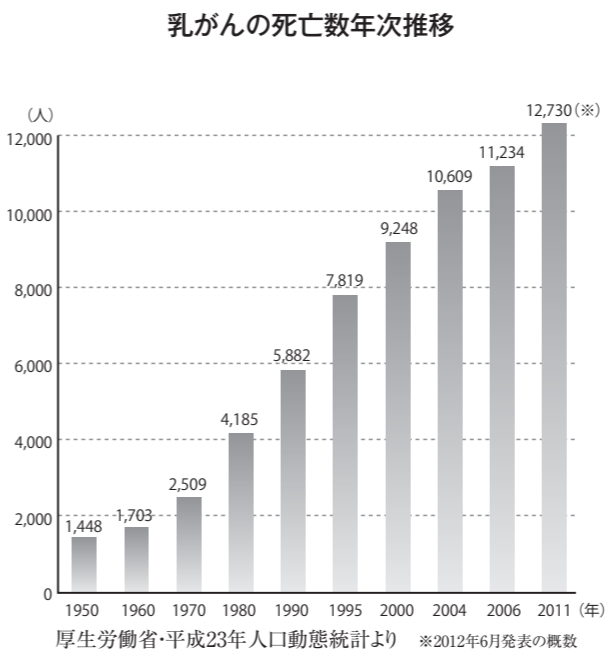
原寸大 横 30mm、縦 25mm

- 管理番号は6桁
※土佐清水で製造された証明の通し番号となっています。
- シール左部分に絵や記号が記載されている
※左部分の表示は製品管理の為、不定期に変わります。
- 他の工場で製造された製品と比べ、原末の味や色、粒の大きさが違う場合などがある

——近年、増加傾向にあるのはどうしてでしょうか。

丹羽先生いわく

「女性ホルモンにはエストロゲン（卵胞ホルモン）とプロゲステロン（黄体ホルモン）という二種類があります。乳がんというのは、この女性ホルモンが過剰になって乳腺を刺激することからできるものなのです。昔、日本人は肉や乳製品をほとんど食べなかった。その頃は、閉経後の女性に乳がん患者はあまりいませんでした。ところが戦後、欧米の食生活になり始めてから、閉経後の女性の乳がんが増えてきました」



——この肉乳製品と乳がんの関係は？

「閉経後、自分のからだの中では女性ホルモンを作らなくなった人が、肉乳製品を食べると、食べた肉が副腎に行き、それが女性ホルモンに変わるのです。自分ではつくらなくても、食べた肉からできてしまう。最近では日本でも70、80歳代のお年寄りの乳がん初発、再発患者が多くなっています。それだけお年寄りも肉乳製品を食べる頻度が高いということです。」

以前、広島大学のがん学会の先生が肉乳製品ばかりあげた肺がんのマウスと魚介類ばかりあげた肺がんのマウスを解剖したら、肉乳製品の栄養はすべてがん細胞にいき、魚介類の栄養はすべて正常な細胞にいったいどうですか。つまり肉を食べる人間が元気になるのではなく、がんが元気になるということですね。また、アメリカは肉食社会で環境汚染、ダイオキシン

ンの汚染もひどいから、それが卵胞ホルモンに作用して、乳がんの患者がもつていくことが多い。アメリカの乳がん患者は中高年の10人に1人の割合でいます。これはすごく高い割合です」

——環境汚染も乳がんに関係しているというのでしょうか？

「環境汚染の中で一番たちの悪いのは塩化合物。その代表格がダイオキシンなのです。これは人類史上、最後まで最強の毒物といわれています。何が最強かというと、体内に入ると脂肪とくっついてなかなか離れない。どんなことをしても体外に出ないといわれています。これが女性ホルモンの働きをするから困るのです。雄のメダカを雌に変えるくらいの力を持っている。アメリカはこのダイオキシンの環境汚染がひどいんですよ」

——その乳がんですが、治療法は？

「大抵の病院ではホルモン投与治療が行われています。乳がんの治療は、閉経前と後では変わってきますが女性ホルモンを抑えるホルモン剤を2〜5年、長くても10年くらい飲ませるんです。この方法は卵胞ホルモンを抑える

ので生理のある若い女性には効果的」

——乳がん患者さん全員に効果的ではないのですか？

ホルモン剤を投与してもいいかどうかを調べる検査があります。レセプターといって、乳がんの細胞に女性ホルモンがくっつくかどうか、また、受け入れる性質があるかどうかを診る検査があります。その性質がなかったらホルモン投与はしなくていいのです。しかし、50歳を過ぎて生理がなくなっている女性にも卵胞ホルモンを抑える治療をしているケースがあります。僕からいわせるとそれはとんでもないこと。だいたい50歳過ぎた女性は肉、乳製品さえ食べなかったら卵胞ホルモンはできないのだから」

——50歳過ぎの方が飲むとどうなるのでしょうか？

「女性ホルモンを抑えるホルモンはあまり飲ませると、卵巣がんになる。これも膨大な治療をしている中で発見したこと。乳がんは卵巣には転移しないのに、どうも乳がんの既往歴のある患者さんに卵巣がんになるのが多いなと思ったら、案の定、50、60歳代の女性

がホルモン剤を飲んでいたのでね」

——リスクが大きいですね

「20年くらい前に僕も行った大阪大学の学長の退官講演というのがあって、彼は乳がん専門の外科医だった。その学長は50年以上医者をやってきた中で、いろんな病気で卵巣を取ってしまった女性1000人と、卵巣を取ってない女性1000人を調べたら、卵巣を取った女性は1人も乳がんになっていないんです、とびっくりしました。ということは、受容体がプラスであるのがマイナスであろうが、とにかく女性の卵巣を取って、女性ホルモン、エストロゲンが出ないようにしたら乳がんに効くということなんです。昔は今みたいにホルモン剤なんてなかったから、乳がんになったら卵巣を取ってしまうことが多かったんです」

——美容や更年期症状のために、女性ホルモンを活性化させるサプリやドリンクを飲んだりするのはどうなのでしょう？

「どうでもいいようなサプリなら毒にも薬にもならないからいいけど、ホルモン剤を飲んだり打ったりするのはい

乳がんとホルモン療法について

抗エストロゲン剤が日本で承認されたのが1981年です。LH-RHアゴニスト製剤が1994年、第一世代のアロマトラーゼ阻害剤が1995年。第二世代のアロマトラーゼ阻害剤が2001年と、ホルモン療法の歴史はまだ30年と少ししかありません。それ以前のホルモン療法は卵巣摘出や、女性ホルモンに対抗して男性ホルモンを投与するなど、患者さんにとって辛いものでしたが、現在さまざまなホルモン療法が推奨されています。

乳がん細胞の増殖を促進するエストロゲンが作られる場所は閉経前の女性と閉経後の女性で異なります。

閉経前の女性では、エストロゲンは主に卵巣で作られます。閉経後の女性では、卵巣機能が低下し、エストロゲンの量が減ります。しかし、代わりに副腎からアンドロゲンという男性ホルモンが分泌され、脂肪組織などに存在しているアロマトラーゼという酵素の働きによって少量のエストロゲンが作られ続けます。

エストロゲンが、がん細胞内のエストロゲン受容体と結合すると、乳がん細胞が増殖します。ホルモン療法ではエストロゲンの産生を抑えたり、エストロゲンがエストロゲン受容体に結合することを妨げることで、乳がん細胞の増殖を抑えます。

(国立がん研究センター中央病院)

閉経前と閉経後に使われる主なホルモン剤

	分類	一般名	薬の働き
閉経前	LH-RHアゴニスト製剤	酢酸リュープロレリン	卵巣でのエストロゲン合成を抑える
		酢酸ゴセレリン	
閉経前 閉経後	抗エストロゲン薬	タモキシフェン	エストロゲン受容体に結合してエストロゲンが乳がん細胞に作用するのを妨げる
		トレミフェン	
閉経後	黄体ホルモン薬	酢酸メドロキシプロゲステロン	間接的に女性ホルモンの働きを抑制する
		アナストロゾール	アンドロゲンをエストロゲンに変換するアロマトラーゼを阻害する
	アロマトラーゼ阻害薬	エキセメスタン	
	抗エストロゲン薬	フルベストラント*	エストロゲン受容体に結合してエストロゲンが乳がん細胞に作用するのを妨げる

*フルベストラントは、ステロイド性抗エストロゲン薬に分類される薬剤である。部分アゴニスト作用は有しておらず、タモキシフェンより強いエストロゲン拮抗作用を示します。また、乳癌細胞においてエストロゲン受容体をダウンレギュレートする効果を持つことから、国内初の「Selective Estrogen Receptor downregulator」(SERD)に分類されます。

*フルベストラントは承認時までの国内臨床試験(500mg投与群)では、67.9%に副作用が認められている。主な副作用は、注射部位の疼痛(28.6%)・硬結(23.2%)・そう痒(10.7%)・ほてり(14.3%)などであり、重大な副作用としては肝機能障害、血栓塞栓症が報告されています。また、動物実験で生殖毒性や出生児の生存率低下が認められているため、妊婦や授乳婦での使用は禁忌となっていることにも留意する必要があります。

生理というのは子どもを産むためにあるもので、すぐに子どもを産む必要がなければ無理することはないんです」(二〇〇七年一月十日・二〇〇七年四月十日発行 日本SOD研究会会報より一部編集して掲載)

65歳以上の男性に急増、 男性のがん上位に

前立腺がん

前立腺がんは中高年に多くみられ、年々増加傾向にあります。2008年に行われた厚生労働省の調査では、胃がんや直腸がんを抜いて男性が発症するがんの上位となり、その数は18万人と推定されています。特に60代後半で増加傾向です。前立腺とは男性のみにある臓器で膀胱の真下にあり、クルミの大きさの大きさで、精液の一部をつくる役割をしています。この部位にできるがんが前立腺がんです。加齢とともに罹患率が高まるがんの代表といえます。がんの中では比較のおとなしい部類で、早期に見られたがんに対して過剰な治療をしなくても、命に関係がない場合も多いようです。しかし、この前立腺がんを手術などで摘出したり、放射線照射で消滅させたりすると、副作用で尿失禁や性機能障害になる場合も。そんな中、前立腺がんの進行状況を確認できて、経過観察が可能な「PSA検査」(※注)が注目されています。

手術する必要のない 数少ないがん

「前立腺がん」というのはどのようなものなのでしょうか。まず、がんの手術という点について話をしておきましょう。私は毎日頭、

抗がん剤治療なんていうばかなことはやめろ、手術で取りきれぬという条件のもとでなら手術をしたほうが良い、と言っています。なぜ取りきれぬという条件かという点、がん細胞というのは、一部だけ切り取って、残りを傷つけたまま残しておく、四方八方に散

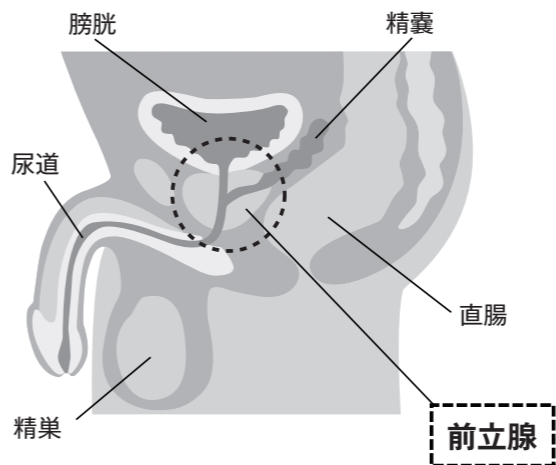
るんです。例えば胃がんが肝臓にへばりついているがん。これは取っても取りきれない。なぜなら肝臓という臓器は一部だけを切り取る事ができず、切ったら出血多量で死ぬからです。そうなる、開腹手術をしても開けただけですぐに閉じる。肝臓に限らず、とにかく取りきれないのなら取らないで開腹のみというのは医学界の常識。よく、取りきれないで一部のがんを残して抗がん剤治療をやる医者がいるが、これは言語道断でとんでもないこと。ところが、この常識の例外がいくつかあります。その一つが前立腺がん。なかには手術で取る医者がいるけれど

基本は取らない。前立腺がんを手術で切ると、多くの場合おしっこが自力で出せなくなるんです。そうすると垂れ流しになってしまい、おむつ生活。後が厄介なんです。だから普通は手術をしない」

「では前立腺がんは手術をしないでどんな治療をするのでしょうか？」

「ホルモン剤治療をやります。男性ホルモンを抑えるホルモン剤があって、これをやると20人中19人は良好です。それと前立腺がんは死亡率がそれほど高くないんです。胃がんや肺がんみたいに1年、2年で亡くなる、というようなことが少ないんです。完治することもないけど、ホルモン剤で抑えていけば経過は良好と5年ほどが多い」

前立腺の位置



前立腺は膀胱の出入り口にあり、尿道を取り囲んでいる。

「転移なども少ない
のでしょうか。」

「少ない。もしも亡くなるとしたら決まっている。何百人に一人だけ、肺か骨に転移す

るといふ非常に特徴的な転移をするんです。骨の場合、前立腺と腰の骨の位置が近いことから、よく腰が痛くなり腰痛と間違えられてしまいます。レントゲンを撮って調べてみると骨

存できるのがこの前立腺がん。PSAマーカーの数値が高く、実際にがんがあっても、何も治療をしなくても大丈夫な人もたくさんいます。これもほかのがんに見られない前立腺がんの特徴」

「がんになっていたということがあ

「では、がんになっていることに気が

「がんの大きさはどこかとな

「ありません。多いですね。だから、尿

「がんの大きさはどこかとな

「ありません。多いですね。だから、尿

「がんの大きさはどこかとな

「ありません。多いですね。だから、尿

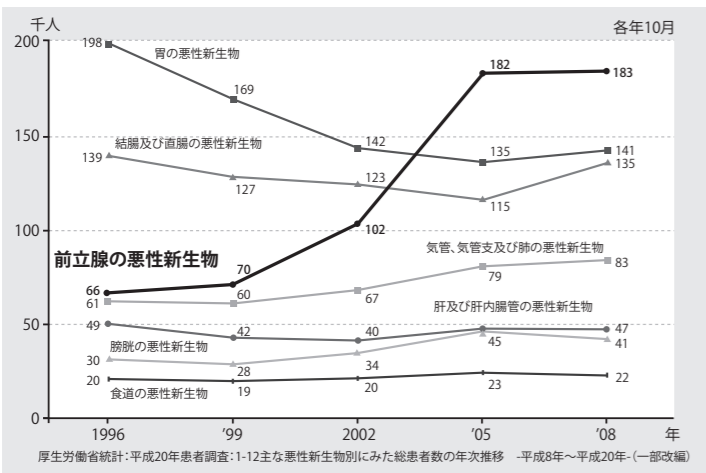
「がんの大きさはどこかとな

「ありません。多いですね。だから、尿

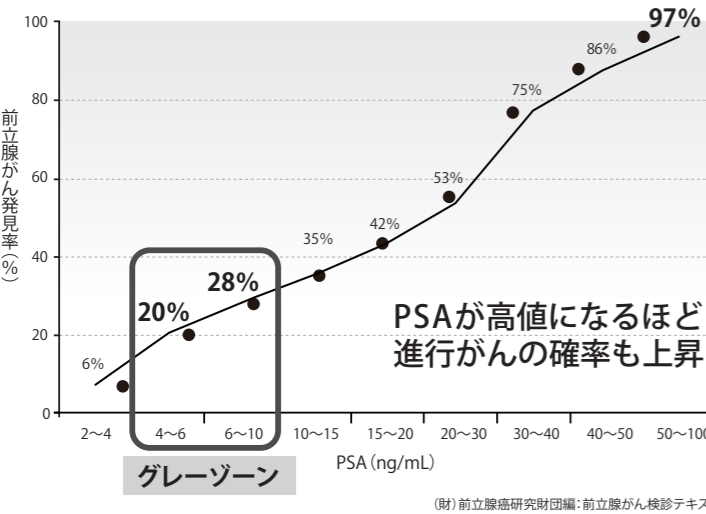
「発見する方法は？」

「一番良いのは、まずPSAというマーカーがあるので、その検査をやること。乳がんや卵巣がん、肺がんとかの普通のマーカーの該当率は90%なんです。残りの10%くらいは実際のがんマーカーが相関しない。ところがPSAだけはほぼ100%一致するんです。このマーカーが悪かったら間違いなく前立腺がん。それとも一つ、人間と共

男性悪性新生物の総患者数の推移



前立腺がん PSA値の関係



(※注) PSA検査
PSAの基準値は、一般に4.0 (ng/mL) 以下とされています。しかし、PSA値は健康な人でも加齢とともに高くなることから一律に4.0以下とするのではなく、最近では年齢に応じた年齢階層別の基準値を参考にすることが多くなっています。

年齢階層	50~64歳	65~69歳	70歳以上
PSA基準値 (ng/mL)	3.0以下	3.5以下	4.0以下

日本泌尿器科学会(編)：前立腺癌診療ガイドライン
2012年版。金原出版、東京、2012。

「白内障」

失明の恐れもある白内障は
紫外線対策とSOD様食品でブロック

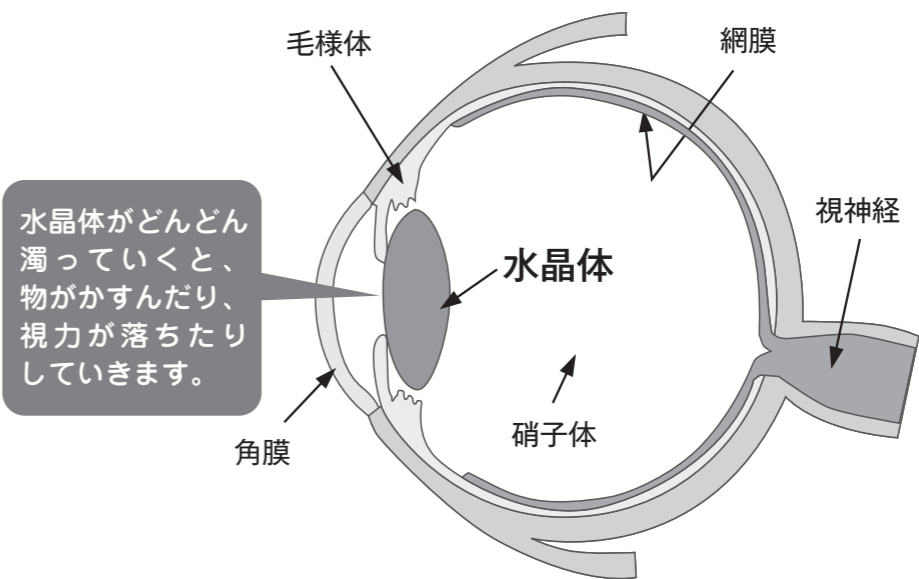
黒目の奥には水晶体という、カメラでいえばレンズの役割を担う大切な組織があります。この水晶体の中のタンパク質が白く濁った状態になる病気が「白内障」です。水晶体が白く濁ると、物がかすんだり、二重になって見えるようになります。さらには視力低下が進み、最悪のケースでは失明することがあるのです。高齢者が発症するケースが多く、60代で70%以上、80歳以上の100%近い人がかかっているといわれています。

初期の段階ではほとんど自覚症状がないのがこの病気の特徴。散瞳検査という瞳孔を開く検査をして初めて見つかることが多いようです。ごく初期の白内障は点眼薬で進行を遅らせることはできますが、水晶体の濁りを消すことはできません。進行した場合は、濁った水晶体を取り除き、レンズをいれる手術が一般的です。ただし、手術

の合併症によって重篤な視力障害が起ることもあるので、受ける際は慎重に検討する必要があります。

この白内障は水晶体の成分であるタンパク質が活性酸素によって酸化し、変化することによって引き起こされます。目は皮膚などと同様、強い紫外線の影響を受けやすい器官の一つです。ですから、本来、紫外線をバリアするためにSODをたくさん持っています。しかし、加齢によってSODが減り、水晶体の中で活性酸素が増えてしまいます。

白内障の予防のためには紫外線対策が大切です。UV（紫外線）カット効果のあるメガネ・サングラスをかけるのも有効な手段の一つです。食事にはビタミンEをたっぷり含むだごマ、ビタミンC豊富な緑黄色野菜など抗酸化食材がお勧めです。そうした対策をした上でさらにSOD様作用食品（以下、SOD様食品）をとっていきましょ。



「胃潰瘍・胃がん」

胃の中にたとえピロリ菌がいたとしても
SOD様食品があれば怖くない

「ヘリコバクター・ピロリ菌」（以下ピロリ菌）が慢性胃炎や胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃がんなどの発症原因の一つであることが広く知られるようになりました。胃潰瘍では70〜80%の人、十二指腸潰瘍では90〜100%の人がピロリ菌感染者だという報告があります。また、世界保健機構（WHO）はピロリ菌を胃がんの最高レベルの確実発がん因子に認定しています。

このピロリ菌は乳児期や幼児期に感染された水や食べ物などを口にしたことで感染すると考えられています。そのため、子ども時代、上下水道環境が悪かった50歳以上の人では、なんと約80%が感染しているといわれています。胃潰瘍・十二指腸潰瘍ではピロリ菌の除菌が保険治療として認められています。抗生物質などに耐性を持ったピロリ菌も出てきているため、数%は除菌に失敗することがあるそうです。また、

除菌治療によって胃が傷つけられ、萎縮性胃炎や食道がんのリスクが高まるというデメリットがあります。

国内にはピロリ菌感染者が6000万人以上いるといわれていますが、全員が胃がんや胃潰瘍などを発症しているわけではありません。病気になる人とならない人の違いはどこにあるのでしょうか？ その答えは「ピロリ菌が病気を発生させるメカニズムに関係があります」。

ピロリ菌は胃の中に入ると、さまざまな刺激物を放出。それによって白血球の一種である好中球が活性化されて活性酸素を多く生成します。この過剰な活性酸素が胃粘膜を傷つけてしまい、胃がんや胃潰瘍などの病気を生み出してしまうと考えられています。つまり、活性酸素を除去するSOD様食品を上手にとっている人はピロリ菌に感染していても、胃潰瘍にならない可能性が高いといえるでしょう。



ヘリコバクター・ピロリ菌
強い胃酸の中でも生き続けられます。



「シミ・シワ」

女性の大敵シミとシワの原因は紫外線 SOD力をアップしてみずみずしい肌

紫外線の害として真っ先に上げられるのが、女性の大敵「シミ」と「シワ」です。シワの原因には加齢によるものもありますが、紫外線によるシワの方が深く目立つため、女性にとっては厄介な存在です。

紫外線によってできるシミとシワには、活性酸素が大きく関わっています。異物である紫外線から皮膚細胞・組織を守るために、活性酸素が生まれます。ところが、活性酸素は、しばしば力が余ってしまい、紫外線だけでなく、自分の肌も傷つけてしまいます。太陽に当たる度にこつこつとした戦いが続き、深いシワとシミを生むのです。

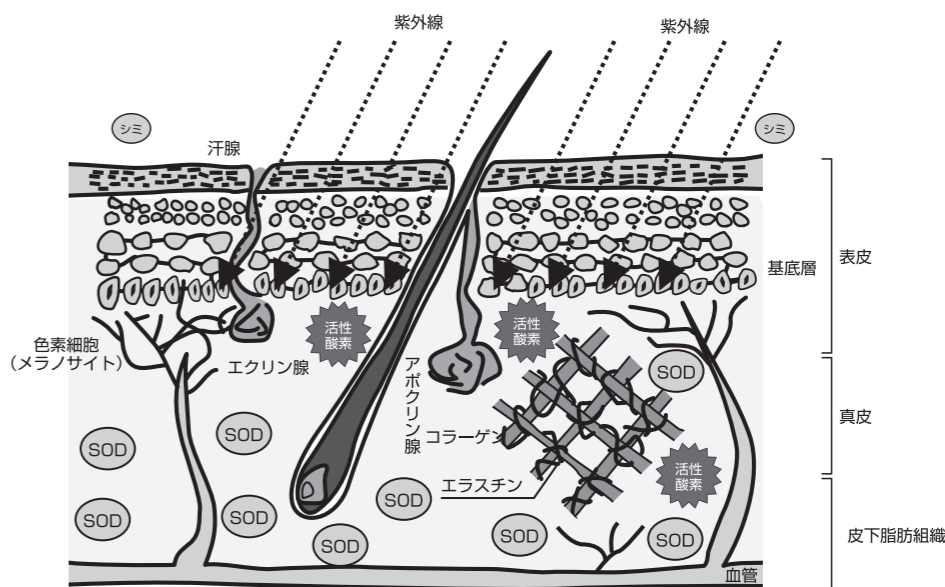
しかし、同じようにたくさん日光に当たっても、シミやシワのできやすい人とそうでない人がいます。その理由は、個人がそれぞれ持っているSODの力が大きく関係しています。

ある実験で、活性酸素の多い人からほと

んどない人まで何人かの女性の皮膚の状態とSODの力を検査しました。実験では、活性酸素の多い女性ほど

SODの力が弱く、皮膚も荒れてしまいました。反対に活性酸素がない女性はSODの力が強く、しっとり滑らかなみずみずしい肌でした。この結果から、肌細胞に害を与える活性酸素をSODが中和していることが分かります。

アメリカやフランスでも女性の肌とSODの研究が盛んに行われています。シミ・シワのない美しい肌であるかどうかは、「SODの力関係」で決まることが確認され、科学アカデミーにも登録されています。ですから、紫外線によるシミ・シワを防ぐためにはSOD様食品が有効です。SOD様食品を常用している女性の80%以上が、肌のみずみずしく艶やかになったという報告があります。



紫外線によって活性酸素が生まれ内部から皮膚を壊します。SODは活性酸素を抑え、肌を守ります。

「認知症」

くしくいになっても脳の健康を保つためには 日頃の運動とSOD様食品が有効

歳を重ねると、ちょっと前の行動を忘れてたり、とっさに言葉が出てこないのはよくあることです。しかし、記憶障害や判断力低下などが続き、生活に支障をきたすようになれば問題です。これは「認知症」であり、立派な病気。65歳以上の10人に1人がかかっているといわれるくらい、実はとっても多い病気なのです。

認知症予防には運動などで体を動したり、趣味を持って日々をいきいき過ごすことが大切だというのはよく知られています。実はそれにプラスして、SOD様食品をとることも、予防にはとても良いのです。その理由は認知症の発症に活性酸素が関わっているからです。

認知症には症状や原因によって「アルツハイマー」か、「脳血管性認知症」の二つに大別されます。

アルツハイマーは脳細胞が死んでいく病

気ですが、その原因はまだはっきりとは分っていません。しかし、アルツハイマーの人の脳にはアミロイドβ(ベータ)ペプチドというタンパクが沈着してきて、「老人斑」と呼ばれるシミのようなものが溜まっています。どうやらこの老人斑が悪さをしているようなのです。そして、この老人斑の形成には活性酸素が関与しています。

一方、脳血管性認知症は脳出血や脳梗塞などによって、脳の血管が詰まったり、破れることで起こる病気です。この脳出血や脳梗塞の主な原因も実は活性酸素。活性酸素によってできた過酸化脂質が血管にこびりつき、サビつくことで起こると考えられているのです。つまり、アルツハイマー、脳血管性認知症、いずれのタイプの認知症予防にもSOD様食品は役立つといえるでしょう。

ご家族とする認知症チェックリスト

- お年はおいくつですか(2才までの誤差は正解。1点) 点
 - 今日は、何年何月何日何曜日ですか。(年、月、日、曜日が正解で1点ずつ) 点
 - 私たちが今いるところはどこですか。
(自発的に出れば2点、5秒おいて、家ですか?病院ですか?施設ですか?の中から正しい選択をすれば1点) 点
 - これから言う3つの言葉を書いてください。後でまた聞きますのでよく覚えておいてください。
例) a)桜、b)猫、c)電車 (各1点) 点
 - 100から7を順番に引いてください。(100-7は?それからまた7を引くと?と質問する。
正解1回ごとに1点。計2点。最初の答えが不正解の場合、打ち切る) 点
 - 私がこれらいう数字を逆から言ってください。(6-8-2)(3-5-2-9)
(3回逆唱に失敗したら打ち切る) 各くくり1点。 点
 - 先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってください。
(自発的に解答があれば各2点、もし解答がない場合以下のヒントを与えて正解であれば1点。)
a)植物、b)動物、c)乗物 点
 - これから5つの品物を見せます。それを隠しますので何があったか言ってください。
(時計、鍵、タバコ、ペン、硬貨など必ず相互に無関係なもの) 点
 - 知っている野菜をできるだけ多く言ってください。
(途中でつまり、約10秒まっても出てこない場合は打ち切る) 点
- 5個までは0点、6個=1点、7個=2点、8個=3点、9個=4点、10個=5点
 <採点> 1=1点、2=4点、3=2点、4=3点、5=2点、6=2点、7=6点、8=5点、9=5点 点
 計30点満点。
 <結果> 20点以下だと認知症の疑いがあります。 「長谷川式簡易知能評価スケール」より

「歯周病」

成人の約80%がかかっている歯周病も
SOD様食品による免疫力アップで改善！

歯肉（歯茎）が腫れたり、出血したりといった症状を伴う「歯周病」は、歯周組織が歯垢（プラーク）中にある歯周病菌（細菌）に感染したことで引き起こされます。日本人が歯を失うもっとも大きな原因の一つで、成人の約80%がかかっているといわれています。自覚症状がないため、進行しやすいのもこの病気の特徴です。

歯周病の初期段階は「歯肉炎」と呼ばれ、歯周病菌の付着によって歯肉（歯茎）が赤く腫れて炎症を起こします。歯磨きで出血するのも歯肉炎です。この歯肉炎が進行し、さらに歯周組織が侵されたものが「歯周炎」です。歯と歯肉の間に、歯周ポケットと呼ばれるすき間が発生。それによって、歯がぐらつき、最終的に抜けてしまうのです。たかが歯が抜けるくらいと思いかもありませんが、歯周病は認知症や肥満、狭心症・心筋梗塞、糖尿病、肺炎、胎児の低体重・早産、がんなどに悪影響を与

える恐ろしい病気なのです。

歯周病は歯周病菌によって引き起こされますが、体質や免疫力、喫煙などの生活習慣なども進行に大きく関わってきます。最近では活性酸素が歯周病と深い関わりがあることが解明されつつあります。活性酸素はもともと歯周病菌を攻撃するため、歯周病患者は活性酸素が多い傾向があります。実際、歯周病の人とそうでない人の血液中の活性酸素を調べたところ、歯周病の人のほうが2倍近く多かったそうです。

しかし、この活性酸素が増えすぎると、逆に歯周組織まで攻撃して、歯周病の進行を早めてしまうことに。ですから、歯周病の人はSOD様食品を積極的にとると良いのです。実際、歯周病がSOD様食品によって改善したという報告が多く寄せられています。

「骨粗しょう症」

SOD様食品が骨粗しょう症の進行を食い止め
寝たきりにならない丈夫な骨をつくる

「骨粗しょう症（骨量減少）」とは簡単に言うと骨がもろくなる病気です。国内で治療を受けている人は500万人、受けていない人を含めると1200万人以上の患者がいるといわれています。日常生活に支障はありませんが、軽く転んだだけでも骨折しやすくなります。高齢の方はそれをきっかけに寝たきりになることがあるので注意が必要です。

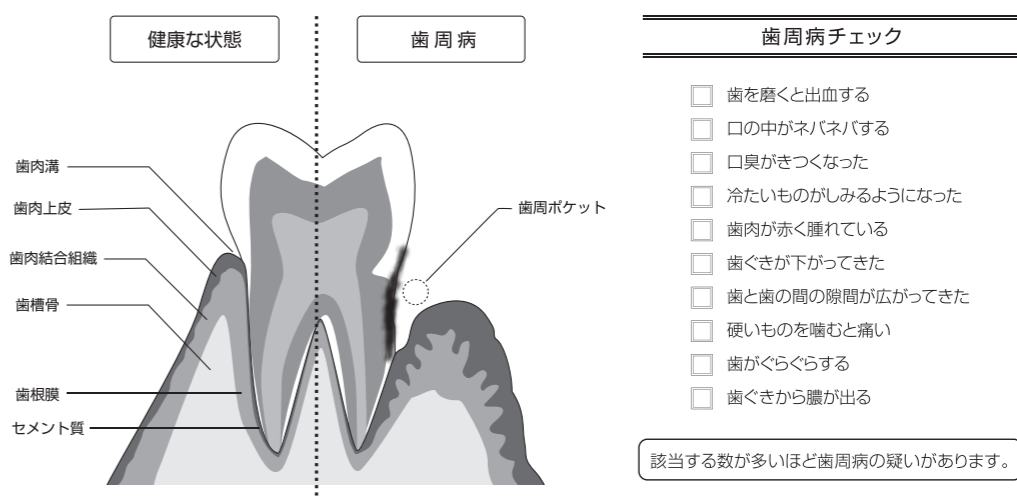
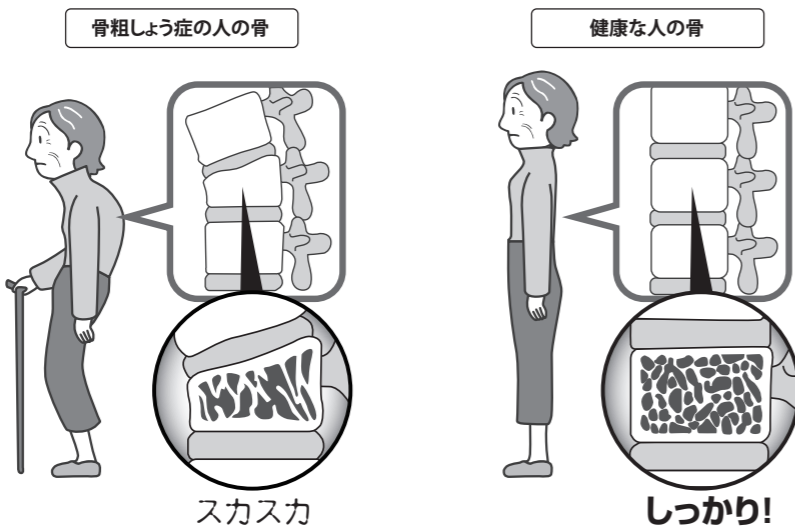
患者は50代以上の女性が多く、発症する原因は閉経による女性ホルモンの減少、カルシウム・ビタミンD・ビタミンKの摂取不足、運動不足、喫煙、遺伝などがあります。また、糖尿病や関節リウマチ、慢性腎臓炎などの病気の合併症、ステロイド薬など薬の副作用で起こることもあります。さらに、活性酸素が骨粗しょう症の進行を促進することが分かってきました。

そもそも骨粗しょう症は骨代謝がうまくいかず、丈夫な骨が形成できなかったときに起こる病気ですが、それには破骨細胞という細胞が

関与しています。破骨細胞は骨の内側にあり、古くなった骨を吸収する働きをもつ細胞です。新しい骨をつくるもことなる骨芽細胞と同様、骨の代謝にとってはなくてはならない細胞です。

過剰な活性酸素は破骨細胞を増殖・活性化し、骨吸収を促しますが、それに骨芽細胞による骨の再生が追いつかないために骨量が減少してしまい、骨粗しょう症になってしまいます。

閉経などにより女性ホルモンが減少することで骨粗しょう症の発症リスクが年齢とともに上がってしまいますが、生活習慣に気を付けることで発病を防ぐことはできます。一番大切なことは、ウォーキングなどで適度に運動をすることです。その上で食事ではヒジキや大豆などのカルシウムが豊富な食品、そしてSOD様食品を積極的にとることが大切です。



「更年期障害」

ホルモンバランスを崩す活性酸素を
SOD様食品で除去して快適な更年期

女性は、閉経に向けて40代くらいから卵巣の機能が徐々に低下し、女性ホルモンの一種であるエストロゲンの分泌量が減っていきます。このエストロゲンの減少に体がついていけずに、女性ホルモンのバランスが崩れて起こるのが「更年期障害」です。その症状は身体・精神両方であらわれ、のぼせやほてり、イライラ、動悸・息切れ、頭痛、不眠、めまい、肩こり、腰痛、便秘など、実にさまざまです。さらには、エストロゲンの減少はこうした不定愁訴だけでなく、骨粗しょう症や高血圧症、動脈硬化などの疾患を引き起こすこともあるのです。

ように重い症状の人がいる一方で、そうしたものをまったく感じずに、健康な日々を送る人もいます。その違いはストレスや生活習慣、体質などいろいろな要因が考えられますが、活性酸素との関係を指摘する声もあります。

女性ホルモンのエストロゲンには活性酸素を除去する強い抗酸化作用があることが、近年の研究で分かっています。ですから、エストロゲンの分泌量が低下すると、活性酸素は十分に処理されなくなり、つまり、過剰な活性酸素が悪さをして、更年期障害を重くしているのです。

実際にSOD様食品をとるようになってから、更年期障害が軽くなったという声が多数寄せられています。更年期を健やかに乗り切るためには、SOD様食品を十分にとり、ストレスのない規則正しい生活を送ることが大切です。

「ED(勃起障害)」

20代、30代にも増え続けているEDには
生活習慣改善とSOD様食品を

陰茎が勃起できなくなる「ED(勃起障害)」。現在、成人男性の4人に1人が勃起不十分でときどき性交ができない中等度のED、または、まったく勃起できないために性交不能な完全EDであるといわれています。

年齢とともに性機能が衰えるのはある程度は仕方がないことです。しかし、そのことを男性の活券(かたせん)に関わる深刻な問題と考える中高年は少なくありません。また、最近では20代、30代の「男盛り」ともいえる若い年代に増えてきていることが問題になっています。

EDになる原因は大きく分けて心理的なものと肉体的なものがあります。心理的な原因としては仕事のストレスや対人関係の悩み、パートナーとの関係性などです。一方、肉体的な原因としては、高血圧や糖尿病などの生活習慣病、慢性腎不全、男性更年期などの病気、抗うつ剤や降圧剤などの

服用が関わっていることが分っています。とくに40歳以上で高血圧になっている男性の10人に1人はEDなのです。そもそも性的な刺激を受けたことで血中に一酸化窒素が放出され、血管が拡張。陰茎の海綿体に血液が大量に流れ込むことで起こります。

この一酸化窒素は活性酸素がそばにあるとすぐに結びついてしまうという困った性質があります。血液中に活性酸素が多いと、一酸化窒素が血管を拡張させるという本来の働きをしなくなり、勃起が起ころなくなってしまうのです。

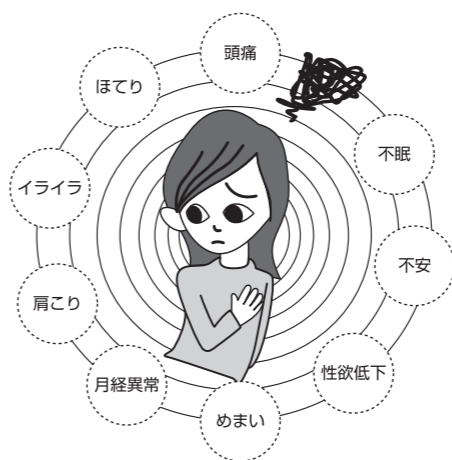
活性酸素は年齢とともに増えてきますが、若くてもストレスや喫煙・過剰な飲酒、不眠などによって増加します。生活習慣を正すのはもちろん、SOD様食品をとることもED予防には大切だといえるでしょう。

EDの原因

心理的な要因	ストレス、不安、うつなど
生活習慣	喫煙、過度な飲酒、不眠など
病気	糖尿病や心臓病、高血圧、高脂血症などの生活習慣病。神経系の障害、脳出血、脳腫瘍、脳外傷、パーキンソン病、アルツハイマーなど
手術やけが	前立腺がん、膀胱がん、直腸がんなどの摘出手術、交通事故などのけが
薬の服用	抗うつ剤や降圧剤などの一部の薬



イライラやタバコもEDの原因になります。



女性ホルモンの分泌が乱れると更年期障害に…
症状は全身に現れます

更年期障害の主な症状

精神神経系	頭痛、憂うつ、イライラ、めまい、不眠、耳鳴り、判断力・集中力の低下、倦怠感など
自律神経系	のぼせ、ほてり、冷え、動悸、息切れ、しびれなど
皮膚分泌系	肌や粘膜の乾燥、湿疹、かゆみ、発汗、ドライマウス、ドライアイなど
消化器系	食欲不振、吐き気、便秘、腹部膨満感など
泌尿器・生殖器系	月経異常、ひん尿、残尿感、性交障害など
筋肉系	肩こり、腰痛、関節痛、筋肉痛など

ペット特集

ペットの健康とSOD

丹羽療法を取り入れている 獣医師の取り組みを紹介

健康への近道は
腸に優しい手づくりごはん

なぜワンコにも食事が大切なのか？
実は免疫の最前線は、皮膚と腸粘膜なんです。したがって、ワンコのアレルギーをはじめとする各種免疫疾病およびがんなどの改善のためには、常に腸粘膜に優しく、添加物や保存料がないごはんにしてもらいたいと思います。

うちの病院で指導している手づくり食を紹介しましょう。

まず、お肉は若い頃には豚コマ肉。5歳くらいから豚も肉と時々豚レバーを使っています。しかし、飼い主さん達は豚の脂が悪いと勝手に思い込んで、脂の少ないヒレ肉にしてしま

2012年3月に東京国際フォーラムでジェナー動物クリニック院長の長瀬雅之先生が動物医療について講演しました。講演では動物医療の現状について幅広くお話しいただきましたが、紙面ではペットの食事の重要性や膠原病などの病気における生薬治療(SODを含む)などについて紹介します。

長瀬雅之先生 講演 「身体にやさしい動物医療とは？ 食事・生薬療法の実際」



傾向があります。本来ワンコの祖先は、草食動物の筋肉、皮下脂肪、そして内臓を食べていたのですから、筋肉だけでなく、脂と内臓も食べないとダメなんですよね。でも、牛や鶏の脂は、同じ飽和脂肪酸でも、ワンコにとってはちょっとよろしくないんです。

内臓は、レバーが良いでしょう。レ

バーはタンパク質だけではなくミネラルとビタミンも非常に多く含まれています。レバーを食べると、ときに下痢するワンコもいるんですが、本来肉食獣ですから、筋肉、脂肪、そして内臓をバランス良く食べてはじめてワンコの食事が成り立つと思います。もちろん、これらの肉を生で食べさせちゃダメですよ。

正しい手作りの食事を食べているワンコたちの血液検査は、すばらしい結果を示すことが多いので、とても良いと思います。ただ、ワンコの種類によっては、肝臓の数値や血糖値あるいは尿素窒素に異常をきたす場合もあるので、にわか知識だけで、安易にやらないほうが良いですね。犬種、体重、年齢、去勢や不妊手術の有無をふまえて、栄養指導を受けましょう。多くの動物病院の先生が「手づくり食はやめなさい！」と言っているのはこうした理由からです。

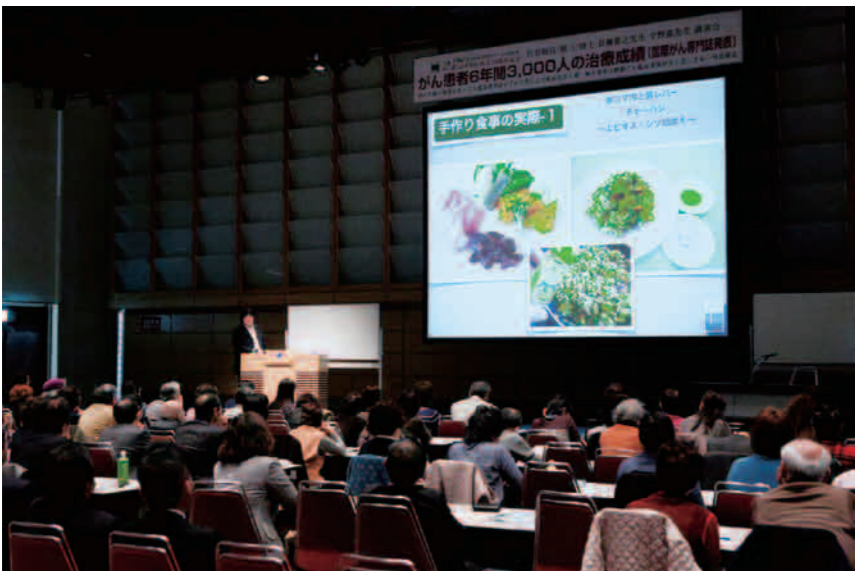
10歳くらいまでの小型犬の場合、タンパク質が4、炭水化物が3〜4、脂質が3〜2の割合の食事が適しています。10歳過ぎるとだんだん腎

臓機能が衰えてくるので、タンパク質の配分を3に下げます。すると、タンパク質からの1が余りますので、仕方なく炭水化物にその1を加えます。脂質は変わりありません(タンパク質3・炭水化物4〜5・脂質3〜2)。それが、15歳くらいまでのウルトラシニアになると、タンパク質を2にまで下げなければならぬでしょう。ワンコにとって、タンパク質と同じくらい大切な栄養素は脂質です。豚脂などの飽和脂肪酸がある程度に対して、亜麻仁油、シソ油などの不飽和脂肪酸を多く摂取するのが良いと思われ

ごはんの脂質にはこだわりを

ワンコの健康を考えて、大部分の飼い主さんがやってしまうミスが「ヒレ肉」です。しかし、体に良いからといって亜麻仁油やシソ油といった不飽和脂肪酸だけはしっかり食べさせているのです。豚脂を毛嫌いすることによって何が起きると思いますか？ 通常、胆のうから脂の吸収を助ける胆汁が出ますが、飽和脂肪酸をある程度食べると、その胆汁が胆のう内に使われず溜まってしまい、胆泥症になるのです。それが胆石になってしまう可能性もあ

ります。ですから脂質、それも飽和脂肪酸である豚脂をある程度、摂取することはとても大事なことです。不飽和脂肪酸ですが、 $\omega-3$ と $\omega-6$ があります。 $\omega-3$ は、皮膚の健康維持に作用しません。しかし、体の炎症を鎮めたり、血管、特に腎臓の血流量を上げてくれる賢い脂質です。月見草の油は、皮膚の健康維持を担っている $\omega-6$ のひとつです。不飽和脂肪酸の配合比としては、 $\omega-6$ が1に対して、 $\omega-3$ が最良です。脂質として飽和脂肪酸をある程度(豚赤身肉についている脂身程度)摂取させるのに加え、不飽和脂肪酸の $\omega-6$ を1、 $\omega-3$ を3の割合で与えます。これくらい脂質にこだわらないとダメです。炭水化物は消化に優れ、GI値が高い白米とカボチャが良いでしょう。サツマイモはシュウ酸を多く含み、食物繊維も多いのであまりワンコに好まない食材ではありません。こうしてみると、ワンコの食事は我々日本人の理想的な食事とはかなり違うんですね。人間のベストバランスは、タンパク質2、炭水化物6、脂質2です。この人間感覚でワンコの手づくり食をつくってしまうから、ワンコにとってバランスを大きく欠く食事になってしまうのです。



野菜の彩は信号の色プラス白

ワノンにとって、食物繊維が豊富な食事は必ずしも好ましくないので、葉物野菜を沢山入れているといけません。どちらかというと、ヒタミン・ミネラルなどを摂取する目的でいくつかの野菜を入れますが、食物繊維はできるだけ少なくするのが基本です。ワノンの手づくり食で一番困るのが、ササミ、キャベツ、白米の組み合わせ。この組み合わせのごはんを与えると、肝臓機能に異常をきたし、シユウ酸カルシウム結晶を全身の血管や腎臓に沈着させてしまいます。したがって、鶏肉、キャベツ、白米といったシンプルな食事はワノンにとっては好ましい手作り食じゃないんです。

では、どういった野菜を使うべきか？ 答えは、野菜の色で選ぶのが良いですね。当院における食事指導では、「使用する野菜の彩りを信号の色プラス白」として説明しています。具体的には、赤は人参（カボチャを使うことが多いので、ほとんど使いません）、黄色はカボチャとターメリック、緑は小松菜の葉っぱとブロッコリースプラウト、そして白はダイコンです。ブロッコリースプラウトは少し蒸して、ダイコンは生のまま入れてく

ださいと指導しています。

ちゃんとした食生活は体に優しい動物医療の前提条件

手づくり食の最大の目的は、各種栄養素の酸化を最大限に抑えた、フレッシュな食事をワノンに与えることにあります。しかし、いくらフレッシュな手づくり食でも、長期間の冷凍による酸化は防げません。せいぜい7日分の冷凍にしてくださいね。そして、「手づくり食を冷凍するなら、出来たての食事をあげてはいけません！」と私はいつも指導しています。なぜでしょう？ つくりたてはおいしいのですが、冷凍した手づくり食は鮮度がそれより落ちるため、味覚と嗅覚に優れたワノンは「冷凍ものはいらん！」と言っからです（会場笑）。

手づくり食にすると、ワノンは必ず水を飲まなくなりません。それでもしっかりと排尿してくれます。膀胱結石の原因である結晶が膀胱内に少し溜まって、大量のおしっこをすれば、大きな問題にはならないことが多い、こういったワノンには、食事の中の水分とは別に、1日体重1kgあたり20〜30ccのお水を手づくり食に加えると良いでしょう。5kgのワノンに換算すると、

100〜150cc、標準体重の人間50kgに換算すると10000〜15000ccですから、結構な量ですね。

不飽和脂肪酸は絶対に加熱してはいけません。シソ油や月見草油は、酸化が激しい油ですから、開封後は冷蔵庫で保存し、1カ月以内に使うてください。脂質に徹底してこだわることが、手づくり食の要なんです。豚の脂などの飽和脂肪酸と、シソ油や月見草油などの不飽和脂肪酸の配分に徹底してこだわった手づくり食にする。さらに、これらの油はできる限り酸化させない。これがワノンの健康維持、ひいては病気に負けない体作りに必要不可欠な条件です。

手づくり食にチャレンジした飼い主さんは、「まず体臭がなくなった」、「ウンチが臭わなくなった」、「量も少なくなった」、「皮膚や被毛がキレイになった」、「空腹時の嘔吐がなくなった」、「目がきれいになってイキキした」という感想をよく聞かせてくれます。結論としては、体に優しい動物医療というのは、前提にまず「食生活がちゃんとしていないければダメなんだ」ということです。つまり、動物の体に有益で、酸化してない栄養素をしっかりと摂取していることが健康の大前提で、その上で体に優

しい生薬療法だとか、体に負担がない治療が実施可能になるのです。

正しい食生活の上に体に優しい生薬治療が成り立つ

シエナー動物クリニックでも丹羽先生が毎日の治療にお使いになっている生薬を治療に用いています。代表的なものをご紹介します。はじめに動物用にアレンジしたSOD様作用食品（動物用）です。（注）

丹羽先生と私で開発した春山は、タキソテールという医薬成分の制がん剤が含まれているので、サプリメントとして市販はできませんが、免疫調整作用を有する副作用のない生薬です。NK-3は冬虫夏草が主成分で、動物の悪性腫瘍に対する治療を最近開始したばかりの生薬です。BG105は、寄生する白樺の木を腐らせるほど生命力があるチャージャーからつくった生薬で、免疫を活性化する作用が強がん治療にはよく使っています。BG103はアガリクス茸からつくった生薬で、やはり免疫を活性化したいときによく使っています。その他の生薬は、これまで丹羽先生ががん治療に必ず用いている代表的な生薬、H-TTとビワの種を煎じたて作られたBWSです。

これら生薬の適応症について説明します。（人間の）アレルギーやアトピーの場合、SOD様作用食品とルイボス薬を使うのが一般的ですが、イヌやネコのアレルギーやアトピーにはこれらを処方することはほとんどありません。基本的に「正しい食生活、正しい外用法を実践して、あとは自力で治ってくださーい！」という気持ちで治療しているんです。ただ、自己免疫疾患となると、薬を使わないと生命が危

ぶまれますよね。自己免疫疾患では、SOD様作用食品と春山がかなり有効的です。がんの場合では、がんの種類によって異なりますが、SOD様作用食品、春山、NK3（）、H-TT、BWS、BG105などを組み合わせ使っています。動物の場合も、がん治療を一切せずに、「好きなご飯を好きなだけ食べて、残り少ない時間を楽しく過ごしましょーね」という選択肢だってもちろんあるわけです。治療法にはいろいろな選択肢があって、どれを選ぶかは飼い主に任せています。

自己免疫疾患にはSOD+春山

自己免疫疾患に対する生薬療法の効果についてお話しします。人間ではリウマチといいますが、動物ではそれに病状が極めて似ていることから、リウマチ様関節炎といえます。この病気には生薬療法がとても効果的です。SOD様作用食品単独で、症状の著しい改善が見られる症例がけっこういるのです。

「なぜこれほどまで効くのか？」その根拠を一生懸命調べていますが、残念なことにはまだ説明できてい

ません。

SLE（全身性エリテマトーデス）では、SOD様作用食品と春山の生薬療法が有効です。しかし、急性期や増悪期にはスパイス的に低用量のステロイドや免疫抑制剤を使わざるを得ない場合があります。DLE（円板状エリテマトーデス）は、獣医領域において診断基準や病態生理が必ずしも明確でない自己免疫疾患です。この病気は、SOD様作用食品と春山の生薬療法、あるいはメサラジン（ペタンサ）やブレドニゾンなどの化学療法とこれらの生薬の組み合わせが有効ですが、ときに激的な症状を抑えきれず、助けられないこともあります。私の実感として、DLEに罹患したメスの場合は、治療に対する反応が良好ですが、オスの場合は反応が非常に鈍く、命を失うことがあるようです。無菌性皮下脂肪織炎や天疱瘡といった皮膚における自己免疫疾患では、ブレドニゾンやアザチオプリンなどの化学療法、およびSOD様作用食品+春山の生薬療法を組み合わせで症状を改善させた後に、SOD様作用食品+春山の生薬療法で維持する方法が極めて有効です。一方、赤血球が壊されてしまうA-HA（免疫介在性溶血性貧血）あるいは血小板が壊されてしまうITP（免疫介

在性血小板減少症）では、生薬を服用して効くか効かないなんてのんびりしたこと言っていられませんが、貧血を起こしてぶっ倒れていたり、出血が止まらないのですから「生薬を飲みませい」と言ったって飲める訳がありません。治療の初期段階から化学療法とヒト免疫グロブリンあるいは輸血をするので、これらの疾患における生薬療法の有効性については評価ができません。症状が安定した後に、SOD様作用食品単独、あるいはSOD様作用食品+春山を使うことがあります。それら生薬が効いて良好な状態を維持しているのか、あるいは初期治療の化学療法や輸血などをしたことで維持できているのかが区別ができないというのが正直なところです。

MG（重症筋無力症）では、臭化ピリドスチグミン（メスチフン）単独投与より、SOD様作用食品+春山の生薬療法を組み合わせた方が、経過は明らかに良好だと思われれます。膜性糸球体腎炎などの腎臓における自己免疫疾患に対する生薬療法については、症例数が少なく評価ができていません。その上、この病気では嘔吐・悪心があるため、生薬を服用することがなかなか困難なのです。

多くの自己免疫疾患の症例におい

【表1】 当院の代表的な生薬

- * SOD様作用食品（動物用）
- * 春山：タヒボ・天然タキソテール
- * NK-3：冬虫夏草
- * H-TT：ハーペーゴー・TT茶
- * BWS：ビワの種
- * BG105：チャーガ
- * BG103：アガリクス

て、SOD様作用食品と春山の生薬療法は副作用の心配がなく、その上、ステロイドや免疫抑制剤の使用量を確実に少なく、あるいは場合によってはなくすることを可能にすると思われま

て、「身体に優しい日常生活をしていて、それでも健康を害する場合」であることを忘れてください。ワンコのアレルギー性あるいはアトピー性疾患では食生活の改善、シャンプー・入浴法やワクチネーションの見直しを

しょう。特に幼年期に発症した場合、骨の発育に影響を与えるステロイドを使わずにほとんどの症例で完治が望めます。しかし、がんの完治はめったにありえない。だからがんを治すなんておこがましいことは言わないで、

「QOLが良好に維持できて、延命効果が期待できる治療法であれば、積極的に取り入れるべき」というのが私の持論です。人間もワン

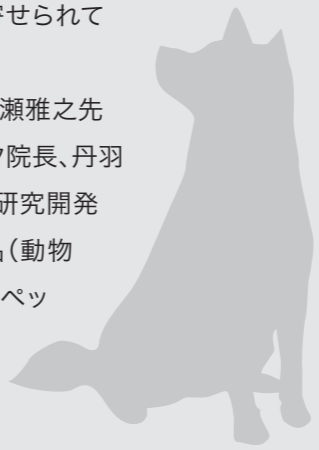
動物用サプリメントに朗報!!

獣医師用 SOD顆粒が ついに市販化

研究開発、臨床に14年。 長瀬雅之先生インタビュー

これまで獣医師さんにしか処方できなかった獣医師用SOD顆粒が、SOD様作用食品(動物用)として一般に市販が始まりました。市販してほしい、という声は何年も前から本当にたくさん寄せられて

いました。 さっそく研究開発された長瀬雅之先生(ジェナー動物クリニック院長、丹羽メディカル研究所所長)に研究開発の苦労やSOD様作用食品(動物用)の今後について、また、ペットの健康管理のことなど色々伺いました。



より抗酸化作用を強く

「SOD様作用食品(動物用)の代わりに人間のSOD様作用食品をペットに与えている方も多くいらっしゃいますよね。動物用と人間用との違いはなんですか?」

「大きな違いは、抗酸化作用をより強くしたこと。抗酸化作用、つまり体を錆びさせない作用ですね。しかし、抗酸化作用を強くするということは、杜仲茶や抹茶由来のカテキンを増量するわけです。そうすると人は胃をやらせてしまう。胃にかなりの負担がかかってしまうのです。ワンちゃんの場合は肉食獣だから、胃粘膜がものすごく強い。平たく言えば、胃がすこ

く強いんです。たぶん肉を消化することに特化されているからで、抗酸化作用を強くする成分を入れた場合でも胃粘膜の障害が少ないんです。

「だからSOD様作用食品(動物用)は人間用よりも、杜仲茶や抹茶由来のカテキンを増量することができるのです」

「動物用のほうが抗酸化作用が強い」と聞くと、動物用を飲んでみたくありませんよね。実際、飲んでいる獣医師さんもあると聞きますが、先生は動物用を飲んだことは?」

「試してみましたが、やはり少し胃がもたれるというか、もたつく感じがありますね。これは、カテキンやタンニンなどの作用が強い市販の特保のお茶も同じです。飲む人によっては胃に負担がかかり、胃が痛くなったり、もたれたりしますよ。」

でも、ワンちゃんの場合は、そういう反応がないから、だったらより効果のあるものを摂取したほうがいいと考えたのです。人は進化する過程において、食べ物を加熱する、火を使うという力を身につけたおかげでタンパクを消化する胃の機能が落ちたとも言えるでしょう」

「SOD様作用食品(動物用)は、従来の獣医師用SOD顆粒と成分に違

いがあるのですか?」

「あります。種々の原材料の質を上げていますから、より効果的に作用するものだと思います」

「今後、獣医師専用として別のサプリメントもできるのでしょうか。」

「そうですね、これから研究開発を重ねて発表していきたいと思っています。SOD様作用にこだわっていると、抗酸化作用ばかりに視野が限定されてしまいます。仮に抗酸化作用をパーフェクトにしたとしても、すべての病気を抑えられるわけではありません。なので、抗酸化作用プラスアルファ」という考え方です。近い将来には、抗酸化に特化したSOD様作用を持ったサプリメントに、プラスして免疫や脂質代謝、抗腫瘍といったそれぞれの疾患に対応したバリエーションを発表していくつもりです。」

「市販ということは、色々なところで誰でも購入できるんですね。」

「そうですね。動物病院はもちろんです。ペットショップや通販でも買えるようになります。裾野は広がると思います」

「獣医師用SOD顆粒は開発からどれくらいの年月がかかっているのですか?」

「やはり食事は大切なんです。そこで先生の推奨されている手作り食について伺います。いまやドッグフードだけを食べれば大丈夫、という時代ではないと思います。というのも、アトピーに始まり、がん、生活習慣病のペットが増えている現状をふまえるかと、大事なことは日々の食生活ではないかと。そして体を生漕守ってくれる優れた免疫力をつけること。とはいえず作り食の定義がいまひとつ確かではない、間違っただけの手作りレシピも多いですよ。」

「ドライフードは、熱風乾燥の時点で酸化のリスクにさらされることが最大の懸念点です。さらに原材料の表示や添加物に関する規制があるものの、原材料のクオリティまでは明記されていません。そのクオリティを私たちが判断するのは当然、不可能です。皮膚疾患や種々の内臓疾患の原因は、食べ物の質にもあると思っています。やはり健康で長生きを願うのなら、私はフレッシュな手作り食を勧めたいです。もちろん、毎日作るの大変と考える方もいらっしゃいますが、難しく考えることはないんです。私たちが普段食べている食材の余りで作ればはいくらいい気持ちで楽しんでトライしてもいいんです。忙しい方は一週間程度なら作って冷凍させておけばいい。」

「いちばん重要な基本は、タンパク質、炭水化物、脂質の割合です。10歳くらいまでの小型犬の場合、タンパク質が4、炭水化物が3、4、脂質が3、2の割合の食事が適しています。10歳過ぎるとだんだん腎臓機能が衰えてくるので、タンパク質の配合を3に下げます。すると、タンパク質からの1が余りますので、仕方なく炭水化物にその1を加えます。脂質は変わりありません(タンパク質3・炭水化物4・

動物用 丹羽SOD様作用食品 愛用者インタビュー

愛犬チワワの体質改善
時々発症していた発作が起きなくなりました。

神奈川県 主婦 54歳 女性

愛犬のチワワが数年前から時々発作を起こすようになったので、ミニチュアホースの治療もお願いしている動物病院で、漢方薬を処方していただきました。しかし、良くはなってもやはり発作を起こすことがあるので、体質の改善にと漢方薬と動物用丹羽SOD様作用食品を併用して与えようということになりました。犬の皮膚癌も完治したのだからと先生にいわれて投与したところ、今では発作は全く起きなくなりました。感謝申し上げます。

愛猫の腎臓疾患
愛猫が腎臓疾患で尿タンパクが出ていたが、摂取後に大幅に改善されました。

神奈川県 アルバイト 26歳 男性

飼っている猫の腎臓が悪く、尿からタンパクも出ていました。動物病院の先生に動物用丹羽SOD様作用食品をすすめられて与えた結果、腎臓の状態が大幅に改善しました。ありがとうございます。

ミニチュア・シュナウザー(3歳オス)術後の健康維持
術後の回復も早く元気で。

北海道 主婦 56歳 女性

2001年の5月にミニチュア・ダックスが椎間板ヘルニアで、疼痛や麻痺の症状が現れたので、丹羽SOD様作用食品(動物用)を1日2包与えました。10月に手術で、その1週間前から手術の3週間後まで3包に増やしたところ、動物病院の先生に回復が早いと驚かれました。その後は1日1〜2包を与えています。強かった口臭が良くなりました。もう一匹のミニチュア・シュナウザーの方は保留卵で手術をし、1日2包を与えています。すが元気で。ずっと続けるつもりです!!

愛犬(シュナウザー)14歳メスの健康維持
SOD様作用食品(動物用)で足腰が強くなってきたようです。

宮城県 会社員 60歳 男性

歯槽膿漏、白内障、脂肪のかたまり、子宮筋腫など、いろいろ病院で14年間お世話になり、2年ほど前からSOD様作用食品(動物用)をすすめられ、1年くらいは足腰も弱ってきたのですが、最近になっておやつを投げてあげると走って取りに行くようになり、体が軽くなってきたように思います。まだまだ元気で長生きしてもらうためにも、SOD様作用食品(動物用)は欠かさず飲ませ続けます。

5・脂質(3〜2)。さらに15歳くらいまでのウルトラシニアになると、タンパク質を2.5にまで下げなければならぬでしょう。タンパク質としては、豚肉肩ロース、鶏胸肉およびレバー、魚はタラなどの白身魚が望ましい。そして炭水化物は白米、かぼちゃ、じゃがいも。脂質は豚由来の飽和脂肪酸と月見草およびシソ油といった不飽和脂肪酸を用います。野菜は色で選びます。黄色はかぼちゃとターメリック、緑は小松菜の葉の部分とブロッコリースプラウト、白は大根です。大根とブロッコリースプラウトは生で与えたほうがいいでしょう」

——逆で与えてはいけない、間違った食材選びは？

「ワンちゃんは腸が短いので、食物繊維は少なくするのが基本です。キャベツ、ほうれん草、さつまいもやアレルゲン性の強いおから、小麦、トウモロコシなどの穀類は好ましくない食材なので気をつけてください」

——人にいいものはワンちゃんにもいいという考え方は間違っているんですね。

「あと、衛生面や消化吸収を考えると生のままよりも加熱をしたほうがいいですね」

りましたが、これについては？

「生食はリスクがとて大きいですね。人の食用もO-157の問題でレバーが禁止になったのは周知のことです。したがって犬の生食習慣は時代に逆行していると思います。食事に関する最も重要なポイントが、ドッグフードはダメというつまらない話ではないんです。我が家のワンちゃんの体質に最も適した、最大のポテンシャルを引き出せる食事にしてあげることなんです。だから、それがドッグフードである可能性もあるでしょう。大事なのはワンちゃんの体質に合っているかないかです。ワンちゃんの食

事は、犬種、年齢、体質によって大きく変わるので、つくづく手作り食の指導は難しいなという実感があります」

——同じ犬種でも違ったりしますか？

「もちろん違うことがあります。同じ犬種、同じ年齢でも違うし、どうしても最適な手作り食を構築できないケースもまれに出てきます。これまで手作り食を指導させていただいたワンちゃんたちの統計を取ってみると、手作り食にすると、シニアあるいは老犬に至るまで体調に大きな変動がないということが分かりました。さらにシニア以降になると心臓薬を飲むようになるのですが、その年齢がかなり遅れている傾向にありました。良い手作り食は、血管壁の障害に関係するナトリウムやコレステロールにこだわって指導しているからかもしれませんね。そして何よりも正しい手作り食を食べているワンちゃんのほとんどが、活力に満ちて、排泄物がきれいで、目が生き生きとしているということに気づかされるのです」

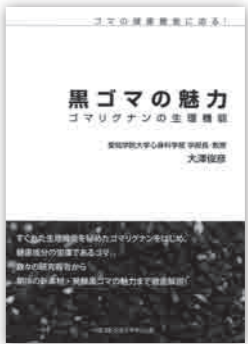
——どうすれば我が家のワンちゃんの体質が分かるのでしょうか？

「手作り食に変更したことにより、何が改善されたか？何が改善されていないか？それを基準に血液検査やエコー検査を実施します。検査で診るの

は、まず、肝機能と胆泥の有無。次にコレステロール値、腎機能。そして免疫に影響を与えていないか。これらの機能がうまくいっているかどうかを見極めます。

僕のお勧めする健康の条件は、様々な体質にぴったりに合った食事を与えて、そのうえで補正としてSOD様作用食品(動物用)を使っていくことです。それが種々の病気を下げる方法なんだろっと思えます。したがって近い将来の企画としては、血液検査でちょっと肝臓の数値が悪いとしたら、食事内容の見直しをします。『SOD様作用食品(動物用)』十肝臓』のようなものがあるといいんじゃないでしょうか。アレルギー体質だったら、アレルゲンから遠のくのではなく、アレルゲンを克服する道を進んでほしいと願っています。そのときに『SOD様作用食品(動物用)』十免疫』があればいいですね」

黒ゴマの魅力



大澤俊彦(愛知学院大学教授)著
ヘルスビジネスマガジン社刊

今注目の健康食品、黒ゴマの健康機能を
学術的に解説した初めての本

日本の伝統的な食材であり、不老長寿の秘薬として愛されてきたゴマ。このゴマに大変な力があることが近年の研究で明らかにされています。ゴマに活性酸素の害を防ぐセサミンやセサミノール、セサモールなどが含まれていることが分かったのです。活性酸素の害と言えは、過剰な活性酸素は、細胞膜などに酸化障害をもたらす、老化や生活習慣病などの疾患の原因になると言われています。ほかにもゴマには秘めたる能力がいっぱい。

本書は、そんなゴマの力を、「ゴマと抗酸化研究の第一人者である大澤俊彦先生が分かりやすく解説してくれている一冊です。日本料理はもちろん、中華や最近では西洋料理にも多く用いられ、「ゴマほど料理に頻繁に用いられる素材もめずらしいです。特に日本では、「ゴマ油はナタネ油や大豆油に比べて高品位、高品質とされて

きたそうです。ゴマ油だけでなく、炒りゴマ、すりゴマなどその風味を生かした多くの日本伝統料理が知られています。

そんなゴマですが、日本固有の植物ではなく、中国大陸から朝鮮半島を経て日本に入ってきたと言われています。古くからインドで栽培されてきたので起源はインドと言われていましたが、実際はアフリカのサバンナという説が有力なのだとか。インドのゴマ油などを使ったアールヴエータはヨガと同じくらいの歴史がありますし、アラビアンナイトの開けゴマの呪文のゴマはまさしくゴマのこと。さらに紀元前エジプトの女王クレオパトラも肌の手入れにゴマ油を利用していたという話もあります。いすれにしても、いいものは時空を超えて愛用されていくものなのですね。

※インド大陸の伝統的な医学で、多数の生薬を含んだオイルなどを使用する。

はとても豊富で、大豆タンパクより優れている種類もあります。国連では大豆タンパクの栄養的不足はゴマタンパクで補う、つまり両者を1対1の割合で混合することで理想的なアミノ酸組成を持つ植物タンパクを摂取することができるとして、推奨されています」

ゴマ種子に含まれる重要な栄養成分として油分、タンパクの次にあげられるのが、ミネラルやビタミンなどの微量成分です。

「ゴマに含まれるミネラル、ビタミンのなかでも体内で生成する過酸化脂質を無毒化されることで知られるセレンは、がんや動脈硬化予防に重要な役割を果たす微量元素として知られています。またゴマは、鉄、カルシウム、リン、シユウ酸などのミネラルにも富んでおり、ビタミンB、特にB₂、ナイアシン、ビタミンEなどの栄養上重要なビタミンにも富んでいます」

ゴマリグナン類の 疾病予防効果

ここ最近、ゴマリグナン、セサミンを含む健康補助食品を多くみかけます。健康維持、老化防止に良さそう、という認識は、かなり広がっているところです。

このゴマリグナンとは、ゴマ特有の成分

ゴマの優れた栄養成分

さて、ここからが本題です。ゴマの優れた栄養成分について、大澤先生の書かれたこの本から抜粋してご紹介していきます。

「ゴマといえはやはり油成分。ゴマ種子中の油分含有量は品質によって違うのですが、最も多く含まれるのは動物の体内では作ることができないリノール酸とオレイン酸だそう。先生いわく、

「リノール酸というのは、必須脂肪酸で、体内に入ると血管などの筋肉の収縮や弛緩、血小板の凝集作用など重要なホルモンとして注目されているプロスタグランジン類となり、生体膜のリン脂質の構成成分として膜機能に重要な役割を担っていることも知られています。オレイン酸は、オリーブ油の主成分です。欧米人には大腸がんの発生率が高いのですが、地中海沿岸に住む人々は、他のヨーロッパ人と比べて比較的大腸がんの死亡率が低いことが疫学調査で知られていました。理由として挙げられたのが、オリーブ油が料理に多く使われることであり、いろいろ調べるとその効果はオレイン酸の存在でした」

ゴマ油の主成分はこのような優れた機能を持つリノール酸とオレイン酸からなっているんですね。日本の研究でも、

低下作用、乳がん増殖抑制、動脈硬化予防、老化、生活習慣病の予防、糖尿病合併症予防、肥満予防、運動機能改善、美肌など枚挙にいとまがありません。

画期的な乳酸菌発酵黒胡麻

最後に、このような万能食品であるゴマを、さらに乳酸菌発酵させた『乳酸菌発酵黒胡麻』について触れておきましょう。発酵食品、乳酸菌食品などは、古くから味噌、麹、ヨーグルトなどに代表されるように健康食品の代表格です。それらをゴマと組み合わせると、さらに高い酸化活性を持つことが分かりました。大澤先生は、いいます。

「さらに本書で紹介したかったのは、発酵という日本の伝統的な食品製造技術を利用して、黒ゴマ種子の持つ機能性を増強することができるという画期的な技術

「大分医科大学をはじめ多くの研究グループがオレイン酸の実験で大腸がんの発生が抑制されたことを報告しています。またオレイン酸は悪玉コレステロールを抑え、善玉コレステロールを高めることで動脈硬化や心疾患の予防作用が明らかになっています」

これだけではないんです。ゴマ油は酸化しにくいという特性があります。「オレイン酸は酸化しにくいのですが、リノール酸は大豆油やナタネ油にも多く含まれ、酸化されやすく、繰り返し使用するといやな臭いとともに劣化してしまふという欠点を持ちます。ところが、ゴマ油は酸化しにくいのです。この高い酸化安定性は、ゴマに含まれるセサモールやセサミノールといった微量成分が防衛からです。調理に必須のゴマ油は、野菜や肉といっしょに炒めたり揚げたりすると、βカロテンやリコピン、ビタミンAやEなどの吸収率が高まる、という効果も期待できます」

本当に多機能に効果が期待できるゴマですが、実はタンパク質の含有量も20%と多いのです。ですから、ゴマ豆腐などは、ゴマと豆腐の良質なタンパク質を一度に摂ることができる優れた食品といえます。このゴマタンパクにはどのような特徴があるのでしょうか。

「ゴマタンパクを構成しているアミノ酸

革新でした。そして味噌や醤油の発酵に不可欠な麹菌を利用し、強力な酸化性とともに種々の機能性をもつリグナンカテコール類を得ることに成功しました。さらにヨーグルトなどのプロバイオティクスの製造に不可欠な乳酸菌発酵技術を応用することで、黒ゴマ中のリグナン、

特にセサミン由来のセサモールなど多くの機能成分が見いだされたので、今後、発酵技術を利用した新規機能性食品素材の開発研究はますます発展していくことでしょう。

ゴマ研究が一步一步着実に進み、がん予防食品や老化制御食品として開発されることも夢物語ではなく、現実となってくるのが期待されています」

医学的専門表記を分かりやすくするために一般表記にしている部分があることをご了承ください。



大澤俊彦教授プロフィール

愛知学院大学心身学部・学部長教授、名古屋大学名誉教授。農学博士。東京大学大学院を修了。農学博士。機能性食品、特に酸化食品研究の第一人者。食品と生命機能との関わりをテーマとして、食事が要因となる生活習慣病誘発メカニズムの解明、予防に関する研究を行う。また、産学官の枠を超えて、大学発のベンチャーに取り組むなど、幅広い活動を行っている。日本フードファクター学会理事長、日本ゴマ学会会長、アスタキサンチン研究会会長、日本予防医学会常任理事などを歴任。

乳酸菌発酵・黒ゴマ食品

愛飲者インタビュー

**SODと黒胡麻サプリの併用で
肝機能・コレステロール値・血糖値と
HbA1cが劇的に改善!**

埼玉県在住
石田美智子さん
(63歳)

黒胡麻で肝機能と コレステロール値が 改善

今回は、33歳になるお嬢さんから「ゴマが肝機能の改善にいいということを読んだので、試しに黒胡麻を母に飲ませたら、肝機能やコレステロールの数値がすごく良くなりました」というお葉書をいただきました。早速埼玉にお住まいの石田さん親子にお会いしてきました。

大の甘党ということで、和洋問わずに目が無くなか。 「若い頃はともかく、年齢を重ねるとは思っていたつもりもいつい手が出ちゃうんですよね(笑)」

と、茶目つきたっぷりに微笑む美智子さん。でもお酒を飲まない人でも甘いものや冷たいものの摂りすぎは肝臓にかなりの負担をかけてしまうという事実があるのです。

最近では、※非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)という疾患が話題に。進行すると肝硬

変から肝臓がんに進んでしまう怖いものなのです。

「肝機能と悪玉のLDLコレステロールの値がずっと高めで、健康診断では先生にいつも指摘されてたんです。コレステロールの薬も服用していますが、ここ数年、ちょっと打撲しただけでうっ血が治りにくかったりするんです。体もむくみやすく、夏場にキッチンで立ち続けていることがしんどくて、休みながら料理するような状態だったんです。大好きな甘いものも我慢して、1日時間くらいのウォーキングもしていたのですが、改善されませんでした。そんな話をした時に娘が勧めてくれたのが黒胡麻サプリメントだったんです」

実は娘さんの美樹さんはSODの愛飲者との事。

「もう10年以上は飲み続けています。主人と3歳の娘もSODと黒胡麻で健康管理はバッチリです(笑)」

とおっしゃる美樹さん。どうりで若々しくて、透明感のあるお肌のはずです。

「20代前半の頃、なんだか疲れやすいし、寝汗がひどいので病院に行ったら自律神経の乱れから甲状腺機能低下症だと診断されて、経過観察ということになったんです」

そんなときに知り合いに教えてもらったのがSODだったそうです。

「経過観察なので薬は出されなかったんですが、できれば自然の生薬、漢方などで体質を改善したかったんです。だからSODのことを聞いて、成分は自然のものだけだし、開発されたの

がお医者さんだといっているのでこれは大丈夫と思いました。そこでSODを1日6包ずつ飲み始めました」

変化は2か月後に現れたそうです。

せん。しかし、「少し分けてもらって飲んでみたのですが、あまりお(つく)なく」

と申し訳なさそうにおっしゃる美智子さん。とても正直で素直な反応に思わず笑ってしまいました。でも、年代的にもそれは仕方ないことです。日本が高度経済成長まっただなかの時代に生まれ育った世代です。同様に医療も最新を追い求めてきた時代です。

「これがおいしかったんです。これなら飲めるので、昨年の秋くらいから飲み始めました」

その結果が、美智子さんが持参してくださった血液検査のデータでした。(表1参照)

「摂取を初めてから半年後の検診で肝機能とコレステロールの判定がすべてA判定になっていたので、なによりも先生がびっくりして

のお話をしてもらえないと思いい、何も話していません。だって、私も、驚きましたから。ただ、黒胡麻を飲むようになったから、体がラクになったのは事実でした。長い時間立っていら

「ふと気づくと、寝汗が減り、だるさもなくなっていたんです。それにいつもかさかさしていた肌までしっとりきめ細やかになって、なんか一皮むけたような感じですよ。本当にすべてSODのおかげでした。今では黒胡麻を1日1包、SODを1日3包くらいで、ちょっと風邪ひきそうだなと思ったら6包くらい飲んでいきます。そのあたりの調整もうまくなったんですよ」

快活に笑われる美樹さん。見るからに健康そうです。

先生もびっくり!黒胡麻で 改善された肝機能と コレステロール値

こんな実体験があるからこそ、お母様の健康診断の結果と体調がよくないという話を聞いて、美樹さんが真っ先にSODを勧めたの言うまでもありません。

「お医者さんが全てだと思っていましたから、お薬じゃないものを飲むことに抵抗がありません。それにサプリメントって、あまりにもたくさん種類があって、どれを飲んだらいいのか分からないでしょ? だったらお医者さんが処方するものの方がいいんじゃないかと思っていました」

とはいえ、体調はどんどん悪くなり、体重が40キロを切るくらいに。身長が145cmですから、40キロを切るのには痩せすぎでした。そこで美樹さんが勧めたのが黒胡麻のサプリメントでした。ゴマは美智子さんの好きな食べ物のひとつ。お母様の美智子さんは

「先生には黒胡麻

表1

項目	12年10月17日	10年10月04日	09年10月09日
脂質検査 中性脂肪(TG)	52 A	57 A	58 A
脂質検査 HDLコレステロール	94 A	106 A	110 A
脂質検査 LDLコレステロール	66 A	129 H	146 C
肝機能検査 GOT(AST)	30 A	37 H	26 A
肝機能検査 GPT(ALT)	25 A	56 H	25 A
肝機能検査 γ-GT(γ-GTP)	20 A	36 A	28 A
血糖検査 空腹時血糖	90 A	96 A	92 A
血糖検査 HbA1c(JDS値)	5.1 A	5.2 H	5.2 B
血液一般検査 赤血球数	414 A	411 A	430 A
血液一般検査 ヘモグロビン	12.2 A	11.9 L	12.4 A
血液一般検査 ヘマトクリット	39.6 A	38.4 A	41.2 A
血液一般検査 白血球数	5300 A	4500 A	4700 A
腎機能検査 血清クレアチニン	0.56 A		
腎機能検査 eGFR	83.1 A		
尿酸 血清尿酸	3.0 A		

石田美智子さんの血液検査の結果

うになってきたし、なによりも体が軽くなったようなんです。体で感じられるようになったのと、数値に結果が出て、黒胡麻をずっと飲むとうとう気になりました。励みになりますね」

「雑誌などでゴマには抗酸化作用や肝臓を助ける効果があるというのを見かけ、勧めてみたんです。実は私自身も、生理前は寝汗がひどく、これはSODでも改善されなかったのに、黒胡麻を飲むようになってから、ラクになったんです。あと、二日酔いがなくなったというか、飲んだ翌日、だるいとかしんどいことがなくなって、明らかに黒胡麻のおかげですね」

と、おっしゃる美樹さん。美智子さんにとってさらなる励みは、美樹さんのお子さん、つまり、美智子さんのお孫さんです。「孫の家の近くは坂が多いんです。これまではそれが大変でなかなか行けなかったんですが、今なら大丈夫」と

と美智子さんが嬉しそうに話しています。「何かおかしいなと思ったのは、年が変わってすぐでした。(2014年)我が家は小高い丘の上であって、どこに行くにも坂を上ったり下ったりしなければならぬんです。その坂道を上り下りするときに、息切れすることが多いな、これは呼吸器系、肺、心臓あたりに何かあるかもしれない、と思ったんです。もういい歳ですから、これまで何もなかったのが不思議です。チャージャーのおかげで大病にまでは至らなかったと思っ

ていました」

「うちも子どもを預かってもらえるので、母が元気になったのは一挙両得です」

と、ちゃっかりの美樹さんでも、それもこれも、美樹さんの実体験と親孝行から始まったこと。

幸せは健康あつてのことだとつくづく感じさせてくれました。石田さま、ありがとうございます。

※非アルコール性脂肪性肝炎

(ひアルコールせいしほうせいいかんえん、Non-alcoholic steatohepatitis: NASH)とは、肝臓に脂肪が蓄積することで起こる肝炎。脂肪肝に加えて、肝臓に何らかのストレスがかかることよって発生するのではないかと考えられている。



SOD9包、黒胡麻2包、チャージャー2杯 1か月で劇的变化

早速、病院の先生に診てもらったところ、心電図には大きな異常はみられないとのこと。しかし、糖尿病の可能性があるかもしれないから、大きな病院で再検査するよう勧められました。糖尿病と聞いて小山田さんの脳裏にまず浮かんだのは、合併症のことでした。

「糖尿病になれば、今度こそ目が見えなくなるかもしれない。足も壊死して切らなければいけなくなるかもしれない。腎臓がやられて人工透析になるかもしれない」これもさすがです。体のこと、病気のことを常に統合的にとらえている小山田さんだからこの心配でした。

「そこで考えたのが、SODと黒胡麻を飲んでみようということでした」

もちろん、病院からも薬の処方がありました。メトグルコという肥満気味の糖尿病の患者さんによく処方される血糖降下剤でした。

整体院の院長先生だから 自身の糖尿病に迷わずSODと黒ゴマをチャョイス数値が半分以下に

沖縄県在住
小山田真二さん
(77歳)

沖縄で整体院を開業されていた小山田さん。現役時代は整体学校の先生もしていたベテランです。御年77歳ですからさすがに昔のように現役というわけにはいきませんが、健康には自信がありました。今でも近所のおじいちゃんおばあちゃんからは、何かあったら頼りになる存在として慕われています。整体院で扱っていたSODやチャージャーなどは引き続き扱い、近所の人たちに分けてあげているそうです。

「SODは妻に飲ませていますが、自分はチャージャーだけ飲んでいました。これだけでも十分、健康でしたから」

チャージャーとは、カバノアナタケ、もしくはシベリア靈芝などと呼ばれる木材腐朽菌(きのこ)の一種です。白樺の木に寄生し、長い年月をかけ白樺エキスを吸い、白樺の木を枯らしてしまうほどの

「丹羽先生も会報の中で最初は多めにとおっしゃっていたので、SODは1日9包、それに黒胡麻を2包、チャージャーを2杯飲み始めました。SODは、今まで人に勧めてきて、すごいなという効果を目の当たりにしてきたので、今回、自分が飲むことで、どんな変化があるか楽しみでしたね」

なんだか実験をしている研究者のように楽しそうに語られる小山田さん。その検査結果が別表のとおりです。(表2参照)SODを飲み始めたばかりの最初の診断では血糖値が361、HbA1c(ブドウ糖と結びついたヘモグロビンで、現時点より過去1~1.5ヶ月間の平均血糖値を反映)が13.2もありました。これは今年(2014年)4月から改正された日本人間ドック学会の新基準値と照らし合わせてもかなりオーバーしていました。

「お医者さんにも心配されましたね。こんな数字になっていれば普通は糖尿病の合併症の症状がいくつか出てきていてもおかしくないのに、息切れだけしか

生命力があるとか。優れた抗酸化力を持ち、その薬効はロシアでは昔から知られているそうです。丹羽療法でもがんを始めとする様々な治療にチャージャーが使用されています。小山田さんは毎日小さじ一杯のチャージャーを飲んでいました。そんな小山田さんの体調にちょっとした異変があったのが2年前、2012年のことでした。目に薄くもやがかり、かすむようになっていきました。

「すぐに医者に行きましたら、白内障だと言われました。僕は白内障と聞いて、即座に、ひよっとしたら糖尿病の合併症ではないかと思っただけです。というのは、自分は太っていますから、常日頃、生活習慣病には気をつけたいといけないと思っ

ていましたから」

さすが、体のこと、病気のことは熟知している整体院の先生で

表2

検査項目	基準値	2014年				
		01月06日	01月23日	02月27日	04月10日	06月15日
		検受:01/06 14:30	検受:01/23 09:45	検受:02/27 09:44	検受:04/10 10:10	検受:06/05 10:07
血糖	60から110mg/dl		361 H	111 H	118 H	120 H
HbA1c(NGSP)	4.6~6.2%		13.2 H	10.3 H	7.5 H	6.6 H

出ていないのが不思議だと言っていました。すべてはチャージャーのおかげなんです。」

そして1か月後の2月27日の検査。表をご覧になれば一目瞭然ですが、36もあつた血糖値が、半分以上の11。HbA1cも10.3にまで下がっていたのです。

「先生に、薬だけではここまで下らない、何か特別なことをしたのかと聞かれました。SODのことを話しましたが、ご存じなかったようです。でも、すごく喜んでくれました。嬉しかったですね」

この検査結果を見て、小山田さんはまたしても実験をしました。

「SODの量を1日9包から6包に、黒胡麻を2本から1本に減らしてみたいです。それでも翌月の数値に大きな変化はありませんでした。丹羽先生のおっしゃるとおりでしたね。最初は多め、安定したら減らすという」

ところが最初に気になった息切れはどうなったのでしょうか。

「今はまったくなくなりました。体調もすごく良好です。こ

完治は無理と言われる飛蚊症 乳酸菌発酵黒胡麻で飛蚊症を改善。 次は白髪に挑戦！

山形県在住
石田元雄さん
65歳

すから。

「常日頃から患者さんに勧めることができるいいものを探してはいるんです。しかし、健康食品は本当にたくさん種類が出ていますし、成分だけでは判断できない。加工法などもあり、どんな効果があるのか分かりにくく、難しいというのが本音ですね」

石田先生のもとには、たくさん健康食品サンプルや資料が送られてくるそうです。そのなかからいいものを探すことは大変だと思えます。にもかかわらず乳酸菌発酵黒胡麻を取り扱うようになった理由は「ゴマが体にいいことは誰もが知っていることですよね。特に最近、セサミンなどの成分の分析や効果が発表されて、間違いないと思えました。それに、資料を読んでも納得できるしっかりしたものであったから」と言います。

山形県で接骨院を営む、石田元雄さん。仕事柄、患者さんからいろいろ健康相談を受けることが多いそうです。「足腰の痛みや、骨のずれといった専門のことは治せるし、いくらでも改善の方法は教えられるのですが、健康全般の相談、とくに健康食品に関して、何がいいのか、これはどうかといういろいろ聞かれると、間違ったことは言えなくて、なかなか困りますよね。専門外ですから」

確かに、専門外といえば専門外です。それは、お医者さんでも健康食品に関しては専門外。そもそも健康食品の是非を専門にしている職業は、いまのところ聞いたことがありません。私たちはどうしても、身体のことを診てくれる身近な専門家を頼ってしまいます。

実際、身体の仕組みを医学的に勉強していらした先生なので



「本当は、私が自分で試しているかどうか判断すればいいのですが、私自身が健康で病氣らしい病氣をしたことがなかったものですから」

病氣をしたことがないのを申し訳なさんかに話す先生。

「ですから、せめて、成分が安心できて体にいいものを、を基準にしているんです。その点、ゴマは間違いないです」

ある日突然、 目に黒い点が蚊のようになり 飛蚊症になった

65歳になる石田先生。これまで健康そのもので、60歳を過ぎたとき、家族の説得で数十年ぶりに健康診断を受けたときも、どこにも異常はなかったそうです。一日に一箱タバコを吸い、特別な健康管理はしていないといえます。

「唯一、気をつけたことは、おそらくストレスをためないよう心がけたことですね」

丹羽先生がいつも、病気になるいちばんの原因は、睡眠不足とストレスだと言います。石田

先生のストレスをためないようにするというのは素晴らしい健康法でした。ところが、去年の暮(2013年)、そんな先生が、寄る年波には勝てないなと思ったことがありました。

「一週間くらい、根をつめて書類を作成しなければいけないことがあつたんです。作業を終えてホッとしたときに、何か目の前に蚊のようなものがくっついていて離れないんです。その点は目の動きに合わせて動く、まるで腫にはりついたゴミのような感覚でした。職業柄、ああ、これが飛蚊症なんだ、とうとう自分も発症したかと思いました」

先生が自覚症状を認識した飛蚊症とは、読んで字のごとく、飛ぶ蚊。目の前に「黒いものとぶ」ことを指します。蚊が飛んでいるように見えるという意味ですが、実際にはこの他に水玉、ハエ、黒いスス、糸くず、お玉じゃくし、輪などが見えることもあります。

また黒いものから透明なものまで色もさまざまで、数も1個から数個、時に多数のこともあ

ります。これらは目を動かすと、目といっしょに動いて見えます。飛蚊症は、視界のなかに黒い糸くずのようなものが動いて見える症状のことです。眼球の硝子体に濁りができたために起こる症状とか。本来、透明なはずの硝子体に、なんらかの原因で濁りができると、その影が網膜に写り、目の前に見えるようになるんです。

一般的には老化現象のひとつとして発症するケースが多く、失明などの恐れはないそうです。物が見えづらくなって、日常生活に支障をきたすことがあるそうです。また、網膜剥離や糖尿病網膜症でも同様な症状がみられることがあるので注意は必要だといえます。

治療法は特になく、発症したらずっと付き合っていくつもりでいたほうがいいと言われていきます。また、慣れると気になることが少ないとも言われています。最近では、レーザー治療で治す方法がアメリカから輸入されていますが、まだまだ日本ではほんのわずかのクリニックでしか対応していないそうです。

乳酸菌発酵黒胡麻の おかげと確信 肌荒れ、不眠にも効果的

石田先生は、即座に

「これは老化現象だなと思いましたが」と判断。

「物が見えづらくなるし、眼は疲れやすくなっていました。人は眼になんらかの変化があると集中力が落ちるんです。ほとほと困りましたね。しかし、眼科の病院に行っても、飛蚊症は治療することがないから何もしてくれないのは分かっていましたから、病院にかかろうとは思いませんでした」

そんなときにいつも患者さんから、なにかいいサプリメントはないですか?と聞かれていたことを思い出しました。病院でなす術がないなら食事やサプリメントで、自力で治すしかないと思っただけです。

「こういうときこそ健康補助食品、サプリメントがいいかもしれないと思っただけに、いちばんに浮かんだのが乳酸菌発酵黒胡麻でした。飛蚊症も老化現象

のひとつだとしたら、乳酸菌発酵黒胡麻も効果があるに違いない」と

直感的に「ピンときたそうです。そして試しに、乳酸菌発酵黒胡麻を一日一包飲み始めました。」

「そうしたら、2か月くらいで黒い点が少しずつ薄くなり、3か月後にはまったくなくなりました」

この現象が自身だけだったから、たまたまなんだと思ったかもしれない。しかし、同じように乳酸菌発酵黒胡麻を勧めていた飛蚊症の患者さんたちも、どんどん良くなったそうです。

「もうこれは間違いなく乳酸菌発酵黒胡麻のおかげだと思えました。確信が持てました」

このことがあってから、乳酸



菌発酵黒胡麻への信頼を深めたという石田先生。体の不調を訴える人には前以上に自信を持って勧めるようになったそうです。

「便秘や不眠、肌荒れにもいいようで、今では様々な悩みを抱えた方が飲んでいますよ。最近ですと、サメ肌で困っていたお子さんが乳酸菌発酵黒胡麻を飲み始めてから、肌が本当にきれいになって、親御さんに大変感謝されました。乳酸菌発酵黒胡麻さままだとおっしゃっていましたよ」

飛蚊症が治り、集中力が戻ってきた石田先生。乳酸菌発酵黒胡麻という強い味方を得て、治療院のお仕事にもやりがいと張り合いを感じるそうです。そして今度は、

「白くなってきた髪を黒く戻したいんです。まだ効果は実感できていませんが、長い年月をかけて白くなったわけですから、気長にチャレンジしますよ」と快活に笑っておっしゃる石田先生。白髪改善が見られたら、ぜひともまたご連絡ください。楽しみにお待ちしております。

疲れにくくなり、効果を実感しています。

埼玉県在住
パート女性
51歳

振り返り作用なのでしょうか。



健康維持で乳酸菌発酵・黒ゴマ食品を1日1包、2か月ほど続けています。まず実感として、大変疲れにくくなりました。以前は仕事帰りの帰宅中、車を運転していると眠くて仕方なかったのが、ほとんどなくなりました。他にも白髪の生え方が少なくなっような気がします。古くから伝えられているゴマの若

白髪が根元から黒くなって伸びてきました！

愛知県在住
会社員女性
36歳

両親共に高血圧で白髪体質なので、そうなる前に何とか予防したいと30歳になった頃から思っていました。血圧の方は測定してないのでわかりませんが、2〜3年前からポツポツあった白髪が「あれ？最近無くなる」と思っていたら、先の方が白く、途中から黒くなって

便秘が改善され、お肌の調子も良くなりました。

埼玉県在住
会社員女性
40歳

これまで、便秘に良いといわれている乳酸菌を含んだ健康食品を摂取しても、なかなか改善されなかったのですが、乳酸菌発酵・黒ゴマ食品を食べるようになってからは、体がスッキリと感じるくらい、気持ち良く出るようになりました。お腹もへこ

んだ感じがして、体が軽くなったようです。乳酸菌発酵・黒ゴマ食品を食べると、便秘や体臭がなくなるような気がします。口のまわりにできていた吹き出物も出なくなり、肌の調子も良くなってきたと思います。



シミも出なくなり、若返ったようです。

秋田県在住
自営業女性
67歳



丹羽SOD様作用食品は2010年10月頃より、乳酸菌発酵黒ゴマ食品は2013年10月頃より摂取しています。併用して摂取するようになりました。以前より体調も良く、シミも出なくなり、みんなに若くなったといわれ、とてもうれしいです。

生理痛や怠さがなくなりました。

埼玉県在住
会社員女性
32歳



いつも生理の1週間前くらいになると、パジャマがビッシヨリになるくらい、寝汗がひどかったのですが、乳酸菌発酵・黒ゴマ食品を食べ始めて2カ月ですが、生理の前日しか寝汗をかかなくなりました。それと同時に生理痛や怠さもなくなり、便通もよくなって快適です。

免疫がアップする生活術

免疫細胞と自律神経を健やかに保って 病気に負けない体をつくろう

感染症やがんから私たちの体を守ってくれる「免疫」。その免疫を健やかに保つための生活術をお伝えします。

がんなどの病気にならないのは免疫のおかげです

「免疫」とは「自分」以外の異物を追い出して体を病気から守ろうとする働きのことです。私たちの体には「免疫細胞」という細胞があり、異物であるウイルスや細菌、ダイオキシンなどの有害物質が体に入らないようにしてくれています。また、一日何千個とがん細胞が私たちの体では生まれています。免疫細胞がこのがん細胞を片っ端からやっつけてくれていて、がんにかからずに済んでいるのです。ですから、この免疫が弱くなってしまう

と、私たちは、風邪やがん、生活習慣病などの病気にかりやすくなってしまいます。

この免疫は残念ながら、20歳をピークに年々減少してきます。中年以降にがんや生活習慣病を発症する人が多いのはそのためです。加齢による免疫低下はある程度しかたのないことです。しかし、90歳になっても病気一つしない元気な人がいる一方、20代でも体調を崩しがちな人はいます。

それは、ストレスを上手に解消し、良い生活習慣をつくることでできれば、いくつになっても若々しく、免疫を高めておくことができます。

反対にどんなに若くてもストレスがひどかったり、生活習慣が乱れていると免疫は低下してしまいます。

ストレスによる自律神経の乱れは免疫の乱れです

免疫にとってストレスがなぜ大敵かということをお話しする前に、免疫と自律神経の関係についてご説明しましょう。

自律神経とは心臓や胃などの臓器の動きを司る神経です。活発な活動をするときに優位に動く「交感神経」と、体がゆったりとリラックスしたときに

優位に動く「副交感神経」からなっています。この交感神経と副交感神経がバランスを取ることで、体は正常に働くことができます。

この自律神経は免疫細胞にも関係があります。免疫細胞は副交感神経が優位なときに活発に動くという性質があるんです。自律神経は生活が乱れたり、ストレスがかかると交感神経が活発に働いて副交感神経が機能しなくなります。すると、免疫細胞は本来の働きができなくなるのです。

もっとも簡単な ストレス解消法は深呼吸です

その1 免疫アップ

三食規則正しくバランス良い食事をとりましょう

規則正しく1日3回の食事をとることは自律神経のリズムを整え、免疫がきちんと働ける環境をつくります。もちろん、ビタミン、ミネラル、食物繊維たっぷりの食事をとることが大切です。

野菜や豆類などに含まれるビタミンやファイトケミカルは免疫を低下させる活性酸素を消去してくれます。海藻類や貝類などに含ま

れるミネラルには免疫細胞を増強してくれる働きがあります。そして、食物繊維は免疫の8割を生んでいる腸をきれいにしてくれます。

反対にとり過ぎに注意したいのが糖分です。糖分を多くとると血糖値が乱高下しやすくなり、自律神経の乱れを招きます。

免疫のためには、「過度なストレスをためない」ことが大切です。

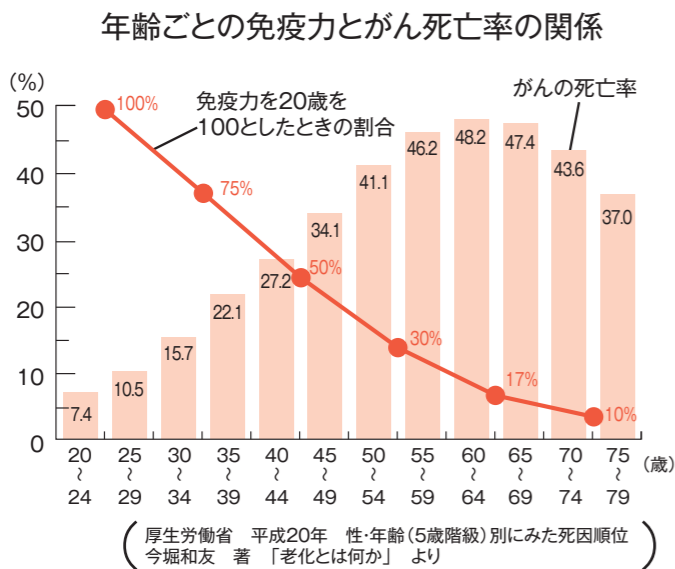
ストレスを解消する方法は、

- 休息をとる
- 趣味に没頭する
- 人に悩みなどを相談する
- 運動をする

などがあります。

しかし、ゆっくり休んだり、趣味に没頭したくても忙しくて時間がとれない人もいるでしょう。そんな人に短時

間のできる解消法としてお勧めなのは「深呼吸」です。ストレスを感じているときは交感神経が優位になり、知らず呼吸が浅くなっています。息を深く吸い込むことは興奮していた交感神経を落ち着かせる効果があります。しかも、呼吸によって新鮮な酸素が体の隅々まで届けられ、免疫細胞が元気になるですよ。免疫を上げるために、生活の中でできる工夫をご紹介します。



魚には良質なたんぱく質はもちろん、免疫に役立つDHA・EPAなどの良質な脂質がたっぷりと含まれています。

※免疫を鍛える料理については、P57のレシピをぜひ参考にしてください。

その2 免疫アップ

ゆっくりぬるめのお風呂に入って免疫細胞を活性化

免疫のためには入浴は大切です。免疫細胞は低体温だとその力を十分に発揮できません。お風呂にじっくりゆっくりにつかることで体が芯から温まり、免疫が働きやすくなります。さらにリラックスした入浴ができる、副交感神経の活動が活発になり、より免疫細胞が活性化するんです。お勧めしたい入浴法は、

「40℃以下のぬるめのお湯に20〜30分、ゆっくりにつかること」です。

そうした入浴は体をリラックスさせ、芯から温めてくれます。反対に熱めのお湯では体の表面しか温まりません。頑張つて長く入ったとしても、交感神経が優位になり、逆に疲れてしまうので注意しましょう。



お風呂にアロマオイルを2〜3滴たらしたり、入浴剤を使うとさらに効果的です。免疫アップにお勧めのアロマオイルはラベンダーやティートゥリー、ユーカリ、カモミールなどです。

その3 免疫アップ

質の良い睡眠には寝る前のリラックスタイムが大切です

不眠・寝不足が続くと免疫低下を招きます。質の良い睡眠のために寝る前にリラックスした状態をつくるのが大切です。ぬるめのお風呂に入ったり、ゆったりとした音楽を聞いて心穏やかに過ごしましょう。反対に、覚醒作用のあるカフェインを含んだコーヒーや緑茶、アルコールをなるべく避けましょう。

また、夜遅くまでテレビやパソコンの強い光を見ていると、寝つきが悪くなります。

寝る時間が不規則になっていて、いくら寝てもすっきりしないという人には、朝日を浴びることをお勧めします。朝9時くらいまで15分間くらい太陽の光を浴びると、体内時計が正常化して、睡眠のリズムが徐々に整っていきます。

寝る前にしたい手足ぶらぶら体操



寝る前に、布団で両手足を上へ伸ばし、30秒〜1分、手足を小刻みに揺らします。すると、体の緊張がほぐれて眠りやすくなります。

その4 免疫アップ

有酸素運動は血行を良くし、自律神経を整えます

運動習慣は健康のために役立つことは皆さんよくご存じでしょう。適度な運動は体の緊張をほぐしてくれ、免疫アップにつながります。

特に酸素を取り込みながら行う「有酸素運動」は体の隅々まで新鮮な酸素を送って血行を良くしてくれるだけでなく、自然な呼吸によって自律神経を整えてくれます。

有酸素運動には水泳やジョギング、エアロビクスなどがありますが、中でもお勧めなのはウォーキングです。特別な道具は必要ないですし、景色を楽しみながら行えばより高いリラックス効果が期待できます。歩き始める前に軽くストレッチをしたり、ウォーキングシューズを履くとより効果的です。忙しい方は通勤時間や買い物などのときにウォーキングを取り入れても良いかもしれません。

ウォーキングに慣れるまでは、ゆっくりでもよいので正しい姿勢を保つことに重点をおいて歩きましょう。



正しい足の運び方(足裏の重心移動)

からだのさまざまな部位に余計な負担をかけないために、1〜4の順に正しい重心移動を心がけましょう。

- かかとで着地 ※やや足の外側から移動する感じで
- 小指の付け根
- 親指の付け根
- 親指で踏み込む

免疫アップレシピ

体を内側から温めて血流を改善し、免疫を上げてくれる料理をご紹介します。体のためになる栄養素もたっぷりです。ぜひ試してみてください。

2色のドレッシングの温野菜サラダ

温野菜やショウガ、タマネギ、ゴマは体を温めて免疫をアップします

<材料>2人分
 ブロッコリー…1/2株
 パプリカ…1/2個
 エリンギ…2本
 カブ…2個
 タマネギドレッシング(A)
 すりおろし玉ねぎ…1/2個
 ゆず汁…大さじ1
 しょう油…大さじ1
 ショウガ…小さじ1

ゴマドレッシング(B)
 練りゴマ…大さじ2
 しょう油…大さじ1
 酢…大さじ1
 さとう…小さじ1
 みりん…小さじ1
 コマ油…小さじ1

<作り方>
 ① ブロッコリー、パプリカ、エリンギ、カブをそれぞれ食べやすい大きさに切る。
 ② Aの材料、Bの材料をそれぞれ混ぜて、器に移す。
 ③ ①の材料をお湯でゆでる。
 ④ ②と③を盛り付ける。

キノコたっぷり 鮭のホイル焼き

キノコに含まれるβグルカンが免疫向上効果があります

<材料>2人分
 生鮭(なければ甘塩鮭)…2切れ 味噌…大さじ1
 シメジ…1/2株 白みそ…大さじ1
 シイタケ…2枚 醤油…大さじ1
 エノキ…1/2株 酒…大さじ1

<作り方>
 ① 味噌、みりん、酒を混ぜて調味料をつくる。
 ② シメジ、シイタケ、エノキを食べやすい大きさに切り、それぞれ2等分しておく。
 ③ アルミホイルに鮭を切れずにおき、その上に②のキノコ類をそれぞれをのせる。①の調味料をかけ、アルミホイルでくるむ。
 ④ ③をオーブンで20分ほど焼き上げる。

和風豆乳スープ

根菜類は免疫を作り出す腸をきれいにしてくれます。

<材料>2人分
 コボウ…1/2本 ハセリ…少々
 レンコン…50g 豆乳…400cc
 長ネギ(ジャガイモでも可)…50g 白みそ…大さじ2
 ニンジン…1/2本 酒…大さじ2
 長ネギ…1/2本 だし汁…200cc
 すりおろしショウガ…小さじ1 塩…少々

<作り方>
 ① コボウ、レンコン、長ネギ、ニンジン1cm角に切る。
 ② 長ネギを小口切りにする。
 ③ だし汁、豆乳に①を入れて煮る。
 ④ ③の材料が煮えたところで、白みそ、酒、長ネギ、すりおろしショウガを入れる。
 ⑤ もう一度立ちしたところで塩を調え、刻んだハセリを振り掛ける。



梅としらすの混ぜご飯

免疫力を上げる梅を相性抜群のしらすと一緒に

<材料>2人分
 梅干し…大さ目1
 しらす…50g
 黒ゴマ…小さじ1
 三つ葉(または青ジソ)…適宜
 炊き立てごはん…2杯分

<作り方>
 ① 梅干しをほくしておく。
 ② 炊き立てのご飯に梅干し、しらす、黒ゴマを混ぜる。
 ③ ②を盛り付けて三つ葉をのせる。

テニスのシニア日本チャンピオンを襲った 余命3か月の急性白血病

丹羽療法で 奇跡の生還

東京都にお住まいの辻田裕司さん 79歳

ご無沙汰しております。というのが今回インタビューさせていただいた辻田さんの久しぶりのあいさつでした。会報をずっとご覧いただいている方のなかにはご記憶かもしれませんが、辻田さん、この愛飲者のコーナーには二度目の登場となります。一度目は、10年ほど前のことです。

テニスで年代別全日本チャンピオンという華々しい経歴を持ち、会社経営の傍ら40歳になって針灸治療師の資格を取り、治療師としても活躍されていた辻田さん。50代のときホルルマソンに出場し、4時間10分で完走した経歴もあります。そんなスーパーマンのような辻田さんが動けないほどの大病に見舞われたのは61歳のときでした。テニスの全国大会が迫っていたため、日夜猛練習をしていたある日、突然、肩に痛みが走ったのです。筋を痛めたかと思っていたら、肩に次いで肘膝にまで痛みが広がり、これはただ事ではないと大病院で見てもらったのです。診断は膠原病でした。

膠原病というのは、全身性エリテマトーデス（SLE）、全身性硬化症（PSS）、皮膚筋炎（DM）、関節リウマチといった病気などの総称で100種類以上にのぼります。上記の病名で

も分かるように、関節、血管、内臓などにある結合組織に異常をきたす自己免疫疾患の一種と言われています。いまだ完全な治療法がないそうです。

このとき辻田さんに処方された薬も、炎症止めと痛み止め、薬で胃が荒れないようにする胃薬の3種類。どれも根本的に病を治すものではありませんでした。

「西洋医学では治療法がないのだから仕方ない」

とは思うものの、筋肉がみるみる落ち、歩くのも困難になると精神的なダメージも大きかったと言います。普通ならそのままあきらめてステロイド系の薬を常用していくところなのですが、辻田さんは違いました。テニスで培った負けず嫌いの性格、あきらめない精神で、丹羽先生の治療を探し当てたのです。

「ほとんどあきらめかけていた時に巡り合った丹羽先生に、僕の言うとおりになれば必ず治るから、胃薬も炎症止めもいらさない。痛み止めだけ我慢できない時に飲みなさい、と言われてもさすが気持ちが悪くならぬりました」

そうして先生に処方された特製の漢方とSODを1日に9包飲み始め、なんと1年後にはテニスができるくらいに復活したのでした。そして翌年の全

日本大会シニア部門で見事優勝を飾ったのでした。

ある日突然、立ちくらみ 血液のがんかもしれない

あれから8年。辻田さんはすっかり元気になり、テニス三昧の日常が戻っていました。そんなある日のことでした。

「いつものようにテニスの練習をしていたら、急にバランスがとれなくなり、ふらついた。いわゆる立ちくらみですね。始めは、単なる貧血かなと思っていました。甘いものと水分を補給すればこんなのすぐに戻ると思って気にも留めていなかったのです。その後も、めまいやたちくらみがしばしばありましたが、ちょっと疲れているのだろうな、くらいに思っていました。そうしたら今度は、動悸や息切れに見舞われ、テニスコートでしゃがみ込むようになったんです」

辻田さんはこのとき77歳。日本人男性の平均健康寿命（自力で歩いてひとりで普通の生活ができる状態）は71歳と言われていますから、77歳でテニスができること自体、すごいこと。しかもシニアで日本一だなんて驚異的。とはいえそんな辻田さんまさ

にこれは変だなと思ったそうです。そして近所の病院を訪ねたのが平成25年6月のことでした。血液検査をしてもらったところ、

「先生は、検査結果の数値を見ながら、うーん、かんばしくないですねー、と厳しい表情で話し始めたんです。なにか異変があったんだと覚悟しました。不治の病といわれている膠原病を患った経緯がありますから、再発したかと思いましたね。このとき先生から言われたのが、赤血球と白血球の割合を示すヘマトクリットの数値が異常に低いと」

ヘマトクリットというのは、血球が血液の中で示す容積の割合で、通常の成人男子で38〜48%という数値が正常範囲内ですが、辻田さんの割合は、たったの26.9%しかありませんでした。「先生に、骨髄異形成症候群の疑いがあるから、早急に大きな病院で診てもらったほうがいいです、と言われまし

た」

骨髄異形成症候群とは、難病情報センターの資料によると、

赤血球、白血球、血小板といった血液細胞（血球）は骨髄の中で造血幹細胞といわれる細胞より作られます。血球の寿命は短いので、骨髄の中では生涯にわたり大量の血球が作り続けられ

ていますが、何らかの理由で十分に血球が作られなくなると、血球減少がおこります。骨髄異形成症候群というのは、造血幹細胞に異常が生じ、十分な量の血球を作ることができなくなり、その結果血球減少をおこす病気です。

骨髄異形成症候群の患者さんは経過中に急性骨髄性白血病になる危険性が高いことも知られています。症状としては、貧血症状、息切れ、動悸、全身倦怠感、脱力感、などが見られます。高度の白血球減少がおこれば、細菌やカビなどの病原体に対する抵抗力が低下し、肺炎、腸炎、さらには敗血症といった感染症をおこします。血小板が少なくなるとささいなことでも出血しやすくなり、軽度の打撲で大きなあざをつくる、歯磨き後の歯肉出血が止まりにくい、鼻出血を繰り返す、といった症状が見られます。外傷や感染症を契機として頭の中や胃腸などに重大な出血をおこすこともあります。

簡単に言うと、いわゆる血液のがんの一つだそうです。赤血球も白血球の数値も平均値の半分くらいとかなり低く、また、立ちくらみや疲労感などの自覚症状が出たのもごついついことからでした。

葬式の準備を しておいたほうがいい と言われ目の前が真っくら

血液検査から20日後、7月10日、辻田さんは日本でも屈指の著名な大病院で骨髄の検査をしました。その結果は、やはり骨髄異形成症候群でした。このままでは1年後には急性白血病になる可能性が高いと言われました。

急性白血病という血液のがんの治療法は、西洋医学では骨髄移植しかないと言われていました。しかも、それは65歳以下しか適応できないそうです。

「もし移植できたとしても、その後、ずっと免疫抑制剤を投与しなければならぬのは知っていました。できたとしてもリスクが大きすぎますよね。免疫抑制剤は免疫が落ちるわけだから、かぜやインフルエンザでも死に直結してしまふ。かといって他の治療法は、造血効果のある薬（免疫抑制剤やステロイドと同様、嘔吐や食欲減少などの副作用があるとか）を飲むか、輸血を定期的に行うしかないです。もう、ここまできたら、どっちにしてもダメかもしれないと思いました」

異変を感じてからの数か月。64キロあった辻田さんの体重は51キロにまで減っていました。味が分からな

くなり、食欲も落ちたそうです。その変貌は、周囲の目にも明らかで、彼を良く知る人は、あの頃は顔色も悪く、いつものパワーあふれる辻田さんじゃなかった、重い病気かなと思ったそうです。本人もかなりのショックだったはず。そんな危機の中で辻田さんは

「僕も治療師の端くれですから、化学薬品を使った治療法はやりたくなかったから輸血などは拒否しました。しかし、このときの僕のヘモグロビン数値（血色素数）は7.1しかなかったんです。平均は13〜16で、7以下では立っていられないらしいです。もう限界でした。そんなときにやはり頼りたかったのは信頼している丹羽先生でした」

7月12日に大病院で検査の結果を聞き、26日に大宮の診療所に丹羽先生を訪ねました。

「大病院の検査データを持って行ったんです。そうしたら、そのデータを見た丹羽先生は、あんだ、これはもう急性白血病ですよ。最悪の場合、余命は3か月くらい。お葬式の準備しておいたほうがいいかもしれないと言われ、これはショックでしたね。目の前が真っ暗とはこのことでした」

丹羽先生は、どんな患者さんにも変に期待を持たせたりはしません。その

と大笑い。

「2回目の血液検査でも順調に数値が増え、先生も、あんだいいぞ！もしかしら100歳くらいまで生きるかもしれないぞ、と言ってくれて、嬉しかったですね」

そして辻田さんは、全快に近い状態で東京に戻ってきました。

「大病院で検査をしたころ、その数値に（表1参照）ものすごく驚かれました。この病気でこれだけ回復した人は初めて見ました、何をしたんですか？と。でも、西洋治療しか勉強していない人には丹羽先生のことを説明しても分かってもらえないから、生薬を使った療法で治したとだけ言いましたね」

丹羽療法を始めるのが1か月遅かったら終わりだった

辻田さんが病魔に侵されたのはどうしてだったか、その原因ははっきりと特定はできません。しかし、ひとつ言えるのは、辻田さんは普通の歳を重ねてきた人ではなく、アスリートだったということ。しかも、ほぼ毎日、炎天下のテニスコート駆け巡っていたのです。それは、同時に大量の紫外線を浴びることでした。紫外線と過度

代り、可能性がある場合は、暖かい声で大丈夫、と励ましてくれます。普通の病院の先生なら可能性はやってみないとわかりませんか、パーセンテージでしか言ってくれません。だからこそ辻田さんにとっては厳しい現実だったはず。しかし、先生は最後に「うちの病院にいくか？ 苦しまずに少しは長く生きられるようにしてやるから。と言ってくれたんです。そりゃ嬉しかったです。どうせダメなら、少しでも長く、少しでも元気な状態でいたいと誰でも思うじゃないですか」



79歳と思えない引き締まった筋肉とつややかな肌により活力に満ちあふれている辻田さん

の運動で発する活性酸素の量のことを考えると、恐ろしくなります。加えて、全日本シニアチャンピオンとしてのプレッシャーやストレスも半端じゃなかったと思います。

実際、辻田さんのテニスの僚友が二人も同じ病にかかっていたとか。残念ながらおふたりは、辻田さんが退院した頃に相次いで亡くなられたそうです。

「あのとき、もう一か月、丹羽先生のところに行くのが遅れていたら、僕は、今、ここにいませんでした。終わりでした。先生の先見の明、豊富な治療実績、そして寝ずに開発された生薬など、すべてのおかげです」

しみじみと言います。今は同じ病の友人に丹羽先生を紹介しているとか。一人でも多くの人が自分のように生還できればと願っています。

「今も数か月に一度、大宮の診療所に行っているのですが、診療は10秒で終わりです。ええ、薬はSODといっしょに今も飲み続けています。最近すごいのは、真っ白だった髪の毛が黒くなってきたんですよ」

確かに、髪の毛のあたりが黒いのです。白髪染めをしている人の根っこは全く逆で根っこが白く、徐々に黒くなるものです。こんな逆現象を目の当た

1か月の入院で数値が回復 余命3か月が、100歳まで生きる

早ければ早いほどいい、迷う余地はありませんでした。辻田さんはその場で土佐清水病院行きを決め、1週間後には高知空港に降り立っていました。

「大宮の診療所に行ったその日から丹羽先生特製の薬を出してもらい、SODといっしょに5種類くらい飲み始めていました。HTT、タブ、SOD・Cなどでした」

今、土佐清水病院は病院内に入院設備がなく、通院という形をとって診療しています。病院近くのほとんどの民宿と提携し、食事も病院の指示に従った病院食を出してくれるそうです。

「おせじにもきれいな民宿ではなかったけど、患者さんで満室なんです。ほかの民宿も同様らしく、丹羽先生を頼ってくる人は多いんだな、改めてすごい先生だと思いました」

すごい先生、という想いがさらに増すことになったのは、入院して最初の血液検査の結果でした。

「信じられないことですが、すべての数値が増えていたんですよ。その結果を見て先生も、いいぞ、良くなってい

るぞ。これはいけるかもしれないと言ってくれたんです。ほんとうに嬉しかったですね。入院までの一週間に飲んでた薬が効いたんですね」

辻田さんは土佐清水に約1か月滞在しました。その間に行った治療でいけばん体が喜んでるのが分かる治療が、マグネー石でできたサンドバスだったそうです。

「入院中は毎日入っていました。初めて入ったときは、5分も入っていらなかった。体がドクドクして耐えられなかったんです。それが、日ごとに長くなるようになって、最終的には15分くらい入れるようになった。これは本当に良かったですよ。血が全身を巡っているのが分かるんです」

と同時に、味覚異常も少しずつ回復し、今度は逆に、食事がおいしくおいしくて、体重も1日に1キロずつ増え、元に戻ったそうです。もちろん立ちくらみもめまいもなく、後半は、病院から民宿まで徒歩で1時間近くかかる距離を、歩いたり走ったりして帰ってきたとか。さすがアスリートです。

「いや、海がきれいで、食べ物もおいしくて、途中から入院じゃなく、旅行にきている気分でした。入院友達もでき、戦友みたいですね」

で。あと、マラソンをまたやりたいですね」

ただただビックリしてしまいます。そんなに急がないでください。100歳までまだまだ先は長いのです。いろいろな、辻田さん、秋の吉報、楽しみにしています。取材、ありがとうございました。

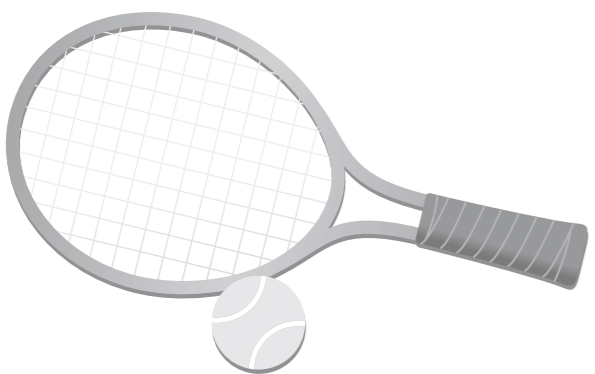


表1

検査項目	基準値 (男性)	H25年6月19日 発症直後	H26年11月20日 丹羽療法後
白血球数	3200~8500 μ l	2820 μ l	5300 μ l
赤血球数	400~539 μ l	229 μ l	525 μ l
血色素数 (ヘモグロビン)	13.1~16.6g/dl	9.4g/dl	14.2g/dl
ヘマトクリット	38.5~48.9%	26.9%	42.7%

SOD体験者 レポート

編集部には毎日、SOD様作用食品(以下SOD)の愛飲者の方々からお便りをたくさんいただきます。愛飲1ヶ月で変化を実感する方から健康維持のために10年以上も愛飲されている方で、本場に多くの方々からの声をいただきます。その中から取材をお願いし、聞かせていただいた生の声をご紹介します。

※インタビューした方の名前はプライバシーに配慮し、仮名とさせていただきます。

Case1

脳梗塞と診断され、認知症でしゃべれないはずが健康そのもの

市原美智子さん
神奈川県
(65歳)

何度も検査してやっと脳梗塞が見つかる

両手が痺れる――。

市原さんがそう感じたのはちょうどSODをやめてしばらく経った平成22年2月のことでした。最初はリウマチだと思いましたが、近所の病院で診てもらったのですが、高齢者にはよくあることだから、1週間くらい様子を見ましょう、と言われて治療す

してもらえませんでした。

「1週間経っても痺れが取れないから心配になって大きな病院でちゃんとした検査をお願いしたんです。そこでCT(コンピュータ断層撮影)を撮ってもらったんですが、特に異常はなかったんです。お医者さんには、あなたは気にし過ぎ、自身で病気をつくっているんですよ、とまで言われました」

しかし、痺れはまったく治ま

ていないのですから、間違いなくどこかに異常があるはずですよ。

「それでMRI(磁気共鳴画像法)をお願いしたんですが、先生はそんなの必要ないの一点張りでした。そこを無理やりお願いしたんです」

MRIの結果、大変なことが判明したのです。脳の一部が壊死している脳梗塞の可能性があるとのこと。さらに首の頸椎ヘルニアが原因で痺れているのか

もしれないと。手術とまではいいられないけど、気を付けなさいけないとのこと薬を処方されました。

薬の副作用を訴えると治療を拒否される

「でもね、私は薬アレルギーだから、先生に薬を飲むと必ずおかしくなると言ったんです。そうしたら、この薬を飲んで副作用

が出た人は一人もないから安心して飲みなさいと言われてました」

その薬は2種類。一つはグラマリール(薬の辞典によると、心の不調や不具合を調整するお薬です。神経の高ぶりや不安感を静め、気持ちを穏やかにします。また、手足の震えなど体の異常な動きを抑えるのにも用い

ます)、もう一つはニチアスピリン(血小板凝集抑制作用によって、血管内で血液が固まるのを防いだり、血栓ができるのを防ぎます。通常、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、冠動脈バイパス手術などにおける血栓・血栓形成の予防に用いられます)でした。「飲み始めて1週間でダメでした。もともと不整脈のある心臓

の動悸が激しくなり、手足に湿疹も出ました。そうしたら先生は、薬を飲まないともっと大変なことになるといいますよ。おかしいでしょ?」

十分、大変なことになっているのに。しかも、あなたの脳はもう90歳の脳だと、脳梗塞で認知症のような状態になっているから、副作用が出ていると思いませんか、なんて今度は私を認知症老人扱いですよ」

極めつけは、薬を飲まない人は治療できないからもう病院には来ないでください、とまで言われたそうです。もちろん市原さんは通院と薬をやめました。それでも大丈夫という安心があったからです。それは、SODでした。しばらくやめていたのですが、脳梗塞と言われているからSODを再開していたのです。今度は1日に10包飲むようにしていました。

医師から見放されたのにみるみる回復

SODのおかげで痺れも取れ、脳梗塞と言われてもメンタルが

んです。だからCTとMRIのデータを持って、別の病院で診てもらったんです。そうしたらやはり脳梗塞だと言われました。しかも、その先生は45年も脳外科医をしているけれど、普通なら脳が麻痺してしゃべることがままならないはずなのに、市原さんは普通の人と変わらない。しっかりといるって驚かれました。どうしてだろうって。私、よほどSODのことを話そうかと思ったんですけど、話しても信じてもらえないと思って話さなかったんですね。でも、間違いなく私がこうして元気になれるのはSODのおかげです」

市原さんはSODだけでなく、タマネギの皮やシイタケの戻し汁、ドクダミ、ビワの茶、ゴボウなどを自分で乾燥させて煎じて飲んでいるそうです。もちろん、スポーツクラブにも行き、ピラティス、ビリヤード、アクアダンス、ボクササイズなど、毎日が忙しい。

でも無理は禁物ですよ、と言っても無理なんですよ。お大事に。



市原さんは脳梗塞から両手に痺れが出ていました。

リウマチ薬の副作用に 悩んでいったのが、薬いらずに

安田秀夫さん
長野県
(59歳)

働き盛りの40代で リウマチを発症

安田秀夫さんは15、6年前にリウマチ疾患を患い、以来闘病の日々を送ってきました。奥様の良子さんはそんなご主人の闘病の経過、SODとの出会いなどをいろいろと話してくださいました。

「今から15年くらい前でした。最初は、熱が出て関節の節々が痛いと言ったんです。てっきり風邪をひいたんだと思って近所の病院で風邪薬をもらって飲んでいました。ところが1、2週間してもぜんぜん良くならないんですよ。最初は内科にかかり、熱は何とかが下がったけど関節の痛みはずっと続くんです。これは風邪じゃなく関節の病気かもしれないからと、整形外科に行ってもやっぱり分からなく」

こんな状態が1年も続いたと言います。当時のご主人は42、3歳。働き盛りでした。お仕事は普通の会社員。特別に肉体を使う仕事ではありませんでした。

なのに手足の指の節々が痛み、特に冬場はつらそうだったと言います。リウマチという病名は知ってはいけれど、それは老人のかかる疾患だと思っていた安田夫妻。しかしこの安田さんがかかった関節リウマチは、30歳から50歳の男性に多い疾患なのです。まさに当てはまっていた。

「リウマチだと分かったのは1年後でした。リウマチの専門医のところまで血液検査をして分かったんです。最初は痛み止めの注射を打ってもらい、処方された薬を飲んでいました。いわゆるステロイド系のものであったと思いますけれど、症状が良くなっ

たものですからひと安心していったんです」

やっと病名が分かり、しかも注射と薬で痛みも和らぎ、安心したのも当然だったでしょう。当時は副作用のこともそんなに深刻には考えていなかったはず。40代と若かったこともあり、薬の常用で安心していったと言います。

リウマチの薬の副作用で 肝臓と肺もボロボロに

「ところが5年くらい前から、また痛みがひどくなってきてリウマチ因子定量が403IU/mlまで跳ね上がっていたんです。基準値が10〜20IU/mlですから、ものすごく高かったんです。それで先生からももう少し強い薬にしないといけないと言われて、リウマトレックスを処方されたんで

の治療薬、つまり抗がん剤として作られました。

副作用は、間質性肺炎、白血球減少、胃腸障害、口内炎、抜け毛、肝機能の低下などが挙げられています。

「もうなんです。強い薬を飲むようになってからやっぱり副作用が出ました。肝臓も肺も悪くなったのに、検査で両方の数値が悪くなっていて薬を処方されました。加えて高血圧。定期的な検査とリウマチ、間質性肺炎、肝臓、降圧剤の薬で毎月3万円くらい医療費がかかっています。たね。ほかに健康食品や漢方をあれこれ試しましたよ。私が美容院をやっているものですか、いろんな情報が入ってくるんですよ。健康食品の案内なんか市販されているあらゆるものが届きます」

そんな環境だったこともあつ

て、副作用は怖いという知識はあったそうです。しかし、ご主人の症状が軽く、これといった副作用が出なかったときはそんな情報も右から左へと流れていました。

「副作用が出たものですから、それはもういろんな健康食品や漢方を試しましたよ。まあ、そういうものってそもそも効くかどうかかも半信半疑じゃないですか。案の定、どれも効果らしきものはありませんでした。SODの資料もその中に入ったんです。でも、飲むようになったきっかけはうちの美容院のお客さんからの勧めでした。その方、ものすごくひどいアトピー性皮膚炎で悩んでいらしたのに、あるときを境にどんどん良くなったんです。聞くと、丹羽先生という方の診察を受け、SODを飲んだら良くなったというじゃないです

か」

そこで良子さんも送られてきていたSODの資料を読んだそうです。読み進むうちにこれは本物かもしれない。丹羽先生というのはすごい先生かもしれない。そんな予感から丹羽先生の書いたアトピーの本まで購入したそうです。そして販売会社から資料も取り寄せ、SODはアトピーだけではなく、あらゆる疾患に有効だということを知りました。

さらに薬の副作用の怖さも改めて知りました。

「SODを飲み始めたのは去年8月からでした。正直、そんなに期待はしていませんでした。これまでいろんなものを試したけれどどれも効果はなかったんです。ただ、悪いものじゃないと思って」 半信半疑とはいえ、最初は秀夫さんに毎日12包ずつ飲ませたそうです。体験者の話や、丹羽先生のインタビューにそのように書いてあったから、ダメもとで思い切りよく試したそうです。その大胆な試みが良かったのでしよう。

「今年の2月に久しぶりにリウマ

チ因子定量の検査をしていただいたんです。そうしたらなんと、数値が111IU/mlになっていたんです。びっくりでしょ？ 近くの病院で、こんな数値なら今までの強い薬なんか必要ないと、軽い薬に変わったんです。それだけじゃなく、血圧も下がり、肝臓、肺の数値も良くなっていました。だから3月からSODの量を1日12包から8包に減らしました(笑)」

そのSOD、今では4包に。と同時に、病院から処方されていた大量の薬もすべてやめたそうです。「リウマチや高血圧とかがって一生の病気だと思っていましたから、本当に信じられないです。まさか薬を飲まなくて良くなるなんてねえ。丹羽先生って、現実にいらっしやるんですね(笑)」

小太りで糖尿病の心配もあった体重も10kg落ち、ご主人は元気そのもの。「あまりにも元気になったものから、主人の減らした分のSODを、私が飲み始めました(笑)。本当に感謝です。SODに出会えた人は幸運ですよ」



突然の成人ステイロ病で 身動きがとれなかったのに サッカーをできるまで回復

市川清子さん
東京都
(77歳)

**ある朝突然、体が
まったく動かなくなる**

市川清子さんは、77歳とは思えないほどはつらつとしたお声の方です。しかし、7年前はこんなに元気ではなかったとのこと。病いは突然やってきたのでした。

「朝、目覚めたら突然、体がまったく動かなくなっていました。手や足だけでなく、体全体が鉛のように動かせないんです。羽毛布団すら重く感じたくらい。いったい何が起こったのか、しばらくは理解できませんでした。それでも尿意をもよおすものですから、何とか起きなくてはいけない。もう必死で手足を動かそうとするんですが、足首、ひざ、ひじなどが突っ張っていて曲がらないんです。です

から壁などを使って少しずつ体をずらしていった、なんとか起き上ったはいいけど、今度はベッドから転げ落ちてしまって、そこから這うようにトイレに行きました」

なんと、トイレまで辿り着くのに1時間もかかったそうです。たまたま運悪くご主人が外出されていて、家には誰もいなかったとが。

「用を足したはいいけど水洗の水を流すことすら難儀でした」

翌日、ご家族に連れられて車いすで病院に行って診察してもらったところ、病名はリウマチではないかという曖昧なものでした。

「ひざがパンパンに腫れていましたから、とにかくひざから水を抜いてもらい、ステロイドの注射を打ってもらったんです。そ

の日はすごく楽にはなったんです」

しかし、ステロイド注射の効果はたった1日しかもたなかったのです。再度、病院に行くと、やはりリウマチの数値は出ていないから、別の疾患の可能性があるとのこと。「それで今度は免疫血液科というところに回されたいです。そこで血液検査とCT検査をしまして、最初は関節炎ではないかと言われたんですよ。成人型ステイロ病（関節リウマチの一種）という診断が出たのは数カ月後でした。それ后来又ステロイド剤を処方されました」

それから清子さんの生活は激変しました。何をしても自由な体。電話が鳴っても受話器すら持てない。ドアも開けられない。ご主人や娘さんの助けを

借りなければ何もできない自分がいました。年齢的にももう70歳を過ぎ、このまま人生が終わっていくのかと落ち込んでいました。「手足の関節が不自由なだけでなく、何ていうんでしょうか、体中の血管がジーンとうずいていて、どうしようもなく不気味な感覚が絶えずあったんです。もう、生きているだけが精いっぱいの日々でした」

食欲は落ち、体重は減り、肌のツヤもなくなって、知り合いの80歳の人から、90歳くらいに見える、と言われるくらいに老け込んでいたのです。

「病気のせいもあるけど、これはきつと薬のせいもある。ステロイドをずっと飲み続けると副作用があって良くない、というのは聞いたことあったんです。それでいろいろ調べたら、本当に

怖い話ばかりが書いてあって、これはやめたほうが良いのかしらと思っていたんです」

そんなときに近所の知り合いがエリテマトーデス（膠原病の一種）で、やはりステロイドの常用で悩み、ステロイドを使わない、良い民間の治療院を見つけたと話してくれたそうです。そんな良い治療院があるなら自分も移ろうと思っていた矢先、その方が急に亡くなられたそうです。おそらく原因はステロイドを急に絶ったからだと思われる。

「後になってSODの資料や会報、丹羽先生の本を読むようになって分かりました。ステロイドは素人考えで急にやめたらダメなんですよね。危なかったです。危うく私も同じことをしていたかもしれないんですから。丹羽先生がステロイドを抜くのにどれだけ細心の注意を払って、徐々に減らしているのを知って、改めて薬の怖さを確認しました」

SODを飲み始めて 食欲も体力も回復

そんな清子さん、SODとの出会いはこのようにです。

「それが皆さんのようにドラマティックでもなんでもないんですよ。私がステロイドのことで悩んでいるのを知っていた娘が、ステロイドの副作用を軽くする良いものを漢方の薬局で見つけたと言ってくれたんです。それが丹羽先生のSODでした。6年前のことです。飲み始めて1カ月で変化がありましたね。まず最初はひざの下にイボがあって、そこからいつも血が噴き出ていたんです。まずそれがなくなりました。同時くらいに血管がジーンとうずく感覚がなくなると、そこからはもう驚くくらいにすべてが楽になっていきました。夜中にお腹が苦しくて何度もトイレに起きていたのもなくなりましたね。何よりも食欲が出て、会う方皆さんが、すごく元気になったけど、何をしたいの？どこの病院に？」

「聞いてくるとおもしろいになったことがいっぱいあります」

はステロイド、ロキソニン（鎮痛・消炎剤）、メバロチン（抗コレステロール薬）など、毎回両手いっぱい薬を病院で処方されて飲んでいました。それらを少しずつ減らしてもらい、今は最小限のステロイドだけと言います。「今はSODを1日3包飲んでいきます。これまでは内臓の調子も味覚も悪くて何を食べてもおいしくなくて、食事が苦痛だったんです。今では食べることが楽しくて食事の時間が待ち遠しいくらい（笑）。以前は鏡を見たくなくて身の回りから鏡をなくしていたのに、今では毎日鏡を見るのも楽しいんですよ。なぜかって、鏡を見るたびに元気になっていく自分が確認できるからです」

以前は電車にも自力では乗れなかった清子さん。券売機に手が伸ばせなくて切符も買えなかったとか。ところが今は一人で電車に乗ってお孫さんのところに出かけることもできるようになりました。「孫とサッカーもするんですよ。本当に丹羽先生とSODには感謝しております。丹羽先生の治療はすごく有名なですね。先日も町である親子を見か

けて、その小さなお子さんが明らかにアトピーで、道端で泣いていたんです。お母さんも困ってらしたんです。私もおせっかいかなと思っただんですが、お母さんに『アトピーでしたら丹羽先生に診ていただくの良いですよ』と声をかけてお話ししたんです。そうしたら、『これから新横浜の丹羽先生の診療所に行くところなんです』と言われて、びっくりしました。私も先生に一度、診ていただくかと思っていて、つい忘れがちになりますね。のどもと過ぎれば熱さ忘れる、というのはその通りです（笑）」



Case4

くも膜下出血からの奇跡の生還後、 発症前よりも健康的に

高橋弘子さん
福島県
(67歳)

くも膜下出血で 意識不明に

東日本大震災の被災地に近い福島県会津若松市にお住まいの高橋弘子さん。福島県は地震被害だけでなく、原発被害にも遭っています。高橋さんのお住まいの会津若松市は、風光明媚な山間部にあります。幸いなことに会津若松は、地震による津波や原発被害には遭わず、

「今、桜がきれいに咲いていますよ。冬は寒いけど、良いところですよ。」

と明るくおっしゃいます。しかし、南相馬市にお住まいの高橋さんのご両親は高橋さんのお宅に避難していらっしゃいます。「父は南相馬に戻ったんですが、母は高齢ですし、何かあってもすぐに動けないから、うちにおります。狭い家ですが、避難所

で過ごすよりはましですものね。避難所の方たちは本当に大変です」

聞けば、ご近所を見回すと、たくさんのお宅で親戚や知人の方が避難されていらっしゃるのことが。あまりにも避難の方が身近すぎ、それが日常のようになっているとか。「地震のときは、それは怖かったです。あんなに揺れたのはこんなに長く生きてきて初めての体験でしたから。今でも余震は多いです。でも、私らはこうして生きていられるのですからありがたいことです」

高橋さんには最近ありがたいと感じたことがもう一つありました。「それはSODに出会えたことです」
「そうおっしゃる高橋さんが「くも膜下出血」で突然倒れたのは5年前のことでした。

「その夜は友人たちとお酒を飲んで、ほろ酔い加減で家に帰ったらいきなりでした。急に何かで殴られたような激しい頭痛がして、玄関で倒れたんです。気分がものすごく悪くなり、もどしているうちに意識がなくなっていました。家族に聞くと、上から下からも汚物を出し、白目をむいて痙攣を起していたそうです。救急車で運ばれ、すぐに手術だったそうです。手術が12時間もかかったとかで、家族はもうダメだと思ったらしいですよ」

その病名が「くも膜下出血」でした。この病気は、脳卒中の一種で、脳動脈瘤という脳の血管の壁にできる瘤が破裂して起こる病気です。発症すると突然に命を落とす可能性が高い危険な病気といわれています。また、手術も危険を伴う難しいもので、

術後1カ月は予断を許さないそうです。高橋さんの場合も、非常に高度な技術を要する開頭手術によるクリッピングなどを行いました。これは、動脈瘤の根元を洗濯バサミのような構造の極小の金属製のクリップではさんで瘤内に血液が入らないようにして再破裂を予防するものです。

「ですから、最初の手術の後、3カ月後くらいにもう一度クリッピングの先にプラチナを入れる手術をしました。3月に入院して退院したのが9月でしたから、半年間も入院していました」

地元で10数年間美容院を営んできた高橋さん。美容師さんは朝から夜までずっと立ちっぱなしのお仕事。お客さんとお話をしながらも、絶えず手先を動かし、危険なハサミを扱います。

気付かないうちにストレスも溜まっていたのでしよう。

「それに私はタバコもお酒もたしなむものですから、病気の危険性は高かったと思います」

胃のポリープも消え、 愛犬の白内障も 進行ストップ

退院後は健康に気遣い、さまざまな健康食品も飲んでいたと言います。しかし、

「一年半前に胃カメラの検査でポリープが見つかったんです。様子を見ましようということになったんです。でも、ポリープからがんになるかもしれないじゃないですか。大病もしていますから、余計に心配になって、以前から気になっていたSODを飲み始めたんです」

SODはときどき送られてくる資料等でご存知だった高橋さん。丹羽先生はがんや膠原病などの難病で有名なお医者さんだから、くも膜下出血になった自分の疾患とは縁がないと思いついていたのです。しかし、今回はポリープ。これこそ丹羽先生

のSODが良いのではないかと思われたとか。

そもそもSODはがん、難病だけに良いというのではなく、さまざまな疾患の原因となる活性酸素を強力に除去し、身体の免疫力を大きく高めるもので、あらゆる疾患のもとをただす役割を持っているもの。

「SODとは知らなかったものですが、とにかく検査後から1日に2、3包を毎日飲み始めたんです。そうしたら、3カ月後の検診でポリープが胃からすっかり消えていたんです。すごいですよ。お医者さんもこんなことは初めてだと首をひねっていました。私は、あ、これはSODが効いたんだと、はつきり確信しましたからね」

高橋さんのSOD愛飲はこれだけにとどまりませんでした。

「実はうちには15歳のシーズー犬がいるんです。その子が白内障になり、日増しに目が白く濁ってきていたんです。もう歳ですから、元気もなく、何があってもおかしくはない、(平成22年秋の時点で)来年の春は迎えられるかもしれないと思っていた

んです。そんなとき、私のポリープがSODで消えたと言われ、ふと、この子にもあげれば元気になるかもしれないと思ってあげたんです。1日に半包を毎日。そしたら、白内障の進行が止まって、食欲が出てすごく元気になったんです」

今では家族・愛犬全員がSODを飲んで元気に過ごされているとか。もちろん美容院のお仕事も現役でバリバリ。

「本当にSODのパワーはすご

いです。ありがたいことです。今度は犬と一緒に旅行を計画しているんですよ」

SODのパワーもさることながら、67歳で現役の高橋さんのパワーがすごいんですよ。東北地方の復興に、高橋さんのような方がいらっしゃると心強い限りです。

※取材は平成23年秋に行いました。



Case5

原因不明の眼病、バセドウ病、薬の副作用：負の連鎖が断ち切れた

木村祥子 さん
(51歳)
美樹 さん
(25歳)
香川県

原因不明の眼球の病に悩まされる

木村祥子さんは人気の美容院を営んでいます。お嬢さんの美樹さんも高校を卒業するとお母様と同じ美容師の道を選択し、美容学校へ。そうして数年前から親子で一緒に忙しく働いています。同じ仕事場で親子で仕事ができ、うらやましいかぎりの木村家です。

しかし、そんな木村家にも受難の時期がありました。それは6年前のこと。お母様の祥子さんが目の奥の血管の病気・硬膜動静脈瘤(海綿静脈洞部)という原因不明の難病を発症したのです。

「当時、海洋深層水というのが流行っていました、うちでも健康に良いんじゃないかとオーダー購入したんです。そのときに水が混濁していたのでちょっと変だなとは思ったんです。でもそついで

うものだと思って飲んだら、数時間後から激しい嘔吐と下痢に襲われたんです。病院に行くことも思っただんですが、幸いなことに2日くらいで治まったのでそのままにしていたんです」

今思うと、海洋深層水そのものがいけなかったというのではなく、おそらく飲んだ品物が古かったか、たまたま微生物が混入していたのではないかと言います。この事件が一つの導火線になり、木村さんの体に巣食っていた病が表に噴出することになったのです。数日後、まずは目に異常が出ました。

「物が二重に見えるんです。充血もしていたので、疲れから結膜炎か何かになったかなと思って、眼科に行きました。美容師をしていますので、目と指は大切ですから」

眼科では、おそらく結膜炎な

ので、抗生剤系の点眼でしばらく様子を見ましようという診断でした。ところが物が二重に見えたり、かすんだりという症状はいつまで経っても良くなりませんでした。

「1カ月くらい様子を見たんですが、ぜんぜん良くならないんです。それどころか吐き気までして、食べ物が食べられなくなり、真つすぐ歩けなくなりました。これは目からきているものじゃない、ひょっとしたら脳に何か障害がきたのかと思いましたね。それで大きな病院で検査してもらったんです」

大きな病院の脳外科に行くと、たくさん患者さんが待っているにも関わらず、木村さんの様子を見た看護師さんが先生に伝え、真つ先に診察をしてもらったそうです。見た目にもこれは大変と分かるくらい症状は悪化して

から斜視みたいな感じでしたね。とにかく吐くし、食べられないし、げっそり痩せてしまいました。ええ、SODを飲むまでこの状態は続いていましたから、4年くらいずっとでした」

その間に処方されたのは血液をサラサラにする効果のあるワーファリン(ワルファリン)でした。この薬は丹羽先生もそれほど副作用を心配する薬ではないとは言います。しかし、祥子さんは原因不明の難病に数年間悩まされ、かなり精神的に弱っていました。仕事も入院期間を含め半年近くお休みしたそうです。

今度はバセドウ病を発症し、薬の副作用も

右目が動かない状態で美容師の仕事は大変だったと思います。そんな木村さんをさらなる試練が襲います。

「2年前に今度は甲状腺機能亢進症（こうしんしょう）になったんです。足がパンパンに腫れ、心臓がドキドキして、脈拍が1分間で140にもなる。最初は、ちょうど生理がなくなっていた

し、更年期かなと思っただけです。体重が減って、暑くないのに汗をよくかかれます。それで病院に行くと血液検査などをしてもらったんですが、心臓も肝臓も悪くはないと言われました」

それでも体調は優れず、これは更年期だから婦人科で乳がんや子宮がんなどの検診を受けてみようと思いついた木村さん。

そこで、乳がんの検診のついでに先生が甲状腺も診てくれたところ、甲状腺機能亢進症、いわゆるバセドウ病だという結果が出たのです。この疾患の症状は、動悸、過剰な発汗、体重減少、のどの腫れなどで、のどの腫れをのぞけばまさに木村さんの症状とピッタリと一致します。

「私の場合はのどの腫れがなかったのでバセドウ病が分かりにくかったんでしょうね。それでメルカゾールという甲状腺機能亢進症の薬を飲み始めたんです。そうしたらまたしても体調が悪いです。風邪のような熱っぽさとだるさが続いたんです。それで病院で診てもらったんですが、甲状腺は大丈夫と言われ、風邪薬をもらって帰ったんです」

診察の2日後、木村さんは突然のめまいに襲われて倒れ、救急車で搬送されたのです。

「目がぐるぐる回って、目の前が真っ暗になりました。救急車でも病院をたらい回しにされて、5軒目くらいでやっと内科の先生が診てくれたんです。そこでいつも飲んでる薬、メルカゾールのことを伝えたら、先生がもしかししたら薬の副作用からなる無顆粒球症ではないかと」

またしても入院。しかも無菌室に1週間も。そこで先生からはメルカゾールなどの甲状腺機能亢進症の薬はしばらく飲むのをやめるように言われました。

「退院してから1カ月は薬をやめて調子が戻っていました。それで病院に行ったら、メルカゾールは合わなかったの別の薬、プロパゾールというのを処方されたんです。そしたらまた、飲み始めて1週間くらいすると動悸や発熱がずっと続きました」

また無顆粒球症になって倒れるんじゃないか、そうになったら命すら危ぶまれるのではと不安な日々を送っていた木村さん。そんなときに、彼女のお姉さん

が知人からSODのことを聞き、試しに飲んでみたらどうかと勧めてくれたのです。実は木村さん、SODのことは以前から美容院にパンフレットなどを送ってもらっていて名前は知っていましたが、しかし、何がどう良いのかも分からなかったそうです。よく中身まで読んでいなかったのです。

「勧められて初めて資料を読んだら、副作用がないというのが書かれていて、これは何だか良さそうだと。でも、こういうのは何でも良く書いてあるからと半信半疑でした。ただ、あまりにもしんどくて、薬にもすがらないで騙されたと思って飲み始めました」

1日に4包、欠かさず飲み始めて1カ月。

「なんか最近、体が軽くなったな、発熱もないし、あれっ?と気付いたのが1カ月くらいしてからだったと思います。これは確実にSODが効いているんだと実感しましたね。もうそこからはどんどん体調が良くなって、副作用がまったくなくなりました。おまけに甲状腺機能の数値

も平常になっていて、驚くやらうれしいやら。あと、動かなかった右目も動くようになったんです。SODってすごいですよね」

今もプロバジールは飲んでいる木村さん。しかし、もう、副作用の不安はありません。もちろんSODは欠かさず4包ずつ飲んでいくとか。

「おかげで毎日元気に美容師の仕事をしています。本当にSODに出会えて幸せです。ありがとうございます。」

はじけるような喜びの声を聞かせていただき、こちらこそうれしくなります。それにしても大変な思いをされた10年間でした。

お嬢さんは長年の便秘と痔がすっきり

そして木村家にはもう一人、SODを愛飲されているお嬢さん、美樹さんがいます。彼女からもそのきっかけや抱えていた問題を聞いてみました。

「私の場合、深刻な便秘ですね。子どもの頃からずっとですから、20年抱えていた悩みでした。3、

4日便通がないのは普通で、1週間ないこともしょっちゅうだったんです」

女性に多い悩みの一つがこの便秘です。女性はホルモンの関係上、男性よりも便秘がちになりやすいそうです。ストレスや立ちっぱなしの仕事などからも便秘になります。また、運動不足や野菜、食物繊維不足なども原因の一つです。

「できる限り食物繊維のある野菜を食べるようにしていたし、水も多めに飲んでいたので一向に良くなりなくて、そのせいか肌にはいつも吹き出物が出ていました」

そんな中、美樹さんが美容師として働き始めた20歳のときでした。

「働き始めたら痔になったんです。一つ一つとイボのような痔が出ては引っこ込みの繰り返し。立ち仕事ですから、出ているときはズキズキ痛んで、そのせいで気が散るんです。いよいよ我慢できなくて仕事にならなくて、去年の秋に手術をしました」

美樹さんが痔をどんどん悪化させているとき、ちょうどお母様の祥子さんは甲状腺機能亢進

症の副作用で大変なときでした。

「母は本当に大変そうでした。そんな母がSODを飲み始めてからすく元気になったものですが、これって、便秘にも良いんじゃないかと思ひ飲み始めたのが去年の6月でした。そうしたらいきなり便通が良くなったんです。軟らかくてスルツと出るんです(笑)。こんなにスムーズな便通なんて物心ついたときから体験したことがないくらい。うれしかったですね。今では毎日この調子です。食間と寝る前に飲むと効果的です」

気付くと肌の調子も良くなり、いつも出ていた吹き出物もすっかり影をひそめたそうです。

「吹き出物のせいで鼻の周りや額があざのように黒ずんでいたんですが、SODを飲み始めてからその黒ずみが薄くなったんです。もうほとんどないくらいに明るくなって、すっぴん自慢できそうです(笑)」

SODで肌のシミや吹き出物が消えたという話は、本当によく耳にします。血の巡りが良くなり、紫外線や排気ガスなどで生まれる活性酸素が除去されて、おのずと肌がきれいになるのでしょう。



Case6

乳がん、子宮筋腫、悪性リンパ腫… 数々の病魔に打ち勝った人生

北島静子さん
神奈川県
(75歳)

モデルとして活躍中に突然乳がんが襲う

北島静子さんは病歴だけを拝見していると、よく75歳まで元気であられたなと驚くばかりです。その病歴は、乳がん、子宮の病気、悪性リンパ腫、そして現在も股関節の軟骨損傷による手術でリハビリ中。しかし、そのお声はお元気そのもの。しかも若々しい。理路整然と分かりやすく病状の説明をしてくださって、お歳を確かめたくらいでした。その理由はすぐに判明しました。なんと、北島さんはその昔、雑誌などの第一線でファッションモデルをされていたのです。そして今は宝飾デザイナーとして現役でいらっしやるとのこと。

「SODとはもっかれこれ20年もの付き合いになりますね。懇

意にしていたインポートものを扱っていたお洋服店の方から勧められたのがきっかけでした。というのも私、元氣そうに見えるいろいろな大きな病気をしていたんです。もともとアレルギー体質もあり、そんな私の話を聞いて良い健康食品があるわよと勧めていただいたんです。丹羽先生の本などを拝見するにつれ、理にかなった本物だと思いました」

北島さんがSODを飲むようになったのは20年ほど前、50歳過ぎでした。しかしその前に彼女はがんなどで何度も手術を受けていました。

最初の手術は、37歳のとき。乳がんでした。左の乳房全摘出の手術を受けなければならぬということですし、がん悩まれたと思います。というのも当時、モデルとして活躍されていたの

ですから、乳房摘出手術はモデル廃業を意味する選択でした。しかし、命には代えられません。手術に踏み切ったのでした。ところが、その手術がとんでもないこと。

「乳がんの手術自体は成功だったのですが、手術のときに空気中の菌が肋骨に付着したんです。というのも、当時の病院は今ほど厳密に殺菌されていなかったんです。目に見える場所の殺菌にいったいはいっぱいで、エアコンのダストまでは殺菌されていなかった。そんな中で冬の朝一番に手術が始まり、手術室に入っただけで暖房をつけたんです。そのときに空気中にエアコンのダストに付いていた細菌が飛散したんですね。その細菌が手術で胸の皮をはいであらわになっただけの肩甲骨や肋骨に付着したというわけです」

乳がんの手術は成功し、そのときは細菌が北島さんの体内に入っているなんて誰も思いもかけなかったと言います。そうして1ヵ月後、手術後はきれいに治まり、これでひと安心と思っていたら、突然、肩甲骨のあたりが腫れ、高熱を発し、尋常ではない状態になったのです。

「病院で診ていただいたら、骨に異常がみられるのですぐに手術だ。そして手術をしたら、肩甲骨の下の肋骨が一本、雑菌で腐っていたんです。骨を切り取るという大手術でした」

40年前の出来事でした。この頃の日本は高度経済成長の真っただ中。ハード面が先行し、安全などのソフト面が遅れていた時代だったのかもしれない。北島さんの手術のように今では考えられないような事故がたくさんあったはず。本当に日

本の医療が近代化されたのは90年代に入ってからのことかもしれません。

宝飾デザイナーに 転身後も何度も病魔に 侵される

北島さんは2度の大きな手術を乗り越えたのでした。モデルを引退したものの、
「体調が戻った39歳のときに今度は宝石などのデザインをする会社を立ち上げたんです」

都心にオフィスを構え、自宅のある神奈川県湘南から毎日電車で通勤していたとか。しかし、取り戻した健康もそう長くは続きませんが、「がんは決して完治はしない。がん体質なのだから、日々、ストレスのないゆったりとした規則正しい生活と肉・乳製品を控えた食事が大事だ」と。北島さんはまだ40代になったばかりでし、仕事に燃えていましたからなかなかそんな生活は送れません。案の定、

「42歳のとき、今度は悪性の子宮

筋腫、つまり子宮がんの一步手前の状態だったんです。このままではがんになるというので子宮と卵巣を摘出しました」

それでも仕事は辞めなかった北島さん。宝飾品の買い付けなどで年に数回は海外に出かけ、ヨーロッパを飛び回っていたそうです。病気だからといって旺盛な好奇心は抑えられるものではないようです。そんな彼女を支えるようになったのがSODでした。

「子宮摘出の後から飲み始めました。このSODが素晴らしいものですから、おかげで無理をしても疲れにくく、ついついまた無理をしてしまうんです。高いヒールを履いて駅の階段を上り下りしても、まったく苦にならなくなりました。更年期さえも感じないままに乗り越えていましたね」

SODの効果、幸か不幸か北島さんをさらに仕事人間にしてみました。モデル時代に培われた北島さんのセンスは多くの人を魅了し、仕事は順調そのものでした。オフィスに泊まり込みでの徹夜作業もしばしば。さらに今日はイタリア、

明日はニューヨークと世界中を飛び回り、一息つく間もない忙しさでした。そんな生活が10年あまり続いたある日のことでした。

「なんか口の中に唾液がすぐく溜まるんです。そのうちに左の首の後ろのリンパが腫れてきて、これはおかしいなと。それで検査してもらったら、やっぱり、今度は悪性リンパ腫でした。先生のお話を伺ったり、いろいろ調べたりしますと、抗がん剤などの化学療法しなく、5年以上の長期生存率が30%くらいだと知り、さすがに今度は難しいかなと思っただけです。でも、私にはSODがあると思うと頑張れそうに気がしたんです」

そうして北島さんは入院して悪性リンパ腫の抗がん剤治療に入りました。9年前、65歳のときでした。

「そのときは、ああ、またきたかと。はい、いらっしやい。私にはSODもあるし、大丈夫。仕事に夢中になりすぎたのですから、自業自得だなと。決して怖くはなかったです。病は気持ち

通常は4包飲んでたSODをこのときは朝昼晩に10包ずつ飲みましたね。1日に30包。抗がん剤は、当時まだ日本では認可されていなかったリツキサン(悪性リンパ腫の抗がん剤)を処方していただいたんです。私の治療のちょうど1カ月後に認可されたんですよ。私のときはまだだったので保険が効かなくて1本30万円くらいしました。高かったですね。それを6本投与しました」

この抗がん剤は、吐き気で食欲が落ちたり、白血球が急に減って体がだるく、熱が出たりする副作用がみられます。
「それが私にはまったくなかったんです。入院していた病棟のフロアは同じ病気の方ばかりで、お隣の病室から吐かれていたりや苦しんでいる声がひんぱんに聞こえてくるんです。なのに私は逆に食欲が出て、先生方がびっくりされていました。しかも白血球の数値も落ちなかったんです。ですから入院中にどこそこのケーキが食べたい、おはぎが食べたい、あそこのパン屋のパンが美味しいから買いに行っ

くる、なんて言うてましたね。こんな入院患者いませんよね(笑)」

いやはや入院されても北島さんらしい闘病風景です。自宅療養中にもイタリアに買い付けに行かれたそう、恐れ入ります。SODとこの前向きな姿勢が病を蹴散らした一因でしょう。

「SODの話を先生にしましたら、ご存知なくて成分などパッケージの表示をメモされていましたから、丹羽先生の本を読まれると分かるかもしれないですよ、とお教えしました。それくらい先生方が驚かれたんです。私のデータは珍しい症例として論文に載ったくらいですから、これもすべてはSODと丹羽先生のおかげです」

そうおっしゃる北島さんはこの病気を機によくやく都心のオフィスを引き払いました。お仕事を辞めたわけではなく、オフィスをご自宅に移しただけ。通勤のストレスをなくして今もデザインのお仕事をされています。
「ただ、3カ月前に左足の股関節の軟骨がすり減りまして、手術したんです。今はリハビリ中で

す。でも、SODのおかげで術後の回復が驚くほど早く、またしても先生方を驚かしています(笑)。今も2カ月に一度、血液検査に行くのですが、そこでも血液がさらさらでパーフェクトだそうで、どうしたらこんなに完璧な血液になるんですか?、教えてください、と言われるんですよ」

お孫さんの「アート」も 劇的に改善

北島式SODの活用法は、通常は1日に4、5包で、疲れたなと思ったら7、8包、そして風邪をひきそうになったら10包飲むそうです。

そうして北島家ではお嬢さんとお孫さんもSODを愛用されています。

「孫が私と似ていてアレルギーがあるんです。アトピーで皮膚科に通っていたんですが、ステロイドを塗った後の肌が白く薄くなったんです。それで病院にそのことを相談したら、日焼け止めクリームを塗ってから日焼けしてください、と言われて。そ

れてあんまりですよ。娘が悩んでいたのがSODを勧めました。孫は最初、まずいから嫌だと言っていたのですが、ジュースに混ぜて飲むようになってから肌がどんどん治ってきたんです。それまではサメ肌でガサガサしていたのに、つるつる。一緒に飲み始めた娘の肌まできれいになったと言っています」

お嬢さんも北島さんと同じモデルの道を歩まれているとか。モデルさんに肌のトラブルは大敵。ちよっと荒れが気になるだけでも、SODを飲むと翌日つるつるになるので手放せないそうです。

北島さんの輝かしい人生に寄り添うようにいつも病がありました。数々の大きな手術をひょうひょうと乗り越えてこられた北島さん。

「私にはSODという戦友がいまから。もう、病院は必要ない、SODの量を調節すれば良いと確信しました。今もリハビリ中で大変なのですが、何としてでも、もう一度パンプスを履いて、自分の足で都心にお買い物に行きたいんです」

かっこいいというのは北島さんのような女性のことを言うのでしょうか。生き方、心意気すべてがかっこいいです。



高血圧と貧血がすっかり解消 病気知らずの健康体に

中条朋美さん
神奈川県
(44歳)

母が膠原病に 自分にも発症の おそれが：

都心から電車で1時間。比較的新しいマンションや一戸建てが建ち並び、住民のほとんどがお子さんを持つファミリー世帯という環境にお住まいの中条朋美さん。この中条家もご主人と小学生のお嬢さん2人の4人家族。上のお姉ちゃんは新体操、下の妹ちゃんは水泳が大好き。ご主人も週に3回はスポーツクラブに通う健康一家です。

しかし、朋美さんには不安なことがありました。それは、彼女のお母様の健康がすぐれないこと。今は関西の実家でお父様との二人暮らしをしています。

「母は昔から身体が弱かったんです。食べ物の好き嫌いが多く小食で、しょっちゅう寝込んで

いたのを覚えています。そんなこともあってか40歳を過ぎてから関節炎のような症状を訴え始めたんです。その頃はリウマチじゃないかとお医者さんもおっしゃっていて、たぶん痛み止めの薬をもらっていたと思います」

ちょうど朋美さんが高校生から大学生にかけての時期と重なり、母親のことよりも自分のことではいっばいだったと言います。思春期の女の子ですから、おしゃれや好きなタレント、進学や就職、恋などはいっばいなのもうなずけます。

「入院するほどのことではないし、またいつもの具合が悪いの延長線だと思っていましたから。私も大学で名古屋のほうに出て、その後、東京ですから母の状態をほとんど知らずに過ごしてきたんですね。ところが、そんな母の病気が膠原病という

難病だと知ったのは30歳になってからだっと思えます」

朋美さんにとって膠原病というのは、これまでまったく耳にしたことのない病気でした。ですから最初は、高原病だと思っていたとか。空気が薄くなると呼吸が困難になる高山病の親戚くらいに思ったそうです。しかし、実家に帰ったとき、

「母の手足の指が内側に曲がっていて、戻らないのを見て驚きました」

そのときに初めて、膠原病という病気に向き合ったそうです。

「いろいろ調べました。調べれば調べるほど、難しい病気なんだってことを知りましたね。それに、治りにくいことも。また、お医者さんから遺伝の可能性もあると言われ、急に不安になりましたね」

というのも朋美さんは結婚を

骨がポロポロになったんです。つい先日椅子から立ちとうとしただけで骨折して入院しました。多分、もう家には帰れないんじゃないでしょうか。逆に、帰らないほうが安全ですよ。また何かで骨折したら大変ですから」

血圧と貧血が 薬なしで改善した

そんな中、40歳を過ぎた朋美さんにも変化が訪れました。

「ずっと血圧は高めで、これは母からの遺伝ですが、40歳過ぎてから検診で引っ掛かるようになって、降圧剤を勧められたんです。と同時に貧血もひどくなり、週に一回は寝込むようになってきました。来だな、と思いました。どんどん不安になって、寝違えただけでも関節がおかしいかもしれないと被害妄想になっていました」

そんなときママ友のひとり、息子さんがアトピーで新横浜の診療所にも通っていたという方から、副作用がなくて自己免疫力を高めるからと勧められたのがSODでした。

「お話を聞いてみると確かに良いものなんだとは思ったんですが、健康維持には良いかもしれないけど、現実には悪いところが出ていたので、これはやはり病院に行ったほうが良いと思ったんです。病院に行ったら、更年期でホルモンのバランスが崩れやすいから仕方ないんだと言われました。たったの5分の診療で、降圧剤と鉄分補給の薬と、胃薬を出されて、これじゃ何も改善しないと思いましたが」

そこで試しにSODを飲んでみることを思い立ちました。最初は多めにと言われ、1日4包ずつ飲み、ちょうど1カ月で一箱がなくなるところでふと気付いたことがありました。

「1週間、肌荒れがひどく、吹き出物も多かったんです。ところが1カ月して、肌がしっとりしてきたんです。もちろん、吹き出物もまったく出なくなっていて、あれ？と思っちゃった」

しかし、これがSODの効果だとは分からなかった朋美さん。「SODを飲み始めて1カ月後、病院で血圧を測ってもらったんです。そうしたら平常値に戻っ

ていたんです。もうびっくり。

病院の先生は薬のおかげだと思っと思っていますし、これからもしばらくは飲み続けるように言われましたが、私、病院の薬なんか一粒も飲んでいなかったんです。おまけに貧血も忘れていたくらいなくなって、うれしかったですね。慌ててSODを買いました。これからは一生、SODをお願いします。ここ10年くらいずっと不安だった胸のつかえが取れました」

さっそうご実家のお母様にもSODを送られたそうです。

「もう、何も怖くないって感じですよ。秋には子どもたちの運動会。父母として私も競技に参加して走ってきます。なんか活力がよみがえってきたみたいです」

病は気からともいいます。SODで不安のものがなくなり、身体はどんどん自己治癒力をアップさせてくれるはずですよ。



控えていたからです。もしも子どもができたとき、膠原病が遺伝するのでは。その前に自分が遺伝で発症する可能性がある。これまで大きな病気もなく過ごしてきた健康というものが根底から揺らぎ始めました。

「毎回、大量のお薬を処方されている母を見て、大丈夫かなと思えました。ステロイドを中心に、降圧剤、胃薬、骨の薬、痛み止めなど本当にすごいです。副作用もあるだろうから、少し減らせないの？と聞くと、お医者さんがくれるものだから大丈夫の一点張り。昔の人ですから、副作用なんて言っても理解できないんです」

歳々ともにお母様の状態はどんどん悪くなり、10年後には階段の上り下りや、買い物などの外出もできなくなったそうです。「もともと偏食のせいもあって、

74歳で胃がん、脳梗塞を 克服し人生に希望が持てた

井田義男さん
(74歳)
昌子さん
(67歳)
北海道

夫が胃がんに 抗がん剤の副作用を 心配し通院を中止

井田昌子さんとご主人の義男さんはSODの愛飲歴は半年と短いのですが、そのたったの半年という短い期間に、悲喜ごもごも体験をされました。

きっかけは74歳になるご主人が今年の初めに胃がもたれる、食欲がないと言い始め、病院に行ったところ、胃潰瘍と診断されたことでした。

「年齢が年齢ですから、いろいろ具合が悪いところが出てくるのは仕方ないと。主人はほかにも高血圧や喘息の持病があり、咳と痰が出るたびに毎日のように吸入をしておりました。また、すねには湿疹も出てまして、夜中にかきむしることもあります。これらに加えて今度は胃潰瘍。

薬を処方されて飲んでおりまして」

高血圧、喘息、痒み、胃潰瘍、これらすべてに薬が処方されていたと言いますから、毎日、山のような薬を飲まれていたのでしょう。おそらく痒みなどは薬の副作用から出ていたのではないかと思われます。はたしてその薬の成果はどんなものだったのでしょうか。

「それがね、一向に良くならなかつたんです。それで4月にまた再検査したところ、胃潰瘍だと思っていたものが実は胃がんだったことが分かつたんです。もうびっくりでした。お医者さんからはすぐに抗がん剤治療を始めないといけないようなことを言われました。でもねえ…」

実はご主人、3年前に大腸がんになり、そのときに抗がん剤を投与されたそうです。

「あのとき、抗がん剤で体調を崩し、すっかり食欲をなくしてしまつた経緯があつたんです。吐き気と熱でガリガリに痩せて、このままダメなんじゃないかと思つて大変だつたんです。それで一回の投与で抗がん剤治療は中止したんです」

その後、なぜか大腸がんは小康状態。

「何かの本で読んだんですが、がなかそうでないかつていうのは、お医者さんでもはっきり分かるものじゃないそうです。放つておいても治るときは治るとか。主人の大腸がんもそうだったんじゃないかなつて。ですから、胃がんだと分かつて、抗がん剤を勧められたとき、もう病院に通うのはやめようと思つたんです」

井田さんご夫妻は、このまま

入院して抗がん剤治療をしたら、間違いなく抗がん剤でダメになると思い、別の手だてを探そうと思われたそうです。

「そんなときに、数年前に息子がSODのパフレットをくれたことを思い出したんです。主人が大腸がんになった後でしたから、息子なりにいろいろ調べて、がんには副作用のないSODが良いらしいとパフレットをくれたんです。でも、そのときは調子は悪くなかつたので、すっかり忘れていたんです。それを思い出して取り寄せてみたのが今年の4月でした」

夫が脳梗塞になるも 後遺症もなく 前よりも元気に

さつそくご主人は1日4包飲み始めました。すると1カ月も

経たないうちに胃がんの影がすっかり消えていたそうです。

「それだけじゃないんです。血圧も喘息も安定したんです。ですから降圧剤はもうやめましたし、喘息の吸入も一日おきでよくなりましたよ」

すっかりうれしくなつた昌子さん。これでもう大丈夫とご主人はSODの量を4包から2包に減らし飲んでいました。すると、今度は9月中旬、突然、右手に痺れが走り、めまいに襲われました。病院にかけつけたところ診断は脳梗塞でした。

「そのまま入院でした。歳が歳で

すから、お医者さんも良くなるかどうかは分からない、退院できても後遺症が残る可能性が高いと言われました。ええ、薬もたくさん処方されました。でもね、私、思つたんです。SODは決してほかの薬とは戦わないって。拮抗作用がない、良いものだという確信がありましたから、入院中も先生には内緒で主人にSODを4包ずつ飲ませていました。そうしたら、入院して4日くらいで箸が握れるくらいまで良くなりました。先生も看護師さんもおびっこりしてましたね」

ご主人の入院はたったの2週間でした。10月上旬には退院。後遺症どころか、以前より元氣といつくらい回復しました。

「本当はSODさまさまで。飲んでいなくなつたらひどい後遺症になつていたかもしれない。主人はSODに命を救つていただいたと思つています」

SODの効果はご主人だけではありませんでした。67歳になる奥様の昌子さんにもいくつかわりの変化がありました。実は昌子さん、心臓に疾患を持ち、ペースメーカーを入れていました。

「主人と一緒に私も1日に2包ずつ飲んでいました。ペースメーカーを入れてあるせいで、寝ていると呼吸がつかなくなり、睡眠導入剤を飲まないで寝れなかつたんです。それがSODを飲むようになってから呼吸がすつかり楽になり、どうしてもボラランティアなどで翌朝早く出かける用事がある日以外は、睡眠導入剤の必要がなくなつたんです。おまけに肌が激変しました。潤いが出て、くすみが取れ、いきいきしてきたんです。かかともつるつるになつたし、便秘も解

消されたし、疲れにくくなつたし、もう良いことづくめです」

そんな昌子さん、今ではSOD応援団として兄弟や友人にその良さを伝えていきます。「3歳上の姉にSODを分けてあげたら、飲み始めてすぐに便秘がなくなり、高かつた血圧が平常値になつたらしく、大ファンになり自分で購入していますよ」

SODを皆さんに分けてあげているうちに自分の分がすぐになくなつてしまうのが目下の悩みと朗らかに笑われる昌子さん。その明るく若々しい声は元氣そのものでした。

「こんなにも良いものを知ることができただけでも幸せです。いくら感謝してもきれいなくらいです。下っていくだけだと思つていたこれからの人生に希望が持てるようになりました。もちろん、これからますます続けていきますよ」





末娘のアトピーが良くなったのをきっかけに家族の健康の悩みがすべて解消

三田芽衣さん
愛知県
(40歳)

乳児の末娘がアトピーで全身湿疹だらけに

三田芽衣さんには7歳の長男、3歳の長女、間もなく1歳になる次女の3人のお子さんがいます。育児、家事にと毎日が大忙し。そんな中、1年前の暮れ、末のお嬢さんの全身に赤い湿疹が現れたのです。

「9カ月になったばかりで、急に赤い発疹がブツブツと出てきました。全身でしたから、最初は水疱瘡かなと思って、内科に連れて行きました。しかし、水疱瘡にしては熱もなく、皮膚科の診療を勧められました。その皮膚科で言われたのがアトピー性皮膚炎という診断でした。」

「まだ幼児なので、早めに対処すれば治ると言われてステロイドの塗り薬をいただきました。主人も私も子どもの頃、乾燥肌で

したから遺伝でしょうね。ステロイドも幼児用に弱いものを処方してもらって塗っていました。しかし、発疹は一向に治まらなかつたんです。むしろ、子どもも私も眠れないし大変で、先生に相談したところ薬を強くしてみようと言われました。」

しかし、お嬢さんの湿疹は一向に良くなり、薬はほとんど強くなっていったと言います。さすがにステロイドの危険性は漠然と感じていた芽衣さん。

「これで良いのか怖くなりました。周囲のママ友達も心配して、病院を変えたほうが良いとか、このサプリが良いとか、あの治療法が良いらしいとか、いろんな話が入ってきて、正直、混乱していました。」

そんな中、ママ友達の一人が教えてくれた「良い皮膚科」のことが引掛かりました。そこはス

テロイド一辺倒ではなく、漢方をはじめとする、良いといわれるものをいろいろ取り入れて治療すると聞き、ナチュラル志向の芽衣さんのアンテナが動きました。「実際にその病院に行ったわけではなかったんですが、ネットで病院のホームページを見ていたら、SODのことが掲載されていたんです。丹羽免疫研究所の注目のSOD療法、アレルギーの原因になっている活性酸素を抑えます、と書かれていました。それでSODというのは何だろうと、今度はSODのこと、丹羽先生のことを調べまして、これは良いものだ、本物だと思っ

好転反応の後ステロイドいらずに

もともと健康食品やサプリメント

そうです（は1カ月しても治まらないからそこで判断すると言います。）」

「こちらから分からずに迷ったんです。でもSODを飲み始めてから便の状態がすごく良くなっていったんです。便通も硬くなく、緩くなく、するりと出るし、何よりも匂いが臭くなくなりました。ですから、これは良いものだと肌で感じましたね。」

そうして続けていくうちに2週間くらいで急に症状が好転したのです。

「膿が急にひいてきて、そこからほとんど良くなり、今ではステロイド軟膏もまったく必要なくなりました。保湿クリームを少し塗る程度なんです。」

そんなお嬢さんの状態を見て、三田家はすっかりSODに目覚めました。

「3歳の娘がイボ持だったんです。便が硬く、肛門からいぼが出て、病院にも通っていたんですがなかなか治らなくてかわいそうでした。そこでSODでした。1日1包飲ませたら、まず便が軟らかくなり、肛門から出ていたイボが少しずつ引っ込んで

できたんです。さらに7歳の長男は鼻炎で、花粉の季節は特にひどかったのが軽くなり、私も主人も飲み始めたんですよ。そうしたら、飲んで2、3日で目の下の小ジワが消え、まず最初の効果を実感しました。その後飲み続けて2カ月ですが、今年はひどいと言われた花粉症も、毎年飲んで抗アレルギー剤を飲まなくても済むようになっています。本当、今年は軽かったですね。」

今年はいくつかの中で最高に花粉が舞った年だったのに、軽かったですねとさりととおっしゃる芽衣さん。聞けばご主人も、

「やはり花粉症に悩んでいたのが、今年は軽く済んでいましたね。それと、SODを飲むようになってから、残業続きでも疲れにくくなったと言います。疲れが翌日まで残らないんですよ。あと、家族全員、風邪をひきにくくなりましたね。それまではしょっちゅうひいていたんですよ。子どもや主人が外から帰ってきたら、必ず全員がうつっていたのに、それもなくなりましたね。」

大げさでも何でもなく、このSODは本当に素晴らしいものです。我が家にはなくてはならないものになりました。ですからお友達にもたくさん勧めたいです。お酒が翌日まで残らないとか、疲れなくなったとか、皆さん喜んでくれますよ。」

そんな芽衣さんが健康食品やサプリメントを選ぶときの条件は、

「まず、販売方法が明確なことです。マルチ商法のものには絶対に買いません。次に、今回のように皮膚科の先生が勧めたという確かな情報。この2点なんです。それでSODに出会ったんですから、間違っていないです。」

ントが大好きだったという芽衣さん。ネットの情報を調べ大丈夫と思ったら、あとは迷いなく通販でSODを購入していました。

「1日1包を小分けにしてあげていたら、最初の1週間で赤かった湿疹が治まったんです。ところが1週間後からまた赤い発疹が出てきて、これは好転反応か、悪化しているのか、どちらだろうと」

お子さん、特に幼児に好転反応が出ると、最初は誰でも慌ててSODを飲ませるのをストップしてしまいます。これはお子さんのアトピー性皮膚炎に限らず、大人のアトピーでもあることです。丹羽先生の言われる見分け方としては、好転反応なら1カ月続ければ治まり、SODのアレルギー（原材料の一つ、大豆のアレルギーの方がたまにいる

SOD体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しんでいる方たちが少しでも早く良い治療法に行き当たるように本誌では愛飲者の声を募集しています。
お手数ですが日本SOD研究会 TEL 03-5787-3498までご一報ください。

丹羽先生の診療に関するお問い合わせについてはこちらまで
丹羽メディカル研究所 TEL 0120-731-175

年齢性別	愛飲理由	一日の摂取量	愛飲期間	愛飲後の変化
55歳女性	直腸がん	6~9包	3ヵ月	愛用後、1ヵ月で腹水の量が減った。腹に転移したがんも小さくなり、その後退院。
61歳女性	大腸がん	10包	5ヵ月	術後、抗癌剤の副作用軽減のために摂取開始。極端に減少していた体重がもとに戻った。
52歳女性	肝硬変	3包	5ヵ月	愛用後、2ヵ月で軽減。
48歳女性	慢性胃炎	3包	1ヵ月	レントゲン撮影をすると胃に異常があったが、愛用後の2週間ほどで正常になった。
56歳男性	胃炎	4~6包	48ヵ月	30年前から度々胃炎になり、常備薬を手ばなせなかったが、ここ1年はまったく薬とは縁が切れ、飲む必要がなくなった。
35歳女性	肝臓が弱って体がだるい	4包	5ヵ月	体のだるさがとれ、あまり寝込まなくなった。
63歳男性	便秘	6包	不明	長年の便秘で痔を発症。手術をしても、便秘のために痔を再発。愛用後は、便秘や痔の再発がなくなった。
21歳女性	便秘	3包	不明	長年の便秘で腹部膨満感が強い。愛用後の2週間以降は、便秘薬無しでも快便。
69歳女性	便秘	4包	1ヵ月	大腸ポリープの術後、排便に時間がかかっていたが、摂取後は以前のように正常になり、あの苦しみから解放された。
64歳女性	胃の悪性ポリープ	2包	24ヵ月	2度の手術を受け、SODを1日6包摂取。悪性のポリープが消失した。
65歳女性	慢性胃炎	3包	1ヵ月	愛用後、体のだるさがとれ、肌がツルツルになった。
50歳女性	急性腎炎、皮膚病	6包	2週間	摂取後、2週間で症状が改善。また、40年来の皮膚の痒みや赤みも改善され、もとの肌を取り戻した。
21歳男性	潰瘍性大腸炎	4包	不明	愛用後、主治医も驚くほど症状が改善された。
62歳女性	肝臓機能	5包	24ヵ月	愛用後、肝臓機能の諸症状が改善。
62歳女性	胃、肝臓の不調	9包	2ヵ月	吐き気やだるさなどの症状が改善された。
63歳女性	高血圧、肝臓機能	6包	48ヵ月	若いころから虚弱体質でしたが、SODを飲むようになってから血圧も下がり、肝臓機能の数値もよくなりました。
64歳男性	肝機能不全	6包	8ヵ月	生体肝移植を1年3ヵ月後に行う必要があると言われたが、AST(GOT)38、ALT(GPT)23、アルブミン3.1、ビリルビン2、アンモニア80まで改善。
63歳女性	高血圧	4包	72ヵ月	血圧も下がり、知らず知らずのうちに横になる時間がなくなり、一日中動き回れるようになり、肝臓機能も良くなった。
65歳女性	高血圧	3包	6ヵ月	愛用後、1ヵ月ほどで血圧が正常になり、めまいもなくなり元気になった。
56歳女性	高血圧(乳がんの術後)	3~6包	5ヵ月	3週間で血圧が正常になり、薬を飲まなくても大丈夫と医師に言われた。

様々な疾患から健康維持まで、SOD様作用食品の愛用者の方から多くの声をいただいています。ここではその一部を紹介致します。

年齢性別	愛飲理由	一日の摂取量	愛飲期間	愛飲後の変化
33歳男性	アレルギー性鼻炎 糖尿病	6包	24ヵ月	花粉症がほとんど出なくなった。血糖値も半年ほどで240→130くらいまで下がった。
52歳女性	アレルギー性鼻炎	3包	8ヵ月	毎年病院で注射をうってもらっていたが、愛用後の翌年にはまったく治まった。
51歳女性	アレルギー性皮膚炎	5包	24ヵ月	愛用後、顔・首・腕の痒みが治まり、皮膚炎による赤い湿疹がなくなった。
60歳女性	アレルギー性鼻炎 糖尿病	6包	1ヵ月	左瞼の膨張や花粉症などの症状が、摂取後には改善され、現在では完全に消失。
27歳女性	アレルギー性鼻炎 気管支喘息	2包	36ヵ月	鼻炎、花粉症、喘息、ニキビも出やすく敏感肌だったのが、SODを飲み始めてから病院に行くことがなくなり健康になった。
29歳女性	鼻炎	6包	不明	最初の1ヵ月は6包、今は3包。万年鼻づまりが解消され、便秘もなくなった。
29歳女性	鼻炎	6包	5ヵ月	鼻づまりがひどく、SODを服用したら鼻づまりが改善されただけでなく、便秘も無くなり元気が出た。
45歳女性	鼻炎からの気道狭窄	6包	1ヵ月	摂取後、1ヵ月ほどで症状が改善。その後、摂取を中止したら症状が再発したので摂取を再開。
64歳女性	慢性鼻炎、皮膚炎	2包	60ヵ月	摂取後、一時的にひどくなったが改善。また、肌がとてもきれいになった。
55歳女性	中耳炎	3包	1ヵ月	30年来の中耳炎だが耳垂れがなくなり、乾燥してだいぶ良くなった。
46歳女性	喘息	3包	不明	数年前から軽度の気管支喘息で、夜間に身体が温まると発症。愛用後、3週間ほどで症状が軽減された。
83歳男性	喘息	不明	6ヵ月	喘息でSODを1ヵ月ほど服用したら大変楽になったので、今は病院の薬をやめてSODだけを服用している。
69歳男性	慢性気管支拡張症	3~6包	4ヵ月	愛用後、熱が出なくなり風邪もひかなくなった。
58歳男性	肺がんの術後	3包	10ヵ月	摂取後は、疲労感もあまりなく風邪もひかなくなった。
35歳女性	B型肝炎(10年以上)	6包	2ヵ月	摂取後、顔のくすみもとれて元気になった。
62歳女性	C型肝炎	3包	1ヵ月	ALT(GPT)が110→85と改善された。
62歳女性	C型肝炎による肺機能低下	3包	4ヵ月	ALT(GPT)が110→85→80→76と1ヵ月経つごとに改善。また、改善されたことによりこれまでの治療がなくなった。
60歳男性	C型肝炎	6~21包	2ヵ月	AST(GOT)168→50、ALT(GPT)860→122、γ-GTP70→68
63歳女性	C型肝炎、便秘 自律神経失調症	2包	2ヵ月	便秘が解消され、顔色も良くなり、身体が軽くなった。
44歳女性	急性肝炎	2~3包	9ヵ月	愛用後は肝臓機能も良好。また、手の皮のポロポロもきれいになった。

様々な疾患から健康維持まで、SOD様作用食品の愛用者の方から多くの声をいただいています。ここではその一部を紹介致します。

年齢性別	愛飲理由	一日の摂取量	愛飲期間	愛飲後の変化
26歳女性	メニエール病	2~6包	60ヵ月	同じ病気の方がSODで良くなったことを知り摂取。症状も改善され、現在は男の子を出産して母子ともに元気に。
43歳女性	メニエール病 花粉症	9包	2ヵ月	病院の薬と併用しながら飲んだところ、いつの間にか良くなった。花粉症の症状も出なくなった。TXも併用。
69歳女性	パーキンソン病	6包	3ヵ月	愛用後、身体の動きが楽に軽くなった。
87歳女性	認知症	2包	12ヵ月	認知症で困るほどだったが、愛用後にはみるみる改善した。
59歳女性	頻尿からの不眠	4包	1週間	愛用後、トイレの回数が減り、夜はよく眠れるようになった。
60歳男性	前立腺肥大症	6~21包	2ヵ月	重度・痛みあり→痛みは軽減。腫れは残る。
45歳女性	子宮体がん	10包	1ヵ月	診断後に愛用を開始。2度、3度と検査を重ねる度に、クラス5→3Aと細胞が正常値になった。
28歳女性	子宮内膜症 虚弱体質	2包	不明	虚弱で寝込むことが多かったが、SOD愛飲後は主婦としての日常生活が過ごせるようになり、生理痛も楽になった。
53歳女性	更年期障害	6包	不明	2年前から上半身の熱感と、下半身の冷感。愛用後2週間で上半身の症状がほぼ消失。
48歳女性	更年期障害	5~6包	18ヵ月	愛用後、脱毛、発汗、イライラ、疲れなどの症状が緩和されてきた。
55歳女性	更年期障害	2~3包	24ヵ月	愛用後、発汗や手のしびれ、疲れやすいなどの症状が改善。毎日便通もあるようになった。
38歳女性	乳がん術後	3包	不明	乳がん手術後の不定愁訴。術後1年ほど愛用した現在は、1日6時間の仕事でも疲労感や倦怠感を感じない。
42歳女性	乳がん術後	6包	3ヵ月	再発防止のために摂取。術後3ヵ月ほど愛用した現在は、胃腸の調子も良く、肌も白くなってきた。
56歳女性	乳癌	9包	2ヵ月	手術の1ヵ月前から飲み始め、術後の経過も放射線のダメージも少なく、薬も飲んでいない。長年悩んでいた水虫も改善された。
56歳女性	皮膚病	2包	6ヵ月	体中の痒みで全身にかいたあとが残り、秋から冬にかけて特にひどかったが、SODとTXできれいになった。
37歳女性	湿疹	3~6包	1ヵ月	長期間患っていた頭部の湿疹が、愛用後にはきれいになった。
64歳女性	湿疹	6包	3週間	摂取後、全身の湿疹がかなり改善された。
76歳男性	湿疹	3~4包	1ヵ月	愛用後、湿疹がうすれ、痒みも楽になった。
6ヵ月男児	乳幼児湿疹	1包	3日	摂取後、片方の額や頬の痒みが改善された。
31歳女性	アレルギー症状	3包	3週間	摂取前より、症状の出具合が改善された。

様々な疾患から健康維持まで、SOD様作用食品の愛用者の方から多くの声をいただいています。ここではその一部を紹介致します。

年齢性別	愛飲理由	一日の摂取量	愛飲期間	愛飲後の変化
59歳男性	高血圧	2~3包	2ヵ月	2週間で血圧が正常になった。
36歳男性	高血圧	9包	1ヵ月	血圧160/110が愛用後には、2週間で110/70まで下がった。
55歳男性	高血圧	3包	1ヵ月	血圧150/110が、130/80まで下がった。犬に飲ませたら喘息が治まった。
45歳女性	高血圧	3包	2週間	血圧150/110が、130/80まで下がった。
78歳女性	高血圧	3包	1ヵ月	少々高かった血圧が、愛用後には1ヵ月ほどで140/78に落ち着いた。
51歳男性	高血圧	3~5包	1ヵ月	摂取後、1ヵ月ほどで最低血圧94mmHgが、90mmHgを切るようになった。
56歳女性	高血圧、肝機能障害	2包	1.5ヵ月	γ-GTPも中性脂肪も正常値になった。血圧降下剤も1番軽いものになり、2日に1度飲めば大丈夫と主治医に言われた。
51歳女性	高血圧、花粉症	3包	20日	血圧が10くらい下がり、肩こりもあまり気にならなくなった。4~5年前からの花粉症も、現在は症状が軽減された。
71歳女性	高血圧、湿疹、霜焼け	6包	6ヵ月	高血圧で夏場は全身に湿疹ができ、冬場は手足にしもやげが出来る等の症状があったがすべて改善された。
51歳女性	バセドウ病	3~4包	24ヵ月	体調を崩して甲状腺機能亢進症とわかり、治療薬の副作用で苦しんでいるときにSODを知り摂取。数値も安定して元気になった。
67歳女性	甲状腺腫瘍(良性)	5包	12ヵ月	かなり大きな甲状腺腫瘍ができたが、SODを取り続けて1ヵ月後には腫瘍がかなり小さくなった。病院での検査結果も異常なし。
68歳女性	糖尿病	12包	36ヵ月	毎日SOD12包とアガリクス6包を摂取。糖尿病もすっかり完治し、インスリンも薬も不要になった。
63歳女性	糖尿病	6包	6ヵ月	愛用後、血糖値285、グリコヘモグロビン9.8の値が下がった。また、めまい等の症状も改善。
75歳男性	糖尿病	6包	1ヵ月	40年来の症状が、摂取後には1ヵ月で血糖値200→150、HbA1c9.5→7.9に下がった。
64歳女性	糖尿病	6包	1ヵ月	10年来の糖尿病が改善され、血糖値266が104まで低下。また、白内障も良くなり、足の痛みも改善。
53歳女性	不整脈	4包	2ヵ月	愛用後、不整脈が治まった。また、持病の腰痛も以前より改善された。
28歳男性	自律神経失調症	3包	1ヵ月	愛用後、身体の調子が良くなってきた。
44歳男性	躁鬱病、アトピー	1~2包	18ヵ月	うつ状態がひどくなりSODを摂取。半年ほど経つと、だいぶ良くなる。子供のアレルギーやアトピーがとてもひどかったが、飲み始めるとみるみる改善された。
不明男性	脳梗塞の後遺症	5~6包	5ヵ月	脳梗塞で右半身が不自由になり歩行が出来なくなったが、SODを飲んで歩けるようになり退院できた。
58歳男性	一過性脳虚血発作	4包	2ヵ月	摂取後、症状が落ち着いてきた。

様々な疾患から健康維持まで、SOD様作用食品の愛用者の方から多くの声をいただいています。ここではその一部を紹介致します。

年齢性別	愛飲理由	一日の摂取量	愛飲期間	愛飲後の変化
17歳女性	アトピー性皮膚炎	3包	不明	中学時代から悪化した症状が、愛用後には少しずつ良くなり、現在では薬を必要としなくなるまでに改善された。
25歳女性	アトピー性皮膚炎	1~2包	12ヵ月	摂取後はすぐに症状が悪化し、ひどい便秘に。その後は症状も改善され、冷え性の足の血行も良くなる。
62歳女性	アトピー性皮膚炎	6包	1ヵ月	愛用後、痒みと全体の湿疹がなくなり、薬をやめることができました。
14歳女性	アトピー性皮膚炎	9包	6ヵ月	ステロイドの塗り薬、抗アレルギー剤、抗ヒスタミン剤等がまったく必要無くなり、SODと保湿だけで十分な状態になった。
64歳男性	アトピー性皮膚炎	3包	不明	丹羽先生に診ていただいてから、しばらくしてひどくなりましたが、ひどい時は6包飲むと良いと言われ、続けたら快方に向かった。
16歳男性	アトピー性皮膚炎	4包	2週間	土佐清水病院に入院し、おどろくほどきれいになった。
31歳女性	アトピー性皮膚炎	4包	1ヵ月半	幼少の頃から夜も眠れない生活を送っていたのが良くなってきた。
4歳女児	アトピー性皮膚炎	1包	2ヵ月	SODと軟こう、ルイボスティで愛飲3日目から眠れるようになり、今では痒みはほとんどなくなった。
76歳男性	アトピー性皮膚炎	5~6包	1ヵ月	90%完治したので、今では夫婦で健康維持のために飲み続けている。
27歳女性	アトピー性皮膚炎	3包	18ヵ月	夜も眠れないくらいひどい痒みが、うそのようになくなった。
75歳女性	アトピー性皮膚炎	3包	不明	医者にこれ以上治せないといわれたアトピーが、愛飲後4日目くらいから痒みが取れ、すっかり体質改善できた。
26歳女性	アトピー性皮膚炎	不明	12ヵ月	愛飲後、首に痒みが少し残っているものの、以前とは比較にならないくらい改善され、会う人から肌がきれいになったと言われる。
27歳女性	アレルギー性鼻炎 気管支喘息	2包	36ヵ月	普段は1包、花粉の季節は2包ずつ飲んでいたら、病院に行くこともなくなり、今では健康維持のために家族全員で愛飲している。
27歳女性	膠原病	3包	3ヵ月	愛用後、1ヵ月ほどで仕事を休まず行けるようになり、元気になって性格も明るくなった。
43歳女性	膠原病	6包	2ヵ月	愛用後、2週間ほどで利尿剤を飲まなくても尿が出るようになった。
30歳女性	膠原病	3包	1ヵ月	入院を勧められるほどの症状が現れていたが、愛用後には寝込むこともなく、疲れもたまず、良くなっているような気がする。
63歳女性	膠原病(強皮症)	2包	不明	常にゴム手袋を使用していたが、肌のカサカサが無くなり、リウマチの友人も指のカサカサがなくなった。
43歳女性	膠原病	9包	1ヵ月	抗核抗体の数値が一気に下がり、正常値まであともう少しというところまでいった。
65歳女性	膠原病(強皮症)	不明	不明	膠原病(強皮症)で血流が悪かった。SODを服用してからは、ゴム手袋なしでも雑巾が握れるようになった。
60歳女性	強皮症	3~6包	3週間	愛用後は症状も回復し、元気に働いている。

様々な疾患から健康維持まで、SOD様作用食品の愛用者の方から多くの声をいただいています。ここではその一部を紹介致します。

年齢性別	愛飲理由	一日の摂取量	愛飲期間	愛飲後の変化
10歳男児	アレルギー性結膜炎	4包	8ヵ月	摂取後、8ヵ月で治癒。
73歳女性	アレルギー	3~4包	48ヵ月	愛用後、肌のつやも良くなり、唇もピンク色になった。
6歳愛犬	皮膚アレルギー	2包	3週間	摂取後、3週間ほどは耳垂れがひどくなったが、その後、外耳炎やアゴなどのただれが改善され、現在ではほぼ完治した。
56歳女性	花粉症	2~3包	不明	何十年も花粉症で悩んでいたのに、病院での治療が必要なくなった。くしゃみや鼻水は多少あるが、例年よりはるかに良い。
30歳女性	花粉症	3包	8ヵ月	愛用後、翌年の花粉症はほとんど出なくなった。
46歳女性	花粉症	3包	8ヵ月	愛用後、5~6ヵ月で体に湿疹が出たが、翌年の花粉症が治まった。
46歳女性	花粉症	6包	不明	症状がきつい日には、1日15包に増量して摂取したところ、症状がほぼ消失。
25歳女性	花粉症	1.5包	24ヵ月	愛用後は、翌年の花粉症はほとんど出なかった。風邪もひかなくなり、ストレスによる肌荒れも改善された。
11ヶ月乳幼児	アトピー性皮膚炎	1包	12ヵ月	飲み始めて1ヵ月後位は好転反応で一時期ひどくなったが、2ヵ月後にはステロイド軟こうも効かなかった湿疹が保湿のみで薬が不要になった。
32歳男性	幼少時よりアトピー性皮膚炎	3~5包	1ヵ月	愛用後、1週間ほどで痒みがひどくなり、それが2週間ほど続いたが、その後は痒みも治まり以前より軽減された。
19歳男性	5年前よりアトピー性皮膚炎	5包	3ヵ月	愛用後、1ヵ月ほどで全身に湿疹が出たが、その後は軽減し、見た目にもあまり分からなくなった。
30歳女性	7年前よりアトピー性皮膚炎	5~10包	5ヵ月	愛用後、1ヵ月ほどで顔のむくみもとれすっきりした。
45歳女性	アトピー性皮膚炎	2~3包	10ヵ月	愛用後、3日で手の腫れがひいた。また、2ヵ月で顔の腫れがひき、全身の湿疹も目立たなくなった。
21歳女性	アトピー性皮膚炎	6包	12ヵ月	愛用後、1ヵ月位は体中の湿疹がひどくなったが、その後は湿疹も治まり、見た目にも分からなくなった。
45歳女性	アトピー性皮膚炎	6包	36ヵ月	愛用後は症状がすっかり良くなった。玄米菜食主義だが摂取をやめると調子が良くないのでやめられない。
25歳女性	アトピー性皮膚炎	2包	12ヵ月	顔と身体全体に炎症があったが、抗炎症剤で炎症を抑えたあと、SODを摂り続けると、再度ひどくなることはなくなった。
19歳女性	アトピー性皮膚炎	3包	不明	1年間休学するほどにひどかった症状が、愛用後の数ヵ月で改善した。
19歳男性	アトピー性皮膚炎	3~4包	1週間	摂取後は目の回りの腫れがひき、赤黒い皮膚の色も自然な色に戻ってきた。
28歳女性	アトピー性皮膚炎	3包	12ヵ月	すぐには変化が見られなかったが、1年ほど摂取を続けると症状が改善し、塗布も不要になった。
1歳男児	アトピー性皮膚炎	2包	2ヵ月	愛用後、一時的に皮膚のカサカサがひどくなったが、まもなく症状が改善し、肌の痒みかと夜間もかかなくなった。

様々な疾患から健康維持まで、SOD様作用食品の愛用者の方から多くの声をいただいています。ここではその一部を紹介致します。

年齢性別	愛飲理由	一日の摂取量	愛飲期間	愛飲後の変化
42歳女性	シミ	3包	5ヵ月	愛飲後、1週間ほどで肌がツルツルになり、2ヵ月ほど経つとシミも薄くなった。
50歳女性	シミ	2~3包	10ヵ月	顔の大きなシミが散って、その後はだいぶ薄くなった。小さなシミは消えた。
48歳女性	シミ	6包	4ヵ月	愛用後、2週間ほどで肌の潤いが違ってきた。2ヵ月ほどで目立つシミが薄くなった。
36歳女性	シミ	3包	不明	顔のシミが目立つため愛用。1ヵ月後にはシミがかなり消失。
59歳女性	シミ	4包	5ヵ月	化粧品では隠せなかったシミが、摂取後に一つ消失。残りも薄くなった。
33歳女性	シミ	2包	3ヵ月	愛用後、ストレスからできていたシミが少し薄くなった。
24歳女性	ニキビ	3包	3ヵ月	摂取後、すぐに便秘になり吹出物がでたが、その後は1ヵ月ほどでアゴの周りのニキビがきれいに消え、ニキビあとのデコボコも無くなり肌がツルンとした。
41歳女性	美容	4包	1ヵ月	愛用後、お化粧のノリが良くなってきた。また、赤斑が少し改善された。
42歳女性	美容	3包	18ヵ月	愛用後、ザラザラしていた肌がスベスベしてきた。また白髪もなくなった。
61歳女性	健康維持	2包	24ヵ月	服用し始めは、一時的に湿疹のようなものが出た。その後、湿疹は消え、頭痛持ちで薬が手放せなかったが、薬が不要になり便通も快適になった。
60歳女性	健康維持	3包	24ヵ月	癌の術後、健康維持の目的で摂取。また、長年大変な便秘症で下剤を必要としていたが、一切不要になった。
60歳女性	健康維持	3~4包	12ヵ月	愛用して1年。肌の状態は水分・油分共に申し分なして肌がツルツルになった。また、主人は血糖値を正常に維持している。
36歳女性	健康維持	3包	2ヵ月	採血検査をしたところ、総コレステロール値が低下。飲んでた薬をやめることができた。
63歳女性	健康維持	2~3包	5ヵ月	便通もよく、背中にあった5円玉位の痒い箇所が今では治り、顔の肌もきれいになったと言われる。
53歳男性	健康維持	15包	12ヵ月	愛用後、肌がきれいになり、体調が良く疲れにくい身体になった。便秘もなくなった。
38歳女性	健康維持	3~4包	10ヵ月	ジンマシンが出なくなり、生理不順がなくなった。血色も良くなり、足の爪の変形が正常になった。
25歳女性	冷え性、血行不良	3包	4ヵ月	愛用後は足の湿疹がひき、長時間立ちっぱなしでも楽になった。顔の血色が良くなった。
58歳女性	疲労感、胃潰瘍	1包	1週間	摂取後、疲れが改善。また、長年患っていた胃潰瘍の症状、下痢や腹痛が治まる。
37歳女性	鉄欠乏症性貧血	1包	24ヵ月	薬に頼りたくなくてSODを飲み始めたら、3ヵ月で数値が正常に戻った。
42歳女性	頭痛	3包	12ヵ月	愛用後、寝込むほどにひどかった頭痛、肩こり、吐き気などの症状が改善された。

様々な疾患から健康維持まで、SOD様作用食品の愛用者の方から多くの声をいただいています。ここではその一部を紹介致します。

年齢性別	愛飲理由	一日の摂取量	愛飲期間	愛飲後の変化
45歳女性	シェーグレン症候群	2包	3ヵ月	摂取後、すぐにむくみや体のだるさを感じた。その後は体調が良くなった。
60歳女性	関節リウマチ	6包	4ヵ月	愛用後、1ヵ月ほどで体のだるさや眠気が出た。その後は関節の痛みが楽になり、通院の回数もだいぶ減った。
49歳女性	関節リウマチ	6包	不明	愛用後、経過が良く、進行が抑制された。
62歳男性	関節リウマチ	3包	2ヵ月	愛用後、2ヵ月ほどで膝の腫れが出なくなった。
59歳男性	リウマチ	3包	5ヵ月	愛用後、リウマチ因子が313→247に下がった。手のこわばりも改善された。
76歳男性	リウマチ	6~8包	2ヵ月	飲んで3箱目位から症状が改善し、痛くて夜中に起きることなくなった。痒みや湿疹が出た時も飲むと治まる。
56歳男性	癜風=くろなます	4~6包	60ヵ月	5年かかったが、最近ではまったくなくなり、本当にびっくりしています。悪かった胃の調子も良くなり、ヘルペスも出なくなりました。
54歳女性	不定愁訴	1包	2ヵ月	愛用後、疲労や肩こりなどの不定愁訴がなくなった。
32歳女性	不定愁訴	3包	48ヵ月	愛用後、疲れや肩こり、冷え性が改善。梅雨時期に出るじんましんも出なくなった。
45歳女性	不定愁訴	3包	1ヵ月	愛用後、手のしびれや気管支炎の症状が改善。肌もツルツルになった。
48歳女性	不定愁訴 健康維持	2包	不明	ひどい肩こりと吐き気に悩まされていたが、摂取後は肩こりだけでなく、更年期障害も良くなった。
64歳女性	膀胱のポリープ	3包	6ヵ月	膀胱ポリープ5個が、愛用後に再検査をすときれいに消えていた。
70歳女性	手のしびれ	3包	1ヵ月	愛用後、手のしびれがなくなった。
75歳女性	神経痛	6包	1ヵ月	摂取後、すぐ痛みがやわらいた。
59歳女性	神経痛	2包	3ヵ月	愛用後、痛みがほとんど改善された。
54歳女性	脱肛	6~10包	1週間	鶏卵大程の肉塊がお尻から飛び出していたが、SODと整体を続けたらすっかり良くなった。
45歳男性	慢性腰痛	2~3包	3ヵ月	愛用後、体調が良くなり、コルセットをはずしても動けるようになった。
85歳女性	腰痛	3包	不明	手押し車にもたれかかるようにして歩いていたが、1人で歩けるようになった。
58歳女性	腰部脊柱管狭窄症	9包	4ヵ月	ひどい足の痺れとほてりが、愛飲後には1週間で効果が出て、今はしびれもほとんどない。
54歳女性	肩こり、冷え性	3包	4ヵ月	最初は少しづつほぐれていくような実感があつた。まだスッキリとまではいかないが、肩こりは減ってきた。冷え性は本当に楽になった。

様々な疾患から健康維持まで、SOD様作用食品の愛用者の方から多くの声をいただいています。ここではその一部を紹介致します。

未病について

「未病」という言葉をご存知でしょうか。専門家の定義でいうと「自覚症状はないが検査で異常がある状態」および、「自覚症状はあるが検査で異常がない状態」の二つを合わせて未病とされるそうです。脂質異常症、高血圧、メタボリックシンドローム、脂肪肝など自覚症状がないことが多い疾患が、日本人の全死因の約6割を占めるとされる生活習慣病（癌、心臓病、脳卒中）につながる、まさに未病そのものなのです。

健康であることと病気であること、つねに自ら生活習慣病に気を配ることが大切です。病気になるからではなく、一次予防の観点から健康を維持するようすることが重要なのです。人はある日突然病気になるのではなく、日々の生活習慣、食生活の乱れによって蓄積されていく

未病チェックリスト

- ◎ 朝から疲れやすく、出勤途中によく眠る
- ◎ 風邪気味であることが多い
- ◎ 食が細く、食後に膨満感がある
- ◎ 寝つきが悪く、眠りも浅い
- ◎ 夜になると手足がほてる
- ◎ 顔色が悪く、つやが無い
- ◎ 現在病気ではないが、生まれつき腺病体質である
- ◎ 偏食である

ものです。言い換えれば生活習慣、食生活を見直して改善することが一番の予防になるのです。生活習慣と食生活の改善に加え、SOD様作用食品で健康生活をさらにサポートされてはいかがでしょうか。

活性酸素が関わる疾患

循環器	動脈硬化、虚血、再灌流障害、脳卒中、狭心症、心筋梗塞
呼吸器	肺気腫、成人呼吸窮迫症候群
脳神経	脳浮腫、外傷性てんかん、パーキンソン病
消化器	胃粘膜障害、潰瘍性大腸炎、クローン病、薬物性肝障害、膵炎
血液系	異常ヘモグロビン症、薬物性貧血、播種性血管内凝団症候群
内分泌	糖尿病、発がん・がんの転移、胃・十二指腸潰瘍
泌尿器	糸球体腎炎、薬物性腎障害
皮膚	日光皮膚炎、アトピー性皮膚炎、やけど、シミ、ソバカス
支持組織系	膠原病
眼科	白内障、未熟児網膜症
腫瘍	癌化学療法、放射線療法
特殊な疾患	リウマチ、てんかん、ベーチェット病、川崎病、関節リウマチ
その他	一般の炎症、アルツハイマー（認知症）